夕刊 滿洲日報 七月廿三日

正式會議で奉答文可決 海軍側の手續一切終る

あす臨時閣議を開き 樞府御諮詢奏請を決定する

【東京二十三日發電通】ロンドン條約の兵力量に關する御諮詢に奉答すべき正式軍事參議官會議は二十三日午前十時より宮中東二ノ間において開會、伏見大將宮殿下、東郷元帥、財部海相、谷口軍令部長、岡田、加藤兩參議官並びに委員として及川軍令部第一班長、堀軍務局長參列、天皇陛下は葉山御用邸御駐蹕中につき御親臨あらせられず東郷元帥議長席につき谷口軍令部長より非公式參議官會議の決議に基づき御諮詢案につき説明した後審議に入り結局**非公式會議の決定通り奉答文を可決し**右終つて畏き邊よりの午餐を拜受し散會した、尚東郷元帥は右奉答文を携へ午後二時二十二分東京驛發葉山御用邸に伺候、天皇陛下に伏奏の手續を執る筈で斯くて**海軍側の手續は一切終了**する事となつたので政府は**二十四日臨時閣議を開き愈々樞府御諮詢奏請**の件を決定する事となつた

參議會の奉答文は條約否認にあらず

樞府若し政府を糾彈せば越權 與黨、濱口首相に進言

【東京二十三日發電通】民政黨ではロンドン條約兵力量に關する非公式軍事參議官會議も愈々纏まりたるを以つてこの上は正式の軍事參議官會議の結果を待つて速かに條約案の樞府御諮詢を奏請すべきであるとなし二十二日幹部會合の際も座談的に意見を交換し更に原總務は同日午後五時官邸に濱口首相を訪問して與黨側の意嚮を種々進言する處あつたが、幹部の意嚮は要するに軍事參議官會議の奉答文が如何に落ちついてもそれは軍事專門家の立場よりなせる奉答であつてこれが爲め國際平和並びに國民負擔の輕減の大精神に則り政治上の全責任を以つて條約案を締結せる政府を拘束するものではない、從つて海軍側の態度が延いて樞密院の空氣を惡化せしむる事はあつても軍部が條約案を否認するものにあらざる以上樞密院も亦附帶決議や或は警告を附する位で條約案を通過せしむべき事は當然である、然るに此の豫期に反し殊更條約案の批准を遲延せしめこれを以つて政府の責任を糾彈するが如き越權行爲に出ずるにおいては與黨として多數國民を背景として猛然起つて政府を鞭撻督勵し樞密院と一戰を交ゆる事も辭する處にあらずとの强硬な決意を以つてこれに臨んでゐる、然し多數の觀測は斯かる事態を惹起する事なくして結局條約案は無事通過成立し又その後に殘されたる國防補充計畫についても政府の政治的綱領に依つて解決さるべきものとなしこの間如何に反政府方面の宣傳や策動が行はれても濱口首相の信念には何等變りなく又條約成立に對する決心は强硬なるものがあるから斯かる事の爲め內閣の進退を決するが如き事は絶對に有り得ない處であるとの確信を懷いてゐる

東郷元帥も會議結果奉答

【東京二十三日發電通】東郷元帥及び谷口軍令部長は二十三日の正式軍事參議官會議の後これが結果を奉答の爲め同日午後二時二十二分東京發葉山に向ふ筈

奉答文內容

政治的意味を加へず

【東京廿三日發電通】奉答文案の內容は絶對秘密に附されて居り且つ傳へらるゝ處區々としてその正文は不明であるがその案文は

一、ロンドン條約兵力量は作戰用兵上缺陷あり

二、右缺陷の補充は完全を期し難し

との二點を明かに高調し更に第三點として帝國々防の最小限兵力量はこれが貫徹を期すといふ意味の一項が加はつてゐるものゝ如くである、而して右の奉答案文の作成に當りては軍部は何等の政治的意味を加へず只所信その儘表現したものでありこれに對する解釋は政府なり樞府なりにおいて勝手たるべしとの見解に立つてゐる

支那戰爭畫報

(上)徐州の中央軍總司令部(中)前線へ送られる新募兵(下)前線から送還された傷病兵

樞府精査の論點

國際信義上結局は通過

【東京特電二十三日發】政府は廿四日の臨時閣議において樞府御諮詢奏請をなすことゝなつたので樞府では直ちに精査委員を倉富議長より指名し審議に入る筈であるが樞府において專ら問題となるべきは

一、濱口海相事務管理が軍令部の意嚮を無視して條約を締結すべきことを全權に回訓せる所謂統帥權問題

二、缺陷あるが如き條約を締結せる責任問題

と觀られてゐるが、第一點に對しては首相に對し質問攻擊が集中すべく第二點に對しては首相、海相が矢面に立つものと見られてゐる而して政府において軍事參議會の奉答文は樞府と沒交涉のものにして樞府はたゞ條約そのものにつき審議をなせば足るとしてをり樞府が奉答文を拉し來つて云々するときありとせばそは越權行爲であると强硬な意見を吐露してゐる、樞府が拒否するが如きことあらんにアメリカも批准せる本條約を樞府は國際信義破壞の重大責任を負はざるべからず、結局樞府も條約を通過する外無かるべしとしてゐる

英も近く條約審議

マック首相下院で聲明

【ロンドン二十二日發電通】本日のイギリス下院にて保守黨々首ボールドウイン氏の質問に對しマクドナルド首相は

ロンドン條約の審議はアメリカが既に批准せるに鑑み予は之を夏期休暇前に審議すべきと考へる、而して予は條約案が大部分は既に下院の同意を得てゐる政策として取扱はれんことを切望する

と述べた

民政黨遊說陣容

全國七區に分れて

【東京二十二日發電通】民政黨は政友會の遊說作戰に對抗する爲全國を七區に分つてそれ〴〵各省政務官を左の如く派遣遊說を行ふ事となつた

一、關東、江木、小泉兩相、小川、横山兩次官

二、東北及び北海道、安達、松田兩相

三、東海、小泉、田中兩相、川[illegible]武富、山田各政務官

四、近畿、江木、松田兩相

五、北陸、井上藏相、永井、野[illegible]兩次官

六、中國四國、安達、俵兩相

七、九州、町田、俵兩相、中野、勝兩次官

なほ濱口首相はロンドン條約樞府御諮詢一段落を待つて東京、大阪等の演說會に臨む筈

走馬燈

荻川

滿鐵（其十四）

世界の不景氣、とりわけ支那の銀價暴落で、滿鐵に收入減が襲ふは不可思議でない、併し景氣不景氣は循環する、今日迄滿鐵は餘り景氣に乘り過ぎた、それで不景氣に落込むと、滿鐵よりは在滿邦人などが、滿鐵の爲に心配するやうな始末で、これだけでも滿鐵には依然として日が照つて居る、滿鐵の不景氣に會ふは試錬でこそあれ、それを悲觀材料とするに及ぶまい、斯うしたときには他一倍に働くこと他一倍に締まること。

◇

それが來る日の光となる譯で、萬一それでも收入減が襲ひけりや減配である、儲かつたときに增配なら、儲からぬときの減配に異存のあらう筈はなし、勿論此場合は給與に手を附けんまでも、滿鐵從業員とて減賞じや、寧ろ減賞が減配に先たねばならぬ、滿鐵はまだ〳〵こゝに伸縮の自在を有す、此自在を有して事業に精進するのである、そうして僅々七百哩足らずの鐵道、亦其鐵道沿線の事業にのみ齷齪するな、現在に問題となつてゐる製鋼、これも大切でないとは云はぬが。

◇

滿鐵の活動舞臺たる滿蒙は濶い、頃者滿洲在留邦人の一部は、製鋼につき餘り騷ぎ過ぐ、而も其理由とするところは、國家的よりも地方的に傾く、地方的利害とて無視する譯じやない、併し餘り騷ぐと、滿鐵幹部をこれに眩惑せしめて、國家的に萎縮せしめまいかを恐れる、國家的なるかな、滿鐵の使命は國家的である、そうして其使命の向ふところは支那、武裝せざる文化で、武裝せざる經濟で之に臨み、以て相互の提携を圖るのである、共榮共存の實を擧ぐるのである。

◇

斯くするとき、若し或る武裝したる文化、經濟に瀕遇せんか、そこに相互の文化なり經濟の同盟を圖るのであるが、之を爲すには、滿鐵の有する支那での特權を之に提供し、それを楔子として、滿洲で其試作に入るが最も便宜能いと考へるが、當今の支那に此頭腦なし、否、頭腦はあるが、四圍の情勢に壓せられて、之を敢行すべき勇氣ある人に乏し、そこで其勢も控えねばならぬ、其人をも求めねばならぬ、滿鐵の支那に於ける接觸範圍を擴げよと謂ふは是なり。

滿鐵新理事

村上、大森兩氏辭令發表

滿鐵新理事に內定してゐた村上、大森兩氏に對する正式辭令は廿三日發表された

村上義一氏

大森吉五郎氏

記者團を案內し馮玉祥氏柳河へ

きのふ鄭州に到着

【北平特電二十二日發】曩に柳河で蔣介石氏が外人記者と會見して閻錫山氏が濟南に來た時こそ彼が命の終りと豪語したのも的外れで閻氏の濟南入となるも中央軍は振はず、なほ皮肉にも柳河は北軍の占領となり馮玉祥氏は本日鄭州に於ける北平の日支記者を案內して明日柳河に赴くと

民意を尊重せば北方政府も可い

余は入閣する考へはない 顧維鈞氏哈市で語る

【ハルビン特電二十三日發】歐洲より歸國の夫人出迎へのため來哈した顧維鈞氏はモデル・ホテルにて語る

六月廿八日奉天に來たので政治方面のことは一切解らない、北平では近く政府を組織するといふことは新新聞で知つてゐる範圍だ、余が重要な位置につくかつて？今のところさうした考へはない（否認も肯定もせず色氣はある）北方政府組織の可否だつて？さあそれが民意なら惡くはない、露支正式會議は豫備交涉を終り正式會議の開幕も近いと聞いてゐる、露支兩國は隣接國家であり國交の恢復は一日も早く解決すべきだ、余は東北政權の重要位置には就かぬが東北電氣事業には力を入れ開發のため公司を組織し、奉天商埠地三經路に家を買つた

汪精衛氏入平

二十六、七日中

【北平廿三日發電通】汪精衛氏の來平を迎へ愈々北方政府の樹立を見るといふので北平市內は汪精衛氏の宿舍中山館を中心に活氣を呈してゐる各擴大會議委員及び各代表は廿六、七日頃來平する汪氏を出迎へのため一昨日來續々天津に向つてゐる

東北電政統一準備

【奉天特電二十三日發】東北交通委員會は四省の有線無線電信電話及び哈爾賓の自動電話、東鐵沿線の電報、電話を悉く東北電政管理局の管轄に置いて統一することに決定し電政管理局長蔣宗林氏の手

で目下準備を進めてゐるが八月一日から實行する筈

奉派抱込み絶望

何健氏夫人湖南へ

湖南省主席何健氏秘書章李立氏は夫人同伴廿三日出帆の榊丸で上海經由湖南へ向つたが同氏の洩らすところによると廿日前より何健氏の密命を帶び張學良氏抱込運動に來たものであるが、張學良氏は全く中立態度を持し他の方面に連絡なきを見極めたのでその旨報告の爲急ぎ歸任するものであると

全滿大會出席者

（製鋼所設置要望の）

昭和製鋼所滿洲設置問題に關し全滿同胞は擧げて輿論を喚起し政府要路に對して滿洲設置を要望すべく廿四日午前十時から大連市會議場で協議會を開き更に同夜七時から大連劇場にて昭和製鋼所滿洲設置全滿大會を開催引續き演說會を催すべく沿線各都市に出席の勸誘狀を出した事は既報の通りであるが、各方面より双手を擧げて賛成し來り二十三日朝まで左の通り出席申込みがあつた

▲瓦房店 地方委員會副議長松尾新藏、同委員大塚貫之、同渡協、同永島願

▲大石橋 地方委員會議長伊藤謙次郎

▲鞍山 實業會加藤政人、同神田藤兵衛、同山崎英武、同阪元藤三郎、同石川義助

▲遼陽 公正會生田友次郎、同荻岡彌二郎、同猿渡源三、同安藤吉三郎、同梶原岩吉

▲奉天 地方委員會副議長荻原昌三、同委員大西某、商工會議所藤田九一郎、同吉川某、同書記長野源孝生

▲熊岳城 地方委員會議長岡島貞、同副議長小原敬介

▲吉林 出席するも氏名不詳

▲長春 地方委員長神崎仙英

▲營口、四平街、双廟子は賛成なるも都合により不參の由

農村救濟策

大衆黨の要求

【東京二十二日發電通】全國大衆黨農村窮乏打破委員は二十二日午後一時町田農相を訪ひ農村窮乏打破の爲め緊急手段として

一、養蠶家の損失補償

二、農民の納稅一年猶豫

三、小作料金を下げ又は支拂猶豫無產資金融通

四、借金の支拂猶豫

五、國營に依る肥料の無料配給

の要求書を提出した

滿鐵交涉部事務分掌

滿鐵の新設交涉部は左の通り事務分掌內規を定めた

▲涉外課 第一係、在支關係鐵道及び附帶事業の事務に關する事項第二係、同右技術に關する事項第三係、他係の管掌に屬せざる涉外事項

▲資料課 第一係、涉外資料蒐集の指導、涉外資料に關聯する人物、思想及び諸機關の組織制度の調査に關する事項第二係、涉外資料の蒐集、新聞雜誌の報道論調の查閱、社外機關との連絡に關する事項第三係涉外資料の整理、保管領布に關する事項、電報の飜譯

尙その外に交涉部に庶務係を置く

滿鐵新築廳舍

今秋十一月竣工

滿鐵本社はその創業當時には現在の本社建物の一部分のみであつたが、業務膨脹に伴ひ增新築したるも及ばず、今回の職制改正で新設された工事部は元の食堂を修繕してこゝに本據を構へる有様で、愈々建物の狹隘を感じたので今度大連圖書館裏に平坪二千坪五階建の高層建築をすることゝなり目下基礎工事に着手してゐる、右建築場は長谷川組が請負十一月までに略完成の見込みである、同所は調査課及び工事部が移轉する筈で十一月中には同所で事務をとることゝならう

林總領事歸朝

【奉天特電二十三日發】林總領事は廿二日十五時半發安奉線列車にて歸朝の途に就いた

香港丸船客

【門司特電二十三日發】廿四日大連入港豫定香港丸の主なる船客次の如し

岩波誠三郎、小川逸郎、金田宗次、久布白落實

香港丸 廿四日午前八時半大連港外着豫定

人事

▲津村雅貞氏（本派本願寺支那開教總長）哈爾賓に開催の布教使大會へ出席の爲め廿三日夜急行にて出發

▲岩本海量氏（同支那開教本部贊事）同上

▲內田五郎氏（芝罘領事）廿三日入港永利號にて來連

▲吉富英助氏（藥學博士）廿三日出帆うらる丸にて內地へ

▲李之樸氏（元吳佩孚參謀）廿三日出帆榊丸にて上海へ

▲章李立氏（湖南省政府主席何健氏秘書）同上

大觀小觀

ロンドン條約の兵力量では作戰用兵上、缺陷あり、右の缺陷補充は完全を期し難し、とあつても、それはイザ鎌倉といふ場合のこと

◇

フーバー大統領ではないが、太平洋は依然として太平洋であるらしい。

◇

平和を要求するの希望は世界に澎湃としてゐる。すくなくとも一九三五年までは太平洋上の、否、世界の平和は確保されたものと信じて然るべきであらう。

◇

それにしても隣邦支那の和平、黄河の清澄を待つと一般、混沌また混沌、曙光だに發見し得ぬのは四億民衆のために同情の限りである。

天氣豫報

廿四日（南西の風）曇後晴

各地濕度

	十一時	昨日最高
大連	二五・五	二八・二
旅順	二四・七	二八・八
營口	二八・一	二六・六
奉天	二八・三	二六・二
長春	二八・六	二七・三

滿潮 午前九時 午後九時五分

干潮 午前一時五十分 午後三時二十五分

コレラ類似患者が
凌水屯邦人農園に發生
二十日に發病して嘔吐下痢 家族を隔離し消毒

旅順に青島に疑似コレラ發生以來當地でもいよ／＼これが豫防警戒に努めつゝある折から廿三日沙河口管内に滿洲最初のコレラ類似患者が發生し當局では異常な緊張を示して來た、右患者は沙河口署管内凌家屯會凌水屯農園經營者生居澤いち(名)にて廿日發生以來嘔吐下痢激しく廿三日朝沙河口の竹澤醫師が診斷の結果病狀はコレラの症狀を呈して居るところより同醫師よりこの旨沙河口署に屆出でたので同署衛生係では直ちに採便を大連療病院に送附すると共に衛生係りでは小野衛生主任監督のもとに家族の隔離及び大消毒を行つたが午前十一時療病院にて檢便の結果コンマ菌は發見されなかつたが、目下培養中で今明中には決定する筈である、因に患者生居澤いちは目下生命危篤で傳染系統について沙河口署にて取調中なるも同人は永年同地に居住せるもので系統方面については全然不明である

訪日伊太利機
不時着陸す
密雲で追濱航空隊に

【東京廿三日發電通】本月十四日ローマセントチエリー飛行場を出發したロンバルヂー、チヤプニン兩氏の訪日機は歐亞一萬三千キロの空を翔破し廿二日午後六時十五分東都の空に一歩を印し蒲田の上空にその勇姿を現はし目的地たる立川方面へ向つたが同地方の天候險惡と密雲の爲め遂に七時二十五分横須賀航空隊飛行場に不時着陸したが兩氏とも元氣で同航空隊に機體を收容して宿泊した

三日午前八時十分イタリー横濱領事は追濱に原航空隊司令を訪問し厚意を謝した

要塞地帶が
問題となる
處置を協議

【横須賀二十三日發電通】要塞地帶に不時着陸したイタリー機に就て横須賀鎭守府は東京灣要塞司令部と協議の上氣流關係と夜間なりし爲め已むなく追濱に不時着陸したものと認めてゐるが、何分の處置は陸軍海軍遞信三省協議の上決するので目下機體を解體するか立川まで飛ぶか決してゐないなほ廿

久布白女史
講演會
あす來連して

矯風婦、禁酒運動の先驅者基督教婦人矯風會會務理事久布白落實女史は和田滿子女史を同伴在滿矯風會員の啓發と婦人の精神修養のため矯風會大連支部から招かれていよ／＼二十四日入港の香港丸で來連することゝなつたが、女史は大連では八月一日頃まで星ケ浦千葉ヒロ子夫人方に滯留し其の後沿線各地をハルビンまで講演行脚し朝鮮經由歸國する豫定である、女史大連での講演豫定左の如し

二十五日午後三時半から社員倶樂部大食堂で一般講演「民族と純潔」滿鐵地方課主催▲二十六日午後一時半から敷島町基督教青年會講室で婦人講演「公民としての婦人」主催聯合婦人會及地方課▲廿八日午後一時半から沙河口家庭研究所で婦人講演「民族の發展と婦人」主催地方課▲廿九日午前十時からは少年禁酒軍主催▲卅日午後一時半からは矯風會、聖公婦人會主催の講演會

その他星ケ浦大藏理事邸をはじめ各夫人の集會にも出席の筈であるが、矯風會大連支部では廿四日午後六時から敷島町キリスト教青年會で女史を主賓に懇談會を開くと

ハルビンに於ける訪日伊機
寫眞右はロンバルヂー氏左はカツパーニン氏

全遞信庭球大會
遞信協會主催で計畫

遞信局では體育獎勵の意味に於て遞信協會主催の許に來る八月三十日、九月一日の兩日に亘り大連大和町遞信倶樂部コートに於てオール遞信庭球大會を開催すべく目下出場人員等の選定中である

南京米國間
無電寫眞
近く試驗する

【上海二十二日發電通】交通部は過般南京、ベルリン間の無線電送に成功したるに鑑み今回アメリカのラヂオコーポレーションと交渉し、南京アメリカ(土地未定)間に無電寫眞の試驗を行ふことになり目下交渉中である

帝都の街頭に求人ポスト

不景氣と共に益々不景氣の度を高めつゝある矢先何とか失業問題を解決したいと心を惱ましてゐる東京市の職業紹介所では、紹介事業の社會に利用される範圍の比較的少い事にも起因して居るのではないかと一案をあみ出し今度生れたのがこの求人ポスト、求める者が態々紹介所へ足を運ばずとも濟むやうにと寫眞の如く街頭の要所々々に据ゑ付けて希望者に投函させることゝなつた

京大硬球部
あす來征
試合日割變更

滿鐵運動會硬球部の招聘に應じて來連する京都帝國大學硬球部長谷川主將以下八名は二十四日入港の香港丸で藤井厚二教授に引率されて渡連することになつたが同庭球部スケヂユール左の如く變更されることになつた

▲廿六日午後三時(中央公園コート)對滿鐵硬球部ダブルス(四組)▲二十七日午後二時(同上)對滿鐵硬球部シングルス(七組)▲二十八日午後二時對滿鐵クラブ(ダブルス三組シングルス四組)

抽籤なしで
寄附電話を受理
申込み三百四十八個

大連における本年度の寄附電話は既報の通りこの十一日から十六日まで申込みを受けたが、その結果によると不況とドン底と云はれてゐる折柄にも拘らず三百四十八個の應募者あつたが遞信局では今回機の收容力等に照し今回申込みの分は無抽籤を以て全部受理する事になり申込者にそれ／＼通知を發した由である。なほ現在市價等に支配されず三百個以上の申込者があつた事は市内に今なほ實際に電話を必要とする者が相當數ある事を立證する譯にあらうと云はれてゐる

清涼飲料水
密造發見
氷店に賣る

市内惠比須町一六三于良慶(二七)は六月末よりバナナ、苺、レモンの清涼飲料水を密造し市内各氷店に一升七十錢にて販賣して居るのを小崗子署員が探知し廿三日于良慶を引致すると共に現品を多數押收したが右は一時に大阪方面より仕入れた香料及着色原料を水の中に混合したもので市中邦人氷店にも多數販賣して居り取調べの結果科料十九圓に處した

暴徒益々狂ふ

【ポートサイド二十二日發電通】當地の暴徒は益々猛威を逞しふし二十二日は市役所の廐に放火せんとするに至り警官は發砲してこれを防ぎ死者一名負傷者二名を出し尚カイロより來援したエヂプト軍隊は本日ポートサイドに到着した

ナショナル鐵
道の爭議解決

【ダブリン廿二日發電通】ナショナル鐵道從業員の爭議は急に解決を見二十二日より開始さるべき總罷業は中止する事となつた

甘井子通ひの
渡船が悲鳴
競爭が激しくて引合ぬのに 水上署で新許可方針

大連甘井子間就航の渡船業者は、「甘井子が開港したら又何とかなるであらう」と開港の日を期待してゐたがさて蓋が開いて見ると相變らずの不景氣、競爭船の客の奪ひ合ひ、銀安で支那人客の減少、何れの同業者も四苦八苦の有樣である、現在就航中の渡船は佐々木三隻、元昌號一隻、佐藤一隻、草分會一隻、宇田商會二隻、早川二隻、計十隻が平均十八回往復してゐる始末でガソリンとモビル油等の經費に元も子も塗無しになつて漸く船を廻してゐるが、最近にいたり滿鐵埠頭からも二隻三十分毎に發着すると云ふ始末に更に彌敵現はるでこれが對策に腐心してゐる一方滿電においても定期バスを出す事となり、こゝもと渡船業者は青息吐息だが、聞くところによると水上署においては右現狀を無視して渡船業出願者が數件あるのを機會に今後十日に亘り乗客數その他を調査し結果により更に同業者を增加する意向を有してゐるがこれ等新出願者中には既に船を建造して許可されるのを待つてゐるものもある程で前中尾署長當時一蹴されたものが飯島署長の就任と共に再出願したものである、尚同業者中では同署の出樣によつては結束して反對運動を起すやもはかり難いと

場合により
許可する
飯島署長談

右に關し飯島署長は語る
許可するしないは別として乗客人員を調査してゐる事は事實である、一度各渡船業者に就き營業狀態その他を調べたのだがどうも事實と申告とは相違がある ので直接署員を派して調べる事にした、船を建造しておいて願出た者があるかどうかと云ふ事は知らないが、許可してもよいものであつたら許可するつもりである

フォード翁の體驗談

自動車王フォード翁がその隱退に際して發表し、世界に大衝動を惹起した成功致富の體驗談が、キング八月號に掲載され大評判!

實業球場のガソリン乾燥

金福線復舊

金福鐵道では二十二日の降雨で午後五時頃杏樹屯附近が線路上に出

河部五郎觀劇大會
今晩からお名殘狂言上演
＝地雷火組十三場と國定忠次＝
主催 滿洲日報社

水し娘子驛行五百三列車は同驛で立往生したが、二十三日金州東門發の五百一列車から開通した

安奉線複線
事實無根
排日利用計畫 畫餠に歸す

【奉天特電二十三日發】最近支那側は遼寧外交協會が中心となつて滿鐵が安奉線を複線とする計畫ありとして重大なる國權侵害問題の如く騷ぎ立てゝゐるが同協會より公安局に實地調査を依賴したところ今回公安局は安奉線草河口、通遠堡間二ケ所長山嶺子、鳳凰子各一ケ所のガードの修理中であり、又蛤蟆塘及び二臺子附近の山脚防護工事を修理したが何れも鐵道用地内のことであつて用地外を侵越せる事實はない且つ右の施工が複線の準備であるか否かは想像出來ない、今後も臨時調査を怠らず國權を保持するといふ旨回答し、所謂複線計畫の事實無根を裏書された譯で外交協會が折角排日宣傳に利用せんとした企圖も畫餠に歸した形である

ロシア人が
氣を失ふ
電車事故で 飛び降りて

二十二日午後九時四十八分、七號系統三二號電車(運轉手足立七子(二七)車掌李詮才)が平和臺停留所を發して老虎灘に向つて進行中運轉臺に於てスパークし運轉手は電流を遮斷せんとしたが利かぬので李がビューゲルを遮斷せんと飛び降りたのを見て乗客の三名も驚いて飛び下り、内露人男一名は顚倒して腦震盪を起し一時人事不省に陷つたが直ちに恢復した全治五日の見込み、なほ電車は損害二十圓

海底線の復舊

暴風雨の爲め不通だつた佐世保青島間電信線は廿三日午前十時卅分に至り漸く復舊したが大連佐世保線は明廿四日頃には回復の見込であると

共産事件公判

過日判決があつた滿洲共産黨事件被告の内秀島嘉雄は病氣のため缺席分離され二十四日午後一時より地方法院に於いて森本裁判長係で開廷される

ボーイの惡事

山東省生れ市内岩代町一七張永高(二一)は去る十八日まで浪速食堂にボーイとして働いてゐたが二十一日午後五時二十分同食堂の受領證を一枚竊取し滿電に金四圓五十錢の受領證を書入れ滿電から金を詐取せんとして發見されて果さず逃亡したが、二十二日午後十時五十分市内千代田町五番地發方に潛伏中を大連署員に捕はれた

逃亡酌婦發見

去る十七日三人共謀の上逃亡した逢坂町第二豐顯樓酌婦の内最年少の奴事仲村オノリは二十一日市内若狹町を通行中を發見連れ戻された

台所メモ

えび	百匁 四〇〇	二五〇
ひらめ	同 一五〇	〇八〇
すゞき	同 四〇〇	二五〇
さはら	同 二五〇	一〇〇
めばる	同 二〇〇	一〇〇
あぶらめ	同 二〇〇	一〇〇
ぼら	同 二五〇	一五〇
うなぎ	同 一二〇〇	八〇〇
あなご	同 三〇〇	二〇〇
どぢやう	同 二〇〇	一五〇

いやな 南京虫は
イマヅ芳香油でトレ

衛生試驗所の試驗結果によるとイマヅ芳香油をヒーロー噴霧器(五十錢)でかけると南京虫は、一たまりもなく即死し衣類、疊、什器などを汚す事は少しもありません。だからこれに限ります。尚その後に南京虫用イマヅ蟲取粉を疊の合せ目其他虫の居た個所へ、まいて置くと退治後、外から移殖して來るのと、發生するのを防止しますから、退治の効果が永續します。それ故イマヅ芳香油で退治したあとに、必ず南京虫用イマヅ蟲取粉をまく事を忘れぬやう。又旅館、工場、大食堂、ゴミ溜等にはポンプ式撒粉器(六十五錢)でまくのが最も便利です。
右藥品は到る處の商品で販賣してゐるが、品切れの節、其他南京虫退治に就ては御相談は、害蟲研究の大家、今津佛國理學博士の今津化學研究所(大阪京町掘二、電話土佐堀八一番)へ御申込になれば、懇切に御相談に應じます。

英語出張教授

時間場所を不問懇切叮嚀に教授す當方東京に永く滯在日本語を解す英語大學出身外國人希望者は書面又は直接常陸町六九鹿兒島館内デー・ワン迄

圍碁

會費月二圓初心者歡迎清水二段指導の圍碁倶樂部
三河町 大連棋院 電八六七五

俠艷一代男 (3)

米田華舡作　伊藤幾久造畫

神田祭の夜(三)

か組の淸吉は、全身に紅を染めたかと疑ふ、血潮を湧き立たせて諸手で丸太棒を振りあげると、加州侯の行列の先供の間へ、ぐる／＼と颱車のやうに打ち振り／＼割つて入つた。

「それッ！狼藉者ぢや！供先を亂す憎い奴ッ！斬つて捨ろッ！」

目附と見える騎上下をつけてゐる老武士が、頻りと下知を傳へた。

これを見て、吃驚仰天したのはか組の頭取を始め町内の世話役、八番組下の連中である。誰も彼もヘッとして、度膽を拔かれた形で死人のやうに顏色を變へた。

バラ／＼と三四人の組頭と見える男が、暴れ廻つてゐる淸吉の側へ走り寄り

「やいッ！手前は亂心したな。氣が狂つたと見えるな。恐れ多くも加州さまのお供先を亂すとは何て云ふ野郎だッ！」

態と聲高に、亂心、氣狂ひと呶鳴りつけ、淸吉の頭髮を掴むと、一人が引倒した。そして手取り、足取り、山車の後へと引摺り込んだ。

供先はすぐと列を立て直し、そのまゝ粛々と通り過ぎて行つた。

跡に一人。加州の侍と仲間風な梅鉢を染め拔いた單衣法被を着てゐる小粋な若者とが、八番組の頭取の額を集めてゐる所へと遣つてきた。

「唯今お供先を亂した狼藉者は町火消と見ゆるが、何れの組に屬すか？」

「へえ、誠に恐れ入りましてござります。本人を取調べて居りますが、先刻御覽の通り、素裸體で御行列先へ飛び出す位で、逆上亂心氣味で、何が何やらさつぱりと相判りませぬ。どうか御寛大な御處置を願はしう存じ上げます」

頭取たちが大地へ額をつけて詫び入つた。

「本日は殿、寛永寺御社參の砌ちや、汚れを見るは恐れ多いに據り直に斬り捨つ可きを容赦致した。しかし亂心とあれ、お供先を亂した罪は輕からぬ。八番組世話役一同へ本人を預け取らする。後日追て沙汰致すであらうが、亂心者とあらば、その方たちに罪はあるまい。とりわけ逃さぬやう注意致せッ！」

侍は云ふだけのことを云ひ、側に控えてゐる仲間へ、何事をか命ずると、その儘、踵を廻し、行列の跡を追つた。

一同は、押し潰された蜘蛛のやうに平伏をしてゐた。

「もういいよ！相手は夙に行つてしまつてるぢやねえか？」

ヒヨイと一同が頭をあげると、そこに殘つてゐるのは、加州の仲間と見える、きりッとした男前の法被の袖口から朱彫の文身を覗かせてゐる若者が、ニヤ／＼と薄笑ひ。

「へえ、お前さんは加州さまの御部屋の……？」

「さうさ。八丁火消の仲間でございますよ」

「左樣で！唯今はまたとんだ奴が飛び出しまして、お行列をお騷がせ申し、何とも申し譯がございません」と、か組の頭取仁兵衞が白髮頭を再び大地へつけた。

「まア！お手をおあげ下せえ！淸吉の野郎ならあの位の騷ぎはしでかすでござんしやうよ」

「えッ！」と、仁兵衞は怪訝な顏付で、相手の面を見据えた。

「と云ふわけで、私は彼奴と滿更知らねえ仲ではねえんで、御心配には及びませんや」

「お前さんは一體、誰方でございますかえ」

「さア、何の某と名乘る程な御身分でもねえ、見た通り、加州部屋にごろついてゐる詰らねえ仲間ですよ。それよりは淸吉はどこに居ますかい！一寸逢はして貰ひてえもんです」

「へえ、向ふへ、皆して連れて行てございますが、何してもあの通り氣狂い沙汰、またお前さんにどんな間違ひでも仕掛けては相濟みません」

「何の！構ふもんですか。是非淸吉に逢はして貰ひたうございますよ」

大連棋院臨時稽古碁戰

三段 伊藤甲子女史　六子 大淵貞吉氏

○八一八の十六　○八五ホの十二　○八九ホの十　○九三トの十一　○九七リの十
●八二トの十九　●八六ニの十二　●九〇ホの九　●九四トの九　●九八ヌの十
○八三八の十五　○八七への十　○九一チの十　○九五ヌの十一　○九九リの九
●八四ホの十三　●八八への九　●九二チの九　●九六リの十一　●一〇〇ヌの九

—【5】—

お名殘り狂言に 地雷火組を上演 今明晩限の河部五郎

河部五郎の桂小五郎　けふから上演

湧くが如き好評裡に開演中の歌舞伎座の河部五郎一座はいよ／＼今廿三日明廿四日の兩日限りお名殘り千秋樂で本日より三の替り狂言として幕末巷談「地雷火組」全十三場を上場するが維新の風雲急をつぐる京洛の地に取材したもので長州の志士桂小五郎の奮闘を描いたもので是れ又昨夏日活の超特作品として凡くファンの好評を博したもので主なる場割左の通り

第一場　三條料亭池洲の大廣間
第二場　同家表口
第三場　今出川御門前附近
第四場　眞如堂附近黒谷墓地
第五場　河原町小西家離座敷
第六場　女賊天人お吉の隱れ家
第七場　白河街道仙太の家
第八場　洛外花園村
第九場　祇園社内二軒茶屋附近
第十場　壬生新撰組屯所
第十一場　若狹街道の夜嵐
第十二場　百姓仁兵衞の住居
第十三場　粟田口庚申堂前

主なる配役は佐橋の與四郎（山本禮三郎）藝妓幾松（西野龍子）新撰組副隊長土方歳三（河合英二）同隊士城士重藏（中里一郎）白河の山太（石原龍之介）地雷火組首領森ト大造（西岡弘）女賊天人のお吉（宇治龍子）長州藩士辻玄蕃（川原信）同藩士山崎進（村上英二）百姓仁兵衞（香山柳蛙）薩摩藩士寺西銅齋（吉川一郎）同藩士顯達行（秋山三郎）桂小五郎（河部五郎）其他捕手新撰組隊士藩士浪人劍客等大勢、尚二番目狂言はお好みにより替り中より引續き國定忠次四場を上演することになつた

◇山本禮三郎◇ 映畫俳優として活躍してゐたのでスクリーンを通じてのファンが多く舞臺に姿が現はれると必ず聲がかゝり小氣味のいゝ演技が好評を博してゐる

河部五郎觀劇會 讀者優待割引券
この券持參者に限り特等三圓廿錢、一等二圓八十錢、二等一圓六十錢、三等八十錢に割引
十人以上は特別團體割引
主催 滿洲日報社

今晩の放送番組中、清元の「かさね」は家元延壽太夫の十八番にして、清元中の大ものである▲演者は斯界二十年の古い經驗を有する東京の鬼笑氏で昨夏、ヤマトホテルで壽滿太夫と該淨瑠璃を共演、大喝采を博したこと未だ大連粹人の記憶に新たなる處だ▲鬼笑氏は來る廿六日のウラル丸にて歸京することとなつたので御名殘りの意味で、多波羅氏と共演する譯であるが、清元としてこの位大ものゝ放送は初めての事故、各方面から多大の期待をかけられてゐる▲帝國館が夏場の興行に今までの松竹映畫を揃へて大衆週間をつゞける▲先づ「陸の王者」と「斬人斬馬劍」を組んで火蓋を切り▲その次が「不壞の白珠」それから「狂へる名君」と「三善人」を組み「母」の再上映も計畫されてゐる

大連 JQAK

七月廿四日午後七時卅分

▲ラヂオ體操
▲趣味講座「夏の化粧法と着付」太道凡平
▲ハーモニカ　イ、スパニシュヨーク（フェヤー・バッチ作）ロ、デヤフライレユーッ（ウエーバー作）ハ、ジヤンチナーワルツ（ウエルドチフル作）永田時雄
▲落語「牡丹燈籠」櫻川歌助
▲筑前琵琶「石田三成」青島洪勉山、峰晴旭妙

東京 JOAK

廿四日午後六時廿五分

▲講演「山の傳記」青木欣二
▲吹奏樂　一、歌劇、詩人と農夫　二、小川のほとり　三、交響曲第五番の終曲（陸軍戸山學校軍樂隊）
▲常磐津（小曲）一、渡守（唄、常磐津小若太夫、三味線、岸澤小吉）二、五大刀（唄、常磐津相生太夫、同勘喜太夫、同小若太夫）三、酒の中の花（唄、三味線、善聰）
▲放送舞臺劇、お俊傳兵衞近頃河原の達引、堀川與次郎猿廻しの場（猿廻し、片岡我童、傳兵衞、嵐徳三郎、お俊、片岡秀）

滿洲日報

A—55

社說

民力を休養せよ

南北から引つ張り凧の張學良氏は、その居催促に、つひに陸海空軍副司令の辭令を預り置くことにしたといふ。南方は、この事實に對して副司令を受諾したものと解すべく、而して北方側としては對抗の意味から例の擴大會議の委員に推擧し來るべく、結局、南北から兩手に花を掘らされることになるであらうと觀測されてゐる。奉天側としては有りがた迷惑と申すべきところであらうが、併し過渡混亂の時代であるから、かくの如き現象もまた免れぬところとせねばならぬか。

◇

かくて問題は、この場合、奉天側が如何に動くか。問題は要するに、ここに存するであらう。が併し吾人は毎度いふが如く、關外四省の人民は關內の抗爭には超然として保境安民に精進せんことを奉天側に希望するものである。時代は進歩し時勢は時々刻々と變轉する。併しながら原則といふものは、そう變つて行くものではない。十年前の保境安民と今日の保境安民とは、必ずしも同日を以て論ずることは出來ぬ。張作霖氏が權勢を極めて居つた頃は、むしろ積極的に野心を關內に走せ、王者自らから牽制的に保境息民が唱へられて居つたのだ。然るに今日は、關內への野望は全く絕ち、ひたすら他からの關外攪亂を避けんとするのであるから、消極的に保境安民を保持するに苦心しつつある時代なのである。副司令や最高委員の美名を賣り込まれる情勢となつてゐるのである。併し美名は所詮、空名であり、關外四省の實際政治とは何等の交渉なきものといはねばならぬ。

◇

今日の奉天側は、關內の抗爭に對して一種のキャスチングヴオートを握してゐるものの如くである。併し奉天側が南方に傾いても、また北方に加つても、それは可なりとしても、それにて天下のことが一擧手に決するならば可なりであるが併し支那の實情は、そう簡單に解決さるべきものではなく、結局、分合離散の變化を重ね、混沌に混沌を加へるのみであるから、奉天側としては先づ輕々しく動かぬを以て最上の對策とせねばなるまい。失禮ながら、蔣介石氏の南京政府にしても、閻錫山氏らの北平政府にしても、また張學良氏の奉天政府にしても、とにかく南北を統一し、全支那を統制するといふやうな實力は歷史的に、地理的に判斷して有せぬものと斷ぜざるを得ぬのである。從つて一擧手一投足を以て天下の形勢を定むるといふやうなことは不可能事なのである。キャスチングヴオートなどは奉天のみならず南方も北方も持ち合せぬものと知らねばならぬと信ず

◇

全體と部分との關係、理論的には部分さへ完成せば必ず全體への完成に到達すると限らぬが、今日の場合、奉天側としては全體に向つても、また部分としても、自己の完成に精進してさへ置けば可なりとすべきではあるまいか。殊に關外の一般商民は關內ほどではないにしても、とにかく財政的に非常なる疲弊に瀕して居ることは打消すべからざる事實である。從つて徒らなる空しき空名に憧憬するよりも、支民に臨み民衆の經濟生活に充分の休養を與ふるのが、この上なき時代の要求ではあるまいか。張學良氏および周圍の要人達には達識練達の士すくなからず、民國以來の政機の動きにも充分の豫備智識が出來てゐることと思ふ。從つて關內の大勢が大體の安定を置くまで、その期間は相當に長いものとせねばならぬが、併し保境安民の鐵則は、多少、その內容を變化したかにも見ゆるが依然として關外の政局を安定せしむる樑子といふことには何らの變化もないやうである。されば南北からいろいろの美名空名を以て奉天側に水を向けるであらうと思はれるが、それに對し眞實に乘り出し、あるひは兵を出すやうなことがあつたら、それこそ關外の和平を關內同樣に混亂せしむるものと覺悟せねばならぬ。關外民衆の切望するところは保境安民によつて財政上の休養を與へられ生活の安定を得ることに存する。

中央軍依然振はず近く武漢の形勢に重大變化

漢口の何應欽氏飛行機で逃亡 事實上武漢放棄の形

【北平特電二十三日發】武漢の形勢近く重大變化あるべしと傳へられ本日當地某機關への情報に依れば漢口に在る南京派唯一の頭株何應欽氏は昨日飛行機で津浦線に逃れ武漢拋棄の形と爲つた、近く武漢にクーデターあるべしと何成濬氏等の態度今や注目の中心となつた

徐州に危險迫り蔣氏は蚌埠に退く

南軍は武漢も放棄か

【上海特電二十三日發】今朝有力方面に達した消息に依れば、北軍は歸德を占領し韓復榘軍は北軍に寢返り、爲に徐州に危險迫り蔣介石氏は急ぎ蚌埠に退いたと、右情報は俄に信じられないがこれと同時に蔣介石氏は武漢拋棄に決し彈藥を南京に運搬すべく密令したとの報傳へられ陳調元氏は大汶口において閻氏と內通せる嫌疑に依り蔣氏の爲め銃殺されたともいはれ更に徐州に在る馮氏より當地代表の下に達せし「軍事は進展速かにして津浦線方面は既に兗州に到り隴海線は馬牧集を過ぎ徐州攻略も近きに在り」との電報を寄せて居り隴海線における南軍の形勢は甚だしく惡化したことは事實であると當地で觀られてゐる

浦線の山西軍は韓復榘軍を無視しては南下し得ざる實狀に在るので昨日閻氏より十日內に韓軍を破るべしとの命を受けて津浦線正面に於ては一時守勢を執ると共に昨日より今日にかけて其一部の部隊を續々膠濟線方面に移して居り津浦線に在りては南軍は目下の處北軍より何等の壓迫も受けて居ない樣である、然し隴海線に在りては最近南軍の攻擊失敗に歸し又南軍が津浦線に大軍を向けた隙に乘じ西北、山西兩軍は猛烈な攻擊を開始し劉河內黄の線を突破して目下歸德に迫り同地は危險な狀態に陷つてゐることは事實である、而して更に南軍が從來平漢線方面にあつた純直系軍を總て津浦線に移し何應欽氏を津浦線の指揮に當らしむることゝし平漢線を雜色軍に任せるに至つた事は湖南、湖北の拋棄を決意した事を意味するものである、かくて南軍は隴海、津浦兩方面の戰に全力を集中してゐるが平漢線は既に問題とならず、隴海線方面も甚だしく苦境に陷つて居る事は確にして一般には南軍のためには重大な危機が迫りつゝあるものと觀て居る

蔣氏の死命を制し

近く北平にて再會せん、と 馮氏記者團と語る

【鄭州二十一日發電通】戰線視察に出張せる日支記者團一行は本日午後一時北軍の實戰上の總司令たる馮玉祥氏と烈士祠に於て會見したが馮玉祥は例のブクブク肥大な身體をサッパリした綿服に包みいつもの通り溫厚な態度で一行と握手を交し愛想よく席を勸めた後連日の督戰にもめげず艶々した顏を輝かしながら左の如く語つた

北方政府成立に關しては國民と余との意見は完全に一致し政府組織の方法も內定してゐる黨部の紛糾が斯くも早く解決し所謂左右兩派が斯く一體となつた事は數年來見ざる處である時局に對しては余と閻錫山との罪科大なりと信ずるがこれも全國民の最後の福祉を思へばこそである

今回の戰爭に於ては我軍が大勝を博し東は蚌埠に北は碭山に迫り蔣介石の死命を制せんとしてゐる余は誇大なる言を弄する事は欲せぬ只今後の余の行動を見てゐて貰ひ度い

と堅い自信の程を語り別るゝに際し「近く北平で御目にかゝる積りである」とて再び固く握手した

隴海、津浦線に全力を傾く

山東にまた戰雲動く 形勢不利な南軍作戰

【上海特電二十三日發】南軍が甚だしく不利な狀態に陷りつゝあるとの報に就き各方面につき調査するに韓復榘軍が寢返つたとの說は虛構らしく又陳調元氏が銃殺されたとの說も信じられず、徐州が危險に瀕したと云ふ時機には尙至つて居ないもの丶樣である、即ち津

在支外人商社の法人格否認問題

(中) 三井洋行上海支店訴訟事件

右被告代理人の所論に對して原告代理人岡本辯護士は二十八日法廷に於て日本人は今日なほ支那に於て領事裁判權を享有しをること從つて支那の法律に服すべき理由なくこの事實は最近に於て支那側に於ても認めてゐるところであること及び被告代理人は領事裁判權國人民を原告とし支那人を被告とする訴訟事件は支那法律によつて處理さるべきを主張してゐるが從來の慣例及び事實に於てのみならず支那における現行法規に於ても外國法人の訴訟當事者能力の有無はその本國法に依據すべきことを明かにしてゐることを述べて詳細に被告代理人の所論を辯駁したがその要旨左の如くである

一、日本人は現に支那に於て領事裁判權に服し支那の法權に服從しをらざることは明かにして國民政府これを公認し支那各地における法院もまたその旨を體して審理を進めてをり日本人を被告とする訴訟事件を支那法院に受理せざる現狀に在ることはこの事實を立證するものである、最近新たに發布されたる民法總則及び同施行法その他の法令の中に外國法人に關する規定を設けてゐるものもあるが、這は現に支那と平等關係に在る國の法人に適用せらるべきものにして英米佛日等の如く未だ明かに領事裁判權を拋棄せざる國の法人にはこれが適用なきものと論ずるを當然の歸趨とする、

二、支那法院が從來外國法人の訴訟能力を認めてゐたことは事實にして這は現行法令にもその根據あるところである、即ち現行民事訴訟條例第五十二條に對する立法理由に於て外國法人の訴訟當事者能力の有無はその本國法によるべきことを明かにしてゐる、最近に於ても南京最高法院が一日本法人の上告に係る事件につき判決を爲したが當事人能力に關し何等言及するところがなかつた、こは同會社が既に支那に於て登記を經たが爲めにもあらず、また相手方が無資格の抗辯を提出しなかつたが爲めにもあらず、現に日本の法律に從つて法人格を有するが故に支那に於て當事人能力を認めてゐたが爲めである

三、被告は臨時法院回收協定第二條に於て將來新設すべき法院に於ては支那法律を適用して審判をなすべきことを規定してゐるが故に爾後は中外人すべて支那法律の適用を受くべき旨述べてゐるが、右規定は從來會審公廨及び臨時法院に於て適用された法令中には支那中央政府の正式立法によらざる幾多の法令ありたるが爲めに爾後は正式立法手續を經たる法令を準據とする意味を表はしたるものにして外國人一般を支那の法令をもつて律すべき趣旨にあらざることは該協定署名各國代表者より王正廷外交部長に宛てたる覺書によつて明かである、以上によつて支那に於て領事裁判權を享有する外國法人は本國法上法人格を認められたる以上支那に於てもその法人格を認めらるべきものであることが明かである

四、假りに一歩を讓つて支那新民法總則施行後は外國法人は原則上一律に支那民法その他の法令の適用を受くべきものとするも現行法の解釋上未だ外國法人が登記を經るの必要なき理由が多々ある、即ち民法總則施行法第一條によれば民法總則施行前(民國十八年十月十日以前)に發生したる民事上の法律事實には同法の特別規定ある場合の外同總則の規定を適用せざることを明定してゐる、而して同施行法第六條には特殊の財團及び社團を法人と看做し六ヶ月以內に一定の手續をなすべき旨を規定してゐるに拘らず外國法人につき何等規定するところがない、依つて民法總則及び同施行法は從來法人格を認められてゐた三井洋行の當事人能力に何等の影響を及ぼさゞるものといはねばならぬ

五、假りに叫項の事實を論外に置くも支那に事務所を有する外國法人に適用さるべき民法總則施行法第十三條の準用する民法總則第四十五條には社團がその法人格を取得するには特別法の規定によるべきことを規定し、民法總則施行法第十一條も同一趣旨の規定を設けてゐるが、現在に於て如何なる外國法人に法人格を認許するやにつき何等規定する法令が存しない、また民國十八年十二月公布されたる法人登記規則に於て僅少のこの種規則を設けてゐるが根本的に外國法人の成立を認許すべき何等の規定なく上海特別區地方法院に於てすら未だ登記實施につき何等の準備を有しない、これ外國法人の登記を未だ強要するの精神にあらざるの一證なりといふことが出來る

六、右を要するに原告三井洋行は支那に於て領事裁判權を享有する日本法人なるが故に未だ支那法令の適用を受けず、而して從來支那法院によりて認許されたる法人格を剝奪さるゝ何等の根據がない、又支那法令の適用を受くるものと假定するも支那には未だ一般外國人に適用せらるべき法規存在せず、而して支那の立法精神は從來認め來りたる法人格を明確なる規定なくして剝奪するの趣旨でないことは明かであり、かくて何れの方面より論ずるも外國法人の登記は必要なく被告の抗辯は理由なきものである

閣僚葉山伺候日取

【東京二十三日發電通】濱口首相以下各閣僚は天皇皇后兩陛下並に照宮殿下の暑中天機並に御機嫌奉伺の爲め左の如く三組に分れ葉山御用邸に伺候することゝなつた

二十四日、濱口、渡邊、町田、松田、田中五相▲二十六日、財部、幣原、江木、阿部四相▲二十八日、井上、俵、安達三相

樞府側の態度注目

御諮詢と共に審議開始

【東京廿三日發電通】樞府側では條約案の御諮詢と同時に暑休中と雖も直ちに審議を開始し九名の精査委員附託となすべく右委員長には恐らく平沼副議長か伊東巳代治伯が當る事になるものと觀られて居る、而して樞府側が如何なる態度を執るかが今や注目の焦點となつて居るが一部には撤回勸告の强硬論あるも結局樞府の全責任に於いて條約を不成立ならしむるがごとき措置には出まいと觀られてゐる

東郷元帥から奉答文捧呈

葉山御用邸に伺候

【東京二十三日發電通】東郷元帥は谷口軍令部長を同伴午後二時二十二分東京驛發葉山御用邸に伺候し天皇陛下に拜謁仰付けられ奉答文を捧呈の上御下問に奉答し即日歸京した

樞府精查委員顏觸れ豫想

平沼副議長任命說

【東京廿三日發電通】兩三日中に任命さるべき樞府精査委員の顏觸れは條約案審議上重大關係あるものとして政府側に於いても注目して居るが大體左の如き顏觸れになるのではないかと觀られて居る

伊東巳代治伯、金子堅太郎子、石井菊次郎子、富井政章男、江木千之、田健治郎男、河合操、石黒忠悳子、鎌田榮吉

尙平沼副議長が委員に任命さるべしとの說もあるが同男は反政府の色彩ある爲め政府は此の點を非常に注目して居る

條約成否で生ずる費目

追加豫算に計上

【東京二十三日發電通】ロンドン條約兵力量の御諮詢奏請まで進捗した海軍では明年度豫算編成を控へてゐるので奉答奏上後は專ら豫算方面に多忙を極める筈であるが奉答の結果により條約の成立は樞府の結果に俟たねばならぬ關係上豫算編成には到底間に合はぬ故條約の成否に依る結果にて生ずる費目は追加豫算とする模樣である

米各全權批准書署名

【ワシントン二十二日發電通】ロンドン海軍條約が二十一日上院を通過したのでフーヴァー大統領は二十二日午後三時ホワイトハウスにロンドン會議全權たりしスチムソン國務長官、アダムス海軍長官、リード、ロビンソン兩上院議員及び副大統領カーチス、スワンソン、ワットソン兩上院議員を招き嚴肅な儀式裡に午後三時一分批准書に署名し茲にアメリカの批准は全く完了した、署名終るやフーヴァー大統領はスチムソン長官を顧み「ロンドン會議にて努力した貴下及び貴下の同僚に祝意を表したい」と述べた

今日迄の好成績から團體協約法案

勞働法案とともに來議會に提出する

【東京廿三日發電通】勞働組合法と團體協約法とは不可分の社會立法と觀られてゐるが、內務省社會局では現在日本船主協會と日本海員組合との間における團體協約の實施が勞働爭議の平和的解決に良好な成績を擧げて居り其他全國で四十工場程の團體協約が好成績を示して居るに鑑み愈々今冬の議會に勞働組合法案とならんで團體協約法案を提出する方針に內定し目下法案作成中であるが其の骨子は左の如くである

一、團體協約とは事業主と勞働者の團體との間に雇傭條件其の他の契約をなし之に法律的保護を與ふ

一、一方が團體協約の申込みをなした場合他方が之に應諾すると否とは其の任意とす

一、協約の效果は事業主勞働團體及び其の所屬勞働者にのみ及ぶ

補充計畫と軍縮剩餘金問題

條約成立後にも殘る政府の難關

【東京二十三日發電通】政府は二十三日午後二時臨時閣議を開き條約案諮詢に關する準備を一切整へ濱口首相は廿四日午前九時東京驛發葉山御用邸に伺候し文書を以て條約案御諮詢奏請に關し伏奏すると共に同日午後倉富樞府議長を訪問して暑休中と雖も樞府の審議を進められたい旨を懇請する事となつた、而して樞府としても條約の重大性に鑑み政府に痛烈なる質問を發し警告文を附する位の事にはなるであらうが條約破棄の意見を奉答するがごとき事はないものと觀られて居る斯くて條約案は遲くも九月には批准終了となるであらうが、然も政府の眞の難關は條約後に殘されるものと觀らる即ち廿一日夜の五相會議に於いて政府は海軍部に對し動かすべからざる言質を與へたが、其の內容は政府は補充計畫に對しては海軍部要請通りの經費を支出する事を容認したものと言はれて居る、斯くて政府は海軍の補充計畫に幾らかの財源を割讓する事となつたが、軍縮剩餘金の大部分はこれに振り向けねばならぬ破目となるものと觀らるれば外なく茲に於いて政府が國民に公約せる軍縮剩餘金は國民の負擔輕減に充てると言ふ事は其の實行甚だ覺束なくなつて來たこれ等の點は豫算編成期の到來と共に今後旺に論議される事となるであらう

卅萬圓の新農具米國から購入し

公主嶺で新耕作を試みる 滿鐵村越氏の歐米視察談

滿鐵公主嶺農事試驗場から二ヶ年間歐米の農具と耕作法を調査研究に派遣された村越信夫氏は廿一日ハルビン着歐亞連絡列車にて歸着した、氏は語る

米國は總てに機械化され大農式でトラックターが全盛を極め牛馬を使用する農家は殆どないといつてよい程進歩し、百町歩程度の土地を耕作する農家は最少單位であり、稻作の如き八百町歩乃至一千町歩を耕作するので收穫期に五間ばかりの刈取機を使用してゐる、日本でこれを應用することは至難であるが、最低の勞銀をもつて最大の收益を得やうとする機械化は米國が一番である、歐洲ではまだトラクターを使用してゐる所はない、英國の如きは馬を使用した方が有利だと稱してゐる、滿洲では勿論米國式の大農組織が必要で公主嶺では約三十萬圓の新農具を米國から購入し試驗することになり、トラックターは既に到着してゐる筈である(ハルビン特信)

獨立守備隊の司令官異動

近く陸軍定期異動で

【東京二十三日發電通】八月初の陸軍定期異動にて左のごとく任命ある筈である

任中將補獨立守備隊司令官　步兵第九旅團長陸軍少將　久木村十郎次

野戰砲兵學校長　中將　室　兼次

補第二十師團長　步兵學校長　中將　山本　鶴一

滿洲關係の陸軍異動

來る八月一日の陸軍定期異動に際し關東軍隷下各部隊及び關東憲兵隊管下にも相當の更迭あるは當然にて進級轉補者の氏名は未だ窺知出來ぬが仄聞するに關東軍司令部において一二名の進級者あり經理部にも二三の異動は確實らしく駐劄步兵第九聯隊名越時中大佐の進級轉補並に憲兵隊管下においては進級轉補、三名を出すと共に鞍山に分派所新設、營口の分遣所昇格も或は實現するやも知れぬといはれてゐる

補第十六師團長　獨立守備隊司令官　中將伯爵　寺內　壽一

補第五師團長

師團長異動

【東京廿三日發電通】來月陸軍定期大異動中師團長の分左の如し

陸軍運輸部長　中將　木原　清

補第十二師團長　砲兵監中將　坂部十寸穗

補第三師團長

佐世保線復舊

暴風雨の被害を受けて不通だつた佐世保大連間電信線は二十三日午後五時復舊した

關西の海運界繫船漸やく增加

遞信省で對策を講究

【東京特電二十三日發】海運界の不況は輸出入貿易額の減少によつても示される如く甚大なるものあり、漸次左の如き段階を遡つて深刻化せんとしてゐる

一、船價償却の縮小或は不能、小船主は勿論一流會社においても從來の償却率を縮小せんとするものがある

二、支店、出張所其他營業設備の整理、縮小或は閉鎖、某汽船會社の如き所有船九隻を全部繫船し事實上休業狀態に入らんとしてゐる

三、船舶運航費の支拂不能、從來資金流通のため船主は採算を無視して所有船を運航してゐたのであるが極度の疲弊のため燃料費は勿論船員の給料さへ支拂不能となり爭議を惹起せんとしてゐるものもある

これ等の原因により關西には繫船同盟も出來て繫船は日々增加しつゝあるが繫船の增加は失業問題を伴ひ由々しき社會問題と化すると共に一方社外船は殆ど全部擔保物權となつてゐるので金融界にも大影響を及ぼすことになるため遞信省でも極めて事態を重大視し之に對する何等かの對策を講ずべく近く實情調査を開始することになつた

閻氏を首席としてわれ等は黨務を擔當す

具體的問題は北平で協議 汪兆銘氏天津到着

【北平特電二十三日發】汪兆銘氏は本日午前十一時半長城丸で大沽着直ちに大沽よりさし廻しの特別列車で午後一時半天津驛着盛觀なる重なる中を同件の夫人隨行者十名と共に市政府の歡迎館に赴いた北平入りは秘密となつてゐるが今明日中であらうと同列車中にて記者に左の如く語つた

政府組織に對して閻馮二氏と余とは同一意見で具體的問題は北平で協議する余個人の意見としては閻錫山氏を政府首席として吾等は黨務を擔當、民衆の勢力發展に力を注ぎたい內外の方針としては內に於ては完全なる獨立國として民生を中心に外は孫總理が北上の際神戶で講演し日本との諒解を第一の條件としたい

滿鐵重役の擔當

いよいよ各部長決る

【東京特電二十三日發】大森村上兩理事の新任に伴ふ滿鐵重役の擔任は左の如く決し二十三日滿鐵東京支社より本社へ打電した

總務部長　大平副總裁

殖產部長　大藏理事

計畫部長　同

經理部長　神鞭理事

工事部長　藤根理事

製鐵部長　伍堂理事

炭礦部長　同

販賣部長　十河理事

用度部長　同

地方部長　大森理事

鐵道部長　村上理事

交涉部長　木村理事(內定)

五品取引所半減資

昨日の總會で

大連五品取引所では既報の通り二十三日午後三時から大連商工會議所において臨時株主總會を開いたが當日の出席及び委任株主八百九十八名この株數十五萬二千五百三十七株で櫻內理事長議長席につき水谷常務理事より原案に對する說明あり資本金減少に關する件及び之に伴ふ定款變更の件について附議したが滿場一致を以て同社の資本金一千萬圓を半減して五百萬圓とし株式總數二十萬株を十萬株となす減資原案及び之に伴ふ定款變更の件を可決した

滿蒙研究會から要路に陳情

滿蒙研究會にては廿三日臨時理事會を開き岩井少將外數氏參集昭和製鋼所設置に付き協議を重ね左の如く濱口首相、大藏、拓務、外務、商工各大臣並に仙石滿鐵總裁に打電陳情した

滿蒙開發の國是と滿鐵會社の使命に鑑み昭和製鋼所は滿洲に設置さるべきものなり、右要望す

露領漁業視察

兩院議員出發

【東京二十三日發電通】露領カムチャッカ沿岸漁業視察の貴、衆兩院議員團一行二十餘名は二十三日午後二時上野驛發函館に向つた、一行は二十六日函館出帆の信濃丸で目的地に向ふ筈である

本日廳報を添ふ

大連市公報を添ふ

安東隅子

五十七ケ年間會はなかつた兄弟が一萬哩を越へて語り合つた無類の驚くべき發端は著るしく世界を小さくした▲米國コネクチカット州サウスマンチエスターといふ小さい町に十五人の子供のある一家があつた▲その十三番目の子供をジョン、ヘイエスと呼んで彼は青年期に米國から濠洲に渡り、爾米何十年の間消息を絕つて居た▲ジョン、イエスは今年七十歲になったが手段を盡して彼より三つ上の兄弟トーマスが鄉里サウス、マンチエスターに生きて居るとを探め二人は無線電信を通じて一萬哩を距てた米國と濠洲間で昔語りをした▲二人の話は無論昔の懷しい兄弟や友人の事、さてはお互ひに年をとつたが目方は幾貫あるかといつたやうな他愛もない質問事にまで及び▲ジョンは濠洲で娶つた妻君を亡くして今は獨身でゐる事若し出來たら子供の頃の女友達で誰かお嫁に濠洲まで來て吳れる人はなからうかといふ眞面目な依頼にも及んで通話は實に四十分に亙つた

錢鈔

定期後場(單位錢)

	寄付	高値	安値	大引
近期	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
遠期	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高(期近 五十萬圓、遠期 六十三萬圓)

現物後場(單位錢)

	銀對金	銀對洋	金對洋
一時半	—	—	[illegible]
二時半	—	—	[illegible]

出來高(銀對金、銀對洋)八千圓

商品

後場(出來不申)

綿布・綿糸(鼎騰)

銘柄 約定期 値段 梱數

綿助 十二月限 [illegible] 二〇

出來高 二〇梱

麻袋(出來不申)

神戶特電(廿三日)

大豆現物、先物、豆粕現物、先物、滿洲小麥、豆油現物 [illegible]

大阪株式

銘柄: 大株、新株、新紡、新鐘、船、日郵、東新 — 後場寄 / 後場引 [illegible]

大阪綿糸

橫濱生糸

大阪期米

東京期米

神戶期米

限月: 七月、八月、九月、十月、十一月、十二月 — 後場寄 / 後場引 [illegible]

滿日地方版

奉天

うどん、そば代 平均一割強値下 飲食店組合で決定

附屬地飲食店組合では廿一日午後三時から浪速通天安において組合の臨時總會を開催、出席者組合員五十五名で飲み物の値段につき警察と協定した報告後その値段を具體的に打合せた結果ビールは一本滿洲產は四十五錢、內地產は五十錢乃至五十五錢とし日本酒は滿洲產廿五錢、內地產卅錢、サイダー及びシトロンは滿洲產廿五錢內地產卅五錢と決定した尙これを機會にウドン、ソバ等の麵類の値段を自發的に値下げし警察の認可を得ること〻なつてゐるがその値下率は平均一割強で廿六日から實施することになつて八時頃散會したと

我子が可愛さに 夫婦喧嘩納まる 警察官に說諭され

女給奉公中カフエーの鮮人主人と甘い戀を語る仲となり遂に夫婦の緣まで結び男の子までなしたが夫の不身持から將來を案じたその女は子供を抱いて內地に歸る途中奉天で押へられ子供を中心に子供をつれて行くいや渡さぬの爭ひが奉天署で始まり涙ある係官の裁きで遂に子供の愛にひかされ再び兩人相攜へて歸り圓滿な家庭を作ること〻なつたといふ人情話がある

鞍山北二條通飲食店女將吉本千代子(三二)が二歲の男兒をつれ廿一日無斷家出し下り十五列車で奉天經由安東に向つたその取押へ方の手配により奉天署では同列車が奉天驛に到着するや同人を取押へ保護を加へ本署に連行取調べた處千代子は數年前朝鮮の寧邊で鮮人具大善の經營するカフエーに女給奉公中具と切つても切られぬ仲となり遂に夫婦の緣を結び鞍山に來り飲食店を開業してゐたしかし夫の不身持のため將來を案じ夫と別れて內地へ歸る決心をなし子供をつれ無斷家出したもので係官の懇ろな說諭に對しても二度と鞍山へは歸らぬとの決心に始末がつかず夫具を呼び寄せ解決すること〻なつた廿二日朝來奉した具は奉天署においてそれはどこまでなら內地へ歸つてもよからうしかしこの子供は自分の子供だから渡されぬと云ひ出し又千代子はそれでは子供が乳ばなれするまでは自分が引取つて養育しそれから渡さうと云つたが具はきかず遂にその子供を中心に新ひ合ひの爭ひが始まり、今一度兩人共考へ直してはどうかとの係官の涙ある言葉に兩人とも引下り話し合つた結果兩人ともそのいとし子をつれて鞍山に歸り圓滿な家庭を作ること〻なり親子三人は二十二日歸鞍した

支人とは知らず 六年も連れ添ふ 搜查願でやっと判る

天津日本租界曙町一六小島方佐藤そめ子より奉天領事館警察署宛長野縣生れ佐藤周一(三二)と云ふ自分の夫が就職口を探しに奉天に行つたが自動車の運轉手を勤めてゐるといふ手紙を受取つて以後何等の便りないのみか自分から再三出した手紙が皆返つて來るので心配でならぬからその事情を調查し通知して貰ひたいとの搜查願ひにより所轄署の奉天署から手配し調查の結果——佐藤周一なるものは大正十三年內地において現在の佐藤そめ子と內緣關係を結び昨年九月共に天津に渡り前記小島方に同居し就職口を探してゐたが適當な處がないため妻を天津に殘し去月十六日來奉藤浪町三番地永瑞祥事王連瑞方に食客となつてゐたもので同人は長野縣生れ佐藤周一と自稱するが日本人名を語らず王連瑞方に支那人名で泊り込んでゐた〻め天津の妻女より出した佐藤周一宛手紙は全部返されてゐたものである彼は河北省生れ周朝鳳(三二)と稱し妻にも自分が支人であることを かくして六年間も同棲し今回の調查で端なくも戀焦れる夫は思ひもよらぬ支人であることが判明したが周朝鳳は王連瑞から百圓借り受け妻を迎へに行くため本月廿五日奉天を出發し天津へ向ふ筈であつたと

町の便り

市內浪速通十八番地吳春田前で住吉町一〇大山某の乘れる自轉車と北市場秋利水(二五)の洋車とが衝突し洋車の梶手を破壞した損害一圓

◇

山西滿鐵地方部次長は廿二日正午ヤマトホテルに於て地方委員及び區長主催の歡迎會を開いた

◇

板橋子管內は連日の降雨で水田の浸水甚しく三尺以上の浸水個所さへあり被害程度は不明であるが浸水水田は獨藥公司所有のもの三十天地個人耕作水田廿天地に達してゐると

人事

▲安保海軍大將　二十八日過奉の豫定
▲高橋貴族院議員　二十一日安奉線にて內地へ
▲佐藤代議士　同上
▲奧田奉天保線事務所長　二十二日歸奉
▲櫻內代議士夫妻　廿二日安東より過奉赴連
▲宇佐美哈爾賓事務所長　廿一日過奉赴任
▲陶尙銘氏　廿一日歸奉
▲カーレル、ヘム氏（駐日チエッコ、スロバキヤ公使）夫人令孃同伴廿二日安奉線急行にて北行西伯利亞線經由歸國
▲小樽高商生十六名　廿二日朝安奉線にて內地より來奉同日撫順往復

貔子窩

夏季講習會

當地民政支署學務課では來る七月二十七日より四日間公學堂に於て夏季講習會を開催する由、講習人員は四學級以上の學堂は二名宛三學級の學堂及島嶼は一名宛とし科目講師は

算術敎授法　當地小學校長　坂東久松氏
體操指導の理論及實際　當地民政支署視學　中山右三郎氏

營口

一萬四千圓の プール竣工 廿三日盛大な開場式

本春三月十五日から大通今井組請負の下に起工した當地プールは工費其の他一萬四千二百圓餘を費して竣工し、愈々廿三日午前十時から稻葉常任幹事の開會の辭の下に開場式を擧行した、修祓、工事報告、來賓祝詞等あり、三段飛渡宗治及び滿鐵學務課體育係秋山賓襄の兩氏に依る水泳型が盛大なプロの下に行はれ、一般會員には午後一時式後公開され二十四日以後は午前七時より午後七時まで開放される由、因に營口水泳俱樂部は渡宗治氏を敎師とし助敎師經田義雄及び目下當地東亞煙草會社勤務の初段高橋昌彥氏が更に助敎師として依囑さる〻はずである

國際運輸が 多數苦力を解雇 不景氣風に餘儀なく

支那側鐵道の活躍に依て滿鐵線の輸送貨物に甚だしき影響を來たしこれが荷役作業に從事中の國際運輸會社並に其他に於ては悲慘な窮地に陷り、爲に當地の同支店では二十一日遂に苦力頭七名常用苦力五百名を解傭したが、從來は一千三百餘名を使役して來たのを現時の不況狀態では三百名を以て餘剩りあるので相當の整理を擧つて解雇したが、彼等もその實情を熟知して居るので別に不穩の行動もない

不景氣退治 商議で研究

不景氣風は何處も同樣に吹き荒んで氣息奄々の狀態にあるは事實であるが、當地も漸次深刻の度を加へ來り邦人の消費力は減退し支那側の購買力は涸渇し當驛發着貨物減少のため船舶貨物の減退海陸送業の不況、北票炭の進出に依て撫順炭地賣炭の賣行減少等その原因を數へ來れば種々あらうが、何とか此窮境を打開する方策を講ぜねばならぬとの聲漸く勃興しつ〻あるので、商業會議所では寄りく研究を進めて居る

兩氏の送迎會盛況

本社に榮轉の瀧生前地方係長と新任の山內司係長の送迎會は二十二日夜淸林館に於て行はれたるが、來會者四十餘名で盛會であつた、尙瀧生氏は在任十年餘の長きに亘りその間當地の諸施設其他に貢獻せしこと少からず市民は少からず氏の離任を惜みつ〻あり

三浦內務局長

沿線各地巡視中の三浦內務局長は二十八日午前十時半着午後三時二十五分離營の豫定

遼陽

極力鞍山案支持 更生會役員會の協議

遼陽市民更生會では廿二日午後一時から公會堂に於て役員會を開き先づ昭和製鋼所滿洲設置問題に付大連が主催して全滿大會開催の件を協議したが、遼陽としては飽迄鞍山設置の貫圖ある仙石總裁案を鞍山側と協力支持すると共に廿四日の大會には代表委員として地方委員側から生田友次郎、安藤吉三郎、猿渡源藏市民更生會から森岡彌次郎、梶原岩吉の五名が廿三日夜行で赴連することになつた

地委茶話會

遼陽地方委員會では廿二日午前十時から地方事務所會議室に於て臨時茶話會を開き、昭和製鋼所滿洲設置全滿大會に代表委員派遣其の他の件に付協議したと

管外匪賊狀勢

遼陽城西常家窩棚附近には頭目黨雙陽、陳中甲の率ゆる廿餘名の一味が橫行しつ〻あり、村民も頗る脅威を感じて居ると、頭目黨雙陽は十數年前同地方を中心に掠奪暴行の限りを盡し其の後北滿方面に逃走官憲の目を晦ましたる者、また副頭目陳中甲は昨年城內四大劇李商務會長方を襲ふた疑ひあるものだと

移駐隊歡迎會

柳樹屯から移駐した旅團司令部及び步兵大隊將卒歡迎會開催の件に關し地方事務所の三澤庶務係長が數日前同地に出張在住民の誠意を披瀝諒解を求めたるに、酷暑の折柄でもあり多數將卒を招待さる〻事は軍隊衞生上其の厚意を受けて催し、を見合せられたしとの事で、兵士諸君には他日歡迎の意を表することに准士官以上は廿七日午後七時から公會堂に招待する事に決定した、參會希望者は廿五日迄地方事務所又は町內各區長まで申込まれたく會費は金二圓、當日持參のこと

旅團長の招宴

遼陽に移駐した步兵第十九旅團長中村少將は廿五日午後六時半から偕行社に官民の主なる者を招き披露旁々懇親の宴を催すと

四平街

小學卒業生 同窓會 來月三日に

當地尋常高等小學校の卒業生は例年の通り來る八月三日滿鐵俱樂部に於て同窓會を開くこと〻なつたがあたかも本年は母校が創立二十周年に相當するので母校祝福のために個人團體の種々の餘興をも演ずる筈であると

撫順

赤痢猖獗を極め 羅病百名を超ゆ 經口豫防藥無料配布

赤痢猖獗を極め罹病者今や百名を超へんとし撫順は正に赤痢恐怖時代を現出せんとしてゐる、右の內滿鐵醫院に收容したる者は五十名であるが華工などは赤痢にかゝつてもこれを隱蔽入院する事を極度にきらひ、華工宿舍一戶で三四人とかたまつた赤痢患者が最近續々と發見された、炭礦では右徹底的防止策として近く「經口豫防藥」を無料配布する故自分のみの健康ばかりでなく公衆衞生の爲にも服用すべきで副作用としては一寸下痢するやうな事があるかも知れないが、同藥を吞みさへすれば赤痢に犯される心配は全くないと

重油と粗蠟輸送 廿二日大連から德山へ

撫順製油工場は全操業開始日以來極めて順調に進みつ〻あるが、主產物たる重油二千噸、粗蠟六百噸は大連寺兒溝のタンクより運送船鳳城丸に積込まれ昨二十二日拔錨德山さして處女航海に上つた、撫順同工場に於ては原油生產高既に二萬噸をオーバーし重油三千八百噸を產し內二千六百噸は既に大連に送られ、內二千噸は前記の如く海軍に向つて輸送されたのである粗蠟も既に一千二百噸、一番金目になる硫安が四千噸を產し噸當り百二十圓で飛ぶやうに賣れると云ふのだから景氣がいゝ、前記以外目下連日粗油二百噸、粗蠟六十噸その他硫安、コークス等が生產されつ〻ある

撫順劍士の 陣容成る 早大軍を迎ふ

本紙の逸早く報じたる如く帝都武道界の雄早大劍道部一行は高野師範に引率され八月三十日來撫、永安臺道場に於て撫順と一大決戰が演ぜられるが、當日撫軍の陣容は五段阿部文雄氏を大將に亦その日の形勢に依つては佐藤重藏五段自ら出場する準備を整へ、豐傑の橫山四段副將として控へその他根北四段、坪田、金澤、愛甲、高山、飯塚、海老名等一騎當千の豪の者出場する事となつてゐるが、當日撫軍の陣容は次の如く內定した

五段阿部文雄、四段橫山信太郎、根北常彥、三段坪田祐一郎、金澤眞太郎、愛甲爲志、海老名五郎、飯塚時次郎、高山富士雄、二段木村鐵男、神保兵之助、佐々木淸吉、德森基雄、高宗貫、溝口健三、佐藤稔、初段松田衛、水上留夫、高田勝三、森義彥、松田忠、是村輝彥、一級中𡧃長三郎

新給水タンク

經費十萬圓で新發電所橫に一千二百噸の給水タンクが新設される、給水塔の高さ百二十尺右竣工の曉は一壯觀を呈するであらう

鮮婦人夜學會

在撫鮮人キリスト敎牧師金昌德は知識程度低き在撫鮮人一般女子青年學院開校運動中であつたが、差當り東二條の同人宅に於て鮮人婦女の爲夜學を開始する事とし、正規の敎育を受け難き者に對し一般普通學を敎授すると

鐵嶺

土用稽古 空前の盛會

二十一日から開始した武道土用稽古は青木武德會支部長から各方面に懇擾の依賴もあり、各鬪士にも極刀出場の勸誘があつたので空前の盛會で六十餘名の柔劍道部員は流汗を物ともせず雄々しい叫びに三伏の暑さを征服してゐる、尙武道場の裏には大弓部員の土用稽古ありこれ又柔道部に劣らぬ盛況で兩々相俟ち鐵嶺の武道熱は熾烈を極めてゐる、每日午後四時より五時までの一時間なるにつき各方面有志多數の參加を望むと

線路上に小石

去る二十日午後一時半當驛着下り第二十一列車が鐵嶺驛構內に入らんとする際南踏切上り線西側軌條に數個の小石が併列されてあるを乘務員が發見し、驛到着と同時に報告保線區員が現場に急行し除去したので幸ひ事なきを得たが石は線路にあるバラスで四五尺置きに五個あり附近部落子供の惡戲と見られてゐる

小學校同窓會

鐵嶺小學校同窓會では母校出身學生が暑中休暇で歸省せるを機とし例年の如く同窓會總會を開催、期日は來月十日と定めた、當日母校の先生は勿論先輩等も招待し會員の餘興などを催すと

三業組合總會

鐵嶺三業組合は今廿四日午後一時より金波樓において家族總會を開催役員の改選規約の變更等協議の後六時から組合員懇親の宴を催すと

夏期講習會

鐵嶺縣敎育局主催の縣下小學敎員夏期講習會は去る十六日より開催の筈であつたが、連日降雨のため參加者少なく期日を延期し二十一日から開催したが會場は南門外縣立第一高級小學校であると

兩氏明日出發

營口及安東にそれぐ〻榮轉の山內敬二氏及鈴木善作氏は明二十五日午後零時半の特急で家族同伴任地に赴くと

吉林

弓道大會盛況

吉林の弓道熱は近頃になつて益々盛んになつて來たが二十日の日曜も月例弓道大會を午後一時より總領事館橫の弓道場で開催した、出場者二十七名に達し二十射の競射では島谷氏十四中の成績で一等となる、金的では石橋氏大高氏見事に中り扇落しの餘興があり賞品の受與等あつて午後五時三十分終つたが近來にない盛會であつた

一等島谷、二等遠藤、三等細井、四等堀、五等石橋、六等幸尾、七等大高、八等林、九等花田、十等米田
金的　石橋、大高

吉林銀行總會

吉林銀行にては來る二十六日午後一時より同行內にて定時株主總會を開き左記各件を附議する筈である

一、昭和五年上半期營業報告書、貸借對照表財產目錄、損益計算書の承認を求むるの件
二、利益金處分案の件
三、役員報酬に關する件
四、退職役員に對し慰勞金支出の件
五、取締役、監査役全部滿期に付改選の件

尙同行上半季營業は順調に進展し其利益金約五千圓に達して居る由である

公所長夫人淸宴

瀋田滿鐵公所長夫人は十八日正午より城內醉仙飯店に當地主なる夫人連を招待した

二人殺し 懲役十二年

本月四日未明新義州府內麻田洞王子製紙會社々宅において內妻及びその養女を絞殺した靜岡縣生れ神戶金作([illegible])に對する判決は二十一日新義州地方法院において言渡しがあり、懲役十二年に處せられた

緊縮映畫大會

滿洲公私經濟緊縮委員會主催の緊縮映畫會は來る二十七日午後七時から大和小學校に於て開催されるが、映畫種目は左の通りで何れも高級品揃である

一、聖上御巡幸復興の帝都二卷
二、聖上御臨幸帝都復興式典一卷
三、秩父宮殿下御渡滿記念寫眞（關東廳作）數卷
四、日出る國（文部省作）三卷
五、覺めよ國民（同上）二卷
六、二つの世界（同上）三卷

伊藤巡查部長歸國

安東署に永年勤務して居た巡查部長伊藤勘之助氏は今回家事の都合で勇退し鄉里仙臺に歸る事となつた、氏は日露戰役直後渡滿し關東都督府の創設せらる〻や同府附巡查を拜命、大連より安東に轉じ沙河鎭をはじめ各派出所を巡り一時は高等視察係となり、敏腕を揮ひ幾多の難事件を解決し關東廳より表彰される事度々あり、同廳始政二十周年記念祝賀會の際は大銀盃を贈られた、氏の退職歸鄉は家事の都合上とは言へ一般から非常に惜まれてゐる

長春

プール開き 廿八九日ごろ

西公園プールも昨今の降雨に幾分惠まれどうにか二十八九日頃から開設出來るやうになるだらうと地方事務所社會係では語つてゐた

哈爾賓

東鐵運轉會議

十八日電報課で午前十時からルドウイ局長の列席で汽車、運轉、車務、工務の各課長、技師及び各沿線の區長等出席し運轉會議を開催したが、開會劈頭に局長は東鐵列車の運行に關し現在より以上に商業用鐵道としての機能を發揮するため運轉時間を短縮すること、各課及各區長は區間の運行に對して注意を拂はねばならぬと警告し一場の挨拶あり、午後一時散會したが、會議は引續き十九日午前十時から電報局內にて開催することになつた

刀劍同好會

哈爾賓刀劍同好會では十七日午後八時から公會堂談話室で小堀氏の靜御前と後白河法皇の御衣と[...]る講話あり、靜が所持してゐ[...]劍に關する小矢部博士著靜御[...]光了寺保存（現在は實物はな[...]の小刀に就き說明あり、夜の更[...]るも知らず十二時散會したが、[...]木少佐、杉、青木、片岡の各[...]席し布袋主人は貞次ものを其他[...]氏の名刀出品あり盛會であつ[...]今後は各月一回こうした會合[...]し刀劍の趣味と硏究を申合せ[...]月の沖、橫川志士の祭典當日は[...]秋期刀劍大會を開催する由で[...]せて刀劍招魂祭をも行ひたい[...]

學生實地練習嘆願

鐵道に關する一切の學術的研究[...]敎育してゐる扶輪育才傳習所の學生八十餘名は東鐵に實地練習のため六ケ月間の採用方を申込んだがはねられ郭局長と代表が會見しこれが解決方を嘆願した

濱江雜俎

東鐵中央圖書館の本年度豫算は九〇五三金留を計上した、昨年は一〇三九二七金留であつたが一八六四金留の減少である

◇

上半期中の札來諾爾炭鑛の收支決算によると一一八〇〇七金留[...]つた

大石橋

高粱畑內に 匪賊の死體 仲間の喧嘩?

二十日午後四時頃大石橋鐵道西附屬地に接せる高粱畑內に三十歲位の一名の支那人死體が發見され林警務主任、橋本司法主任、部刑事等臨檢の結果、被害者共に匪賊にして掠奪した金の分配より喧嘩を始め射殺したものなるべしとの推定を爲せるが支那官憲も同樣の判斷を下し附近は相當激しく爭鬪した痕跡あり現大洋五十元包みの包裝紙五枚も散亂してゐた、今や馬賊活動季に入つたので阿部刑事は變裝姿で汗だくの活動を續けてゐる

鞍山から檄電

二十二日午前十一時鞍山實業會名を以て大石橋地方委員會宛檄電が來た、曰く

昨夜市民大會を開き滿鐵製鋼所に對する滿鐵の使命に基き昭和製鋼所の建設地を鞍山とする仙石總裁の意見は正當なり、速に實現を要望すと決議す、貴地に於ても朝鮮の運動に鑑み奮起されん事を望む

とあり、伊藤議長は委員と商議の結果大連に於ける全滿大會に[...]の上鞍山設置に向つて善處することになつた

安東

大和小學生徒の 販賣實習始まる 二十二日から驛前にて

既報の通り大和小學校高等科生の夏中休暇中の實習生男兒五名、女兒二十二名は愈々二十二日より來月十六日迄驛前共販所に於て商品販賣實習を開始する事となり、二十一日は開店準備の爲め宣傳ポスターを樹てるやら商品整理陳列に忙殺されて居た、共販所內は小規模のデパート式にて十部に之れを分ち每日午前六時より夜十時迄各生徒が擔任個所を定めて販賣實習する、尙商品も市內一流商店より原價を以て託され全然生徒の責任にて利益を無視して土產物其他一般家庭用品を販賣する筈と

學童庭球大會

平北體育協會主催の學童庭球大會は二十日午前十時より營林署コートに於て開催された、試合は緊張裡に終始し選手は沿線各校より十七組出場したが批峴普通學校組優勢にして決勝戰には同校のみ二組殘り、同志打の結果遂に白、金組が優勝した、因に準決勝以後の成績次の通り

◇準決勝
批峴（梁基澤 韓亭祥）四—一商（張間梓 李熙臨）
批峴（白得賢 金京錄）四—三商曾（宋大和 趙東勛）
◇決勝戰
批峴（白得賢 金東錄）四—〇批峴（梁基澤 韓亭祥）

土用稽古納會

日本領事館警察署では十七日午後二時から演武場で土用稽古武道納會を催し、柔道のみの紅白試合五人拔等あり、近來にない熱心な試合を行つたが、其の成績は紅軍の大將岡島君力鬪したるも白軍の副將宮尾君のため倒れ白軍は大將丸君を殘して凱歌をあげた、五人拔では篠原三段に引田、宮尾、菊地、丸、岡島の勇士が一氣呵成に奮鬪したがいづれも四、五分間で篠原三段のためになぎ倒されたが、各試合とも非常に緊張し好成績であつた

緊縮映畫大會

滿洲公私經濟緊縮委員會大和部主催にて緊縮宣傳並に國民作興に資するため左の通り活動寫眞を映寫する事になつた

一、開催日七月二十六日午後[...]
一、場所公會堂
一、入場無料
▲映畫內容
（イ）聖上御巡幸復興の帝都二[...]
（ロ）聖上御臨幸復興式典一卷
（ハ）秩父宮殿下御渡滿記念寫[...]卷
（ニ）日出づる國三卷
（ホ）覺めた國民三卷
（ヘ）二つの世界一卷

開原

吾等の町を語る

情操敎育には苦心 土地其物が殺風景なため 永野善三郎氏談

大豆の都として好況時代に最も活躍した町であるだけ、一層深刻に不景氣の影響を受けてゐるのではないかと思はれる、とりわけ滿海線の開通と錢鈔暴落の惡影響とは特產市場を益々不振に陷らしめ、實業に緣遠い敎育者さへも無關心であり得ないのを遺憾とする。

◇

或人は滿蒙五鐵道に關する利權に抵觸してゐる滿海線の布設を默過した當局者の不都合を擧げて、邦人の利害休戚に關する事件に對しては今少し熟慮を煩はし度いと言つてゐるが、事すでに過去に屬しどうすることも出來ないし、又錢の相場も勝手に上下することも出來ないから、所詮は各地同樣「其のうちに何とかなるだらう、行ける所まで行くより外はない」といつた樣子である。

◇

かうした市中の不景氣が、兒童の生活にどんな影響をもたらすであらうかと考へる時、細心なる注意を要するものがある。表面には何事も無いやうに見えても地殼の一部に缺陷があると大地震の原因となることがある。

◇

「頭腦が緻密で明敏で抱負の大きな人々や聰明で老練な實業家達が少くないから、他日風雲に乘じて雄飛する人もあらうが、徒らに物質的對象にのみ沒頭してゐる人も無いとは言へぬ。併し乍ら大體に於て皆物分りが早く、資本を相當にかけて大學などを卒業させても就職率三十八パーセントといつたやうな今日の敎育がつまらぬことをよく理解し、徒らに上級學校へ子弟を送らうとする傾向が段々と減却しつ〻あることは先づ結構であらう。

◇

けれども澤山の人の中には、學校は知識の切賣をする所の如く考へ、兒童本來の生活を進展せしめて獨自の世界を開拓せしめやうとする企圖に對して危惧の念を抱く人が無いではない。從つて誤熟心といふのも有るが、概して敎育には良く注意するやうで、此の點は識者先覺に負ふ所大である。

◇

學校では吾等の町に即した敎育を行ふ爲めに十分保護者と協調することを期してゐるが、何分にも土地そのものが殺風景な所であるために、落ちついた、うるほひのある敎育をすることは容易でない假りに圖畫敎育を盛んにして美的陶冶をしやうとしても、郊外は立木と家屋と野原ばかりで、山も水も無い。即ち出來上つた畫は中景も遠景も無いものになつてしまふせめて音樂兒童劇などによつて快活瀟洒な性情を養ひ、協同調和の訓練をすることが極めて意義の多いことになつて來る。

◇

併し乍ら此の種の陶冶は人をして優柔にならせ文弱に導き易いといふ通弊がある。すなはち勤勞作業を課し、體育運動等を奬勵して質實剛健の氣風を養ひ十萬の職骨に酬ゆるところあらしむべきである。かくして敎育せられたる兒童が、他日開原を經營するであらう時、美しくも床しい理想の花が開くであらう

大連到着の拓大滿鮮見學團（同窓會大連支部員との記念撮影）（前列向つて右より三人目教授四人目石井教授）

アルプス南縱走記（三）

東京　大野恭平

◇野營地の月◇

「東、仙丈、西、駒ヶ嶽、間を流る〻天龍川」と伊那節に歌はれる仙丈岳はその南に伸した尾根の如きは三峰川の谷に落込むまで地圖の上の直徑ですら四里もあつて、曲線美ゆるやかな、山肌の美しいみやびやかな山だが、さてそれを越へるとなると「仙丈の馬鹿尾根三十八ピーク」と罵倒されるに値する澤山の煩はしい上り下りを持つて居る。

私達は十一日、仙丈の嶺を越えその馬鹿尾根のピークの一つ荒倉嶽の南二、四〇〇米の邊に野營した。弘法池と呼ぶ水溜のある所だが、弘法大師の威力も昭和の御代までは纏かないのか池の水は涸て居た。

人夫と協力してさつかけ小舍を急造し、附近の栂や樅の巨木を伐り仆し薪の山を積んだ。寒からうから人夫は徹夜してそれを燃やすと言つて居る明日は入梅だ夕方の空には薄墨色の雲が一杯にはりつめて、やがてポツリ／＼と雨が落ちて來た。雨となれば「もう今夜はヅブ濡れだ」と覺悟したが、幸ひに雨はパラついた丈でやみ、さうしたドンヨリしたお天氣のおかげで風も吹かず、從つて寒い思ひもせずにグッスリ寢込んだ。

それでも夜中には大地から背中に滲み透す冷に眼がさめて見ると人夫はよく寢込んで、焚火は消へかゝつてゐる。見上ると雲は切れて十六夜の月が栂の密林の梢の上を靜かに動いて居る。時計を見ると午前二時だ。（寫眞は仙丈の馬鹿尾根）

貞操價値の崩壞

在東京　山田生

◇男尊女卑の時代は去つた。家長專制を骨子とする家族制度の美點と缺點とは、なほ農村に保たれ居るも、都會の家庭生活は益々個人主義的色彩を濃厚にし、男女平等の思想と共に、男尊女卑の封建的習慣性は稀薄になつた。女子の職業的進出は一層強くこの勢ひを推進し、女に媚て女を增長させる一部上流階級の不仕舗は別問題とし、自己の妻を生活戰線に送り出さねばならぬプロ仲間の中流階級間においても、女の鼻息が荒くなり、それ丈け夫たる男の權威は甚だ乏しくなつて來た。

◇斯くして男尊女卑の封建的習慣性が稀薄になつて來るのは、勿論悪い事ではないが、その反面において、女の貞操觀念が怪しくなつて來たのは、寧ろ驚くべき現象である。東京方面のモダンガールはその標本とも云ふべきもの乎。その結果、裁判所に持ち出させる離婚訴訟の內、女の姦通による男からの離婚訴訟が七八割を占めるといふ有樣で、女から男を相手取つた訴訟が九割程度であつた既往と比較して、これは當にその正反對の現象と言ふべきである。

◇貞操蹂躙による損害賠償や慰藉料請求の訴訟も近來滅切り多くなつた。これも東京方面を中心としての話だが、從來は月に五六件か七八件に過ぎなかつた此の種の訴訟が急に激增して、近來は月平均十五六件、多い時には三十餘件にも及ぶといふ有樣だ。尤もこの種の訴訟も不況の影響を受けて請求額がグン／＼低落する。萬圓程度のものは殆ど無く、千圓から二三千圓が普通の程度であつて、しかも裁判の結果は五六百圓から二三百圓といふところに落付く、貞操價値も物價下落と共に下落したわけだ。女の貞操蹂躙を、貞操價値に變更させたのは、物質文明が精神的文化を克服した一例で、人間の墮落、殊に都人士の倫理觀念が零になつた一の證據である。

◇女子の職業的進出は、生活難の一般化した時節柄、それがプロ階級である限り、已むを得ざる當然の團結だが、之がために賣春婦以外にまでも貞操賣買の取引線が擴大したのは、嘆かはしい社會相だ。プロ階級に屬する有夫の婦人がブル階級の鼻下長的男子に操を賣つてその富を搾取する、それも一種變法的な階級闘爭上の戰術かも知れないが、要するに貞操觀念の破滅を意味する以外の何物でもあり得ない。夫婦談合の上、相手の男の鼻下を測量して、妻の肉體の一部をその男に捧げしめ、然る後、夫が出て〻來て、種々に恐喝して金を取る、といふ彼の美人局なるものが今なほ有るかどうかは知らないが、兎に角、貞操の價値は物價以上の大下落だ。

◇女子にのみ貞操を強るのは悪い。それは男尊女卑の封建的習慣性から生れた悪思想で、大審院の判例を待つ迄もなく、男女平等の近代的進歩思想から云つて、女子に貞操の必要があれば、男子もまた貞操を守る必要がある。女から守らせて、夫は仇し女に狂ひ廻る即ち妻にのみ貞操を強て夫は不貞操の限りを盡すからといふ種類のものもあるが、前記の如く近來滅切り殖えた男からの離婚訴訟の多くは、女の姦通、即ち妻たる女子の不貞腐れが重なる原因となつて居るから、女子の貞操觀念がいかに薄れ行くか、以てその一斑を知るべきであらう。

◇守るべきものを守らず、賣るべからざるものを賣り、無形的に尊き價値を有する貞操を有形的の金錢に代へて取引する、貞操價値の崩壞でなくて何であらう。いかに生活難のためとは云へ、この貞操價値の崩壞は、人間の墮落を意味し、物質文明に克服された都人士も、その無氣力さは全くお話にならない。貞操價値の崩壞は實に都人士の無氣力より生じた倫理的破滅の一端に外ならぬ。

五湖嘴行（一）

瓦房店支局　板橋生

七月十二日新任瓦房店地方事務所長小野寺清雄氏、警察署長佐藤雅助氏の兩氏復縣五湖嘴方面視察の話纏まり、之に參加せる者營口より領事館警察署長林源之助、下田署長池田公雄、警務課長牧田太猪藏の兩氏、之に田村通譯生、藤沼警部補の兩氏、普蘭店より民政支大連新聞支局長、瓦房店驛長石井忠一氏、公司側より社長龜井賢一氏、之に

◇…筆者を　加へて一行十一名、自動車一臺を貸切りて出發する事となつた、梅雨の天候は曇天極まりなく幾度か一行をして上空を眺めさした、併し天氣の神樣と稱する小野寺所長、晴雨計の持主たる佐藤署長降つて居ても降らぬと頑張る林營口や降つたら徒歩すると云ふ池田、牧田の普蘭店組それに飾込まれ雨模樣を氣遣ひありて異端丈はなか／＼強いのでながらも車上の人となつた、午前十時車輪一轉瓦房店を後にして出發した、自動車は早くも復州街道に出て轍して五湖嘴街道に入る、雨降れば河流となり降らねば道路と云ふ樣な所を

◇…一直線　に走つた、白楊やポプラー樹が兩側に生ひ茂つて恰度「トンネル」の中を走るやうな氣がする、間もなく廣漠なる場面が展開する高粱の波が打つて居る、瓜や茄子や西瓜の花も咲いて居る、貴公子然たる小野寺所長左右を顧みて「瓜や茄子びの花盛り」とやる、句になつて居ないとの抗議が出る、十七文字に足らない「見渡せば」の五字を上句に追加すればよいと云ふ向もある「見渡せば瓜や茄子の花盛り」？豪放磊落氣は一世を蓋ふの槪ある林營口署長何思ひけん「梅雨晴れや高粱畑に笠光る」とやつた、一行は驚いた、ビールの栓を拔く外にこんな句もやるのかしらと一同首を傾ける

◇…何時も　批評の側に立つて居る佐藤署長も之は名句だと折紙を付ける、林君の鼻息に高き事瓦房富士の如し、林君の名句に次で我も／＼と頭をひねるか一向に出ない、自動車は谷に下り丘に上り動搖甚だしい今三分の一の道程にあるらしい、筆者は朝食を濟ました筈だが早空腹を覺へた爲めに元氣を喪失し兎もすると睡眠を誘へる「トロリ」とする內に轟々しい音がする、自動車が水中に飛込んだのだ、梅雨の天候で場所に依りては可なり增水して居る、其處を無雜作に走る、二三回は成功したが遂に車輪を泥中に沒した

◇…十一人　の運命は正に風前の燈火だ、危急を見越した林營口船長代りの資格で「一同下る」の命を下したので全員悉く下車したが、獨り筆者は空腹の爲め如何ともする事が出來ない、命令に背き車と運命を共にするより外なかつた「空腹も今となつては堪へられず」全員の後押て車體は漸く浮き上つた、暫くは徒歩であつた（寫眞は林家屯の晝食）

探偵小說　女妖（149）

江戸川亂歩作　横溝正史　伊藤幾久造畫

疑問の家（三）

千家鷲鷹と乾分の大場がひそひそと密談を交はしてゐる時、その邸の表の方を、うろ／＼と歩き廻つてゐる男があつた、なるべく人眼につかぬ樣に用心し乍ら、物蔭に身を偲ばせては凝つと邸の方を眺めてゐる。汚れた鼠いボロ／＼の洋服に同じ油じみた帽子を眉深に被り、上眼使ひに物を見る樣子はあまり感じのいいものとはいはれない。通りがゝりの男の一人はその姿を見ると、氣味惡げにぺつと唾を吐いて、急ぎ足に行き過ぎた。その後姿を見送り乍ら、男はつと物蔭を離れると、何氣なく歩き出した。そしてぐるりと邸の外を一周するとブラ／＼と賑やかな方へ歩いて行く。然し、ものの十分もすると再びのろ／＼と歸つて來て、ポケットから煙草を取出すとマッチを探り出した。そして風をよけるやうな風をし乍ら、つと邸の塀にピッタリと身をよせた。パリーでも邊りには誰もゐない。この邊は一番閑靜な場所で時刻によると、犬の子一匹通らない事さへある。男はきよろ／＼と素早く邊りを見廻したが、あつと思ふ間に早塀を乗り越えて、邸の中に忍びこんでゐた。牛松である。この男こそ餘人ならぬお粂の情夫牛松だつた——彼がどうしてこの鷲鷹の隱れ家を知つたのか、又何んのために忍び込まうとするのか——それは他でもない。

春日花子だの成瀨子爵と一緒に家を持つてゐた彼は、或日歸つてみると、花子とお粂の姿が見へなくなつてゐる。折から歸つた子爵も何も知らぬといふ。お粂の父庄司三平も、生憎その日はお晝から留守にしてゐたので彼等が何處へ出かけたのか少しも知らなかつた。その翌る日も、そしてその次の日も——。故意に出て行く譯はない。誘拐されたのだらうか——誘拐といふ事を思ひつくと二人は直ちに千家鷲鷹の事を思ひ出した。又もや彼の毒牙が伸びて來たのではなからうか。そして執念深くも二人の女を狙ひ去つたのではなからうか。そこで子爵と牛松は手別けして二人の行方を捜索しなければならなくなつた。

「十中の八九迄はあの男だ。あの男の他に花子をつれ出す人間はないぢやないか」

子爵は蒼白い顔で絶望の色を浮べ乍ら呻つた。

「然しお粂は——？お粂は何も關係はないぢやありませんか」

「いや多分道づれに連て行かれてしまつたに違ひない。あゝ今度あの男の手に連れ去られたとしたら、花子は一體どうなるのだらう」

牛松と子爵は深い吐息をつき乍ら顔を見合した。二人は一番惡い場合を思ひ浮べて各々ぞつとした

「探しませう——こんな事を言つても始まりません。二人、手分して探し出さうではありませんか」

「探すと言つて、鷲鷹の奴の居所がわからないのに、どうして探し出す事が出來るのだ」

「今はそんな事を言つてゐる場合ではありません。だからその千家鷲鷹を探し出すのです」

かうして二人は當もなく、毎日パリーの市中を歩き廻つてゐた。それは可成り危險な事に違ひなかつた。彼自身が警察から捜索されてゐる人間である。それが反對に人を探さうと言ふのだから、甚だ危險な仕事だつた。

然し、牛松は、今日到頭その手がかりを摑む事が出來たのだ。ある一軒の煙草屋の店先を通りかゝつた時、中から出て來た男を見て、彼はハッとした。大場だつた。かねて見知り越しの大場だつた。牛松がどうして大場を知つてゐたか、それはわけがあるのだ。

家庭欄

キャンプの仕方（6）
キャンプと天幕
大連少年團主事　阿左見福馬

テントの選定

キ ャムプを大別すれば固定キャムプと、移動キャムプの二種になる、固定キャムプは知つての通り一定の場所に數日乃至數週間天幕生活を營むものであつて、移動キャムプは一日一日と移り歩いて野營するもので一名ハイキングと云はれてゐる。そこで天幕であるが、之はキャムプする目的によつて即ち、行先が山岳であるか原野か、海濱か森林かによつて種々の天幕（我陸軍式の組合式天幕や、米國陸軍式圓錐形天幕や、屋根形天幕等）が用ひられるが

滿 洲では海濱などでバラツクの延長として屋形式天幕の大きなものが多く使はれてゐるやうに思ふ。之は固定キャムプ用であつて、運搬、構築に非常に手數がかゝるので、最近キャムパーの間では屋根形天幕の輕便なものが流行してゐる。之も壁布のあるなしで二重屋根のあるなしにより勿論價格も異るが、十人用（間口七尺五寸、奥行十尺高さ六尺五寸、重量[illegible]）四十六圓位の東京丸ビル東亞シートの一四二號や、少年團聯盟用品部の旭號などは今の處比較的よいものとされてゐる

至 極簡易のハイク用（一人寢）として私が英國のスカウト本部から買つて來たものは十五圓位の品であるが評判がよくて、之を見本として大連工業會社などで作つた者もある。尚天幕の地質も帆木綿（普通十オンスの帆布）が固定キャムプには使はれてゐるが我々キャムパー間にはエメラルドグリーンの化學防水布が賞用されてゐる

―少年詩―
機關士のうた
五十嵐　稔

火燄り迸らせ
躍り立ちながら
大地蹴つて
我車よ、
はしれ！
火照る半身を
乘り出せば
睢見る――
限りない鐵路と
白い月の光りと。
あと――壓！
口笛高く鳴らせば
勇み立つ我が車は
まつしぐらに
闇を衝いて……。

趣味漫談
植物の分泌物と水揚
大連華道學院　三好洞石

◇…**挿花** 材料を永く保たしめる爲めに之が水揚手法には總て細心の注意を拂はなければ折角の努力も水泡に歸する場合が多い、今此處に述べんとする事柄も其の最も重要な點であるから能く心得て置かねばならぬ、總て挿花材料としたものは、植物の生存上唯一の機關であるところの根を切り離して置いて、それに變態的生活を營ましめて、保たしめようとするのであるから最も無理な注文で如何に

◇…**植物** には部分的の生育力を有して居るとは言へ決して完全な働きの出來ないのは言を俟たない、僅かな事にも種々な妨害が相伴ふて些細な事柄からでも直ちに故障を起すことは明白である、で是を妨げる最も主な原因は何であるかと言ふに植物自體からの分泌物から起るいろ〱の作用である事を知らねばならぬ。植物はその種類によつて色々の有機質を含んで居る、例へば松、檀、桃等は樹脂を、蓮、桔梗、躑躅木等は

◇…**乳汁** を有し、燕子花、菖蒲、水仙、玉簪等は粘液を含んで居る如きは周知のことであるが其の他の植物でも殆ど是を有して居る、そして植物の自生して居るものが傷いた場合是等の乳汁、粘液、樹脂等の有機物を分泌してその傷口に凝固して黴菌其他の害物の浸入を防ぎ。恰も人體の傷いた場合、血液が切口に凝固して血瘡となるやうな働きをもなすのであるか、挿花材料として切取つた時にも其の切り口から是等の物を分泌し夫が空氣に觸れると凝固するのである。

◇…**故に** 是が全く導管を塞ぎ吸水は阻止されて水揚には甚だしい妨害となりそれのみでなく水中では幾分是が溶解して寒天狀を呈して來るが、是等のものは最も腐敗し易いのである、殊に此頃の樣な夏季に在りては花瓶の水が最も早く腐敗し翌日臭氣を放つやうになるのは全く此の爲めであつて其の結果は微細なる無數の下等藻を生じ、且つ無數の草履虫やコルチッピのやうな毛を有した虫や其の他有害黴菌が發生し遂には植物の切口及び皮部等を

◇…**腐敗** 枯死せしめてしまふ。殊に斯く切り取られた枝は其の切つた瞬間に於て既に細胞の幾分は死んで居るのであるから至つて是等に侵され易く、而して此の水中に入つて居る部分が腐敗したならば最早少しも吸水力は無いのである、こゝに於て此の切り口を燒き若しくは煮るなど色々な手段を施して斯樣な害を防ぐやうに心掛けねばならぬのである。

YMCAのキャンプ
同會少年部主催で

敷島町基督教青年會少年部では毎年夏季に石槽屯の海岸に於てキャンプ生活を行つて居るが本年も來る八月六日より二週間の豫定で例年の如く少年キャンプ生活を營むさうである、同會のキャンプは普通のキャンプとは異り半永久的なサンマーハウスを使用するバンガローキャンプに屬するもので便所、浴場は共に獨立した建物を用ひ如何なる風雨に襲はれるも些かも不安を感ずることのない理想的なキャンプである、殊に石槽屯の海水は肌寒いまでに清く澄み海岸は白砂美しく自然の惠み豐なキャンプ地である、會費は食料實費として二週間十二圓、一週間六圓、三日間二圓七十錢、希望者は七月三十日までに青年會事務所（電五〇六〇）まで申込まれたいと、尚募集人員は三十名限りで指導者には同會の教育部及體育部の主事並びに經驗ある大學生三名が之に當ると

新刊教育兒童書紹介

▲新童話（八月號）海と太陽（旗野二郎）三日月（丘光）足を痛めた子供（政本勇）育つてゆくもの（西出夏樹）國王と少女（百森延男）（十五錢大連市聖德街新童話社）

▲教育時論（七月十五日號）價値の創造、現代獨乙哲學と新教育、學校騷動と思想問題、國際聯盟教育とエス語、學校給食物語、全の欲しい校長其の他（十八錢東京麴町區三番町開發社）

ライオンも恐れる
獰猛な水牛

▼▼…印度支那方面へ猛獸狩の遠征に出かけたヘルマンクローン氏等の一行は珍しい水牛を見事に射止めた、水牛はヨーロッパにも居るが北アメリカ、アフリカ、印度に比較的多く住んで居る、しかし年々其の數が少くなつて現今ではよほど珍しいものとされてゐる、

▼▼…この動物は高さが六尺長さが八尺體量は平均百五六十貫もあらうといふ素晴らしく圖體の大きな猛獸で見事な二本の角は此の動物の唯一の武器である、敵が近づくとこの大きな角で横つ腹をグサリと突きさし、空にほり上げて角とヒヅメで八裂きにしやうといふ猛烈な奴だから、これにはライオンや虎などは辟易して容易に寄つかない

▼▼…こんな恐ろしい猛獸でも食ふものは牛や馬などと同じやうな草で肉食はしない水陸兩棲の動物だから此の頃のやうに暑いと河馬のやうに水の中にもぐり鼻の先だけ出して蠅のむらかるのを避ける【寫眞はヘルマンクローン氏と射たふした水牛】

聚落場めぐり
健康な女性の朗らかな饒舌を滿載して
チヤターリングエキスプレスは走る、走る……

▽……△

海濱聚落を尋ねて、夏家河子の神明、彌生部落を訪れるべく大連發午前九時四十五分の臨時列車に乘込む、乘客は神明高女生とその列車に便乘させて貰つたらしい小學生徒の一團丈けだ。

▽▽**夏の**△△ 鋭い陽差しが射るやうに流れ込む、三等車は元氣横溢した女學生で一ぱいである。ワンピース、セーラーの夏の輕やかな裝ひに身も心も朗かになつたうら若い彼女等のさても好く喋る事よ！

▽……△

狹い座席の此處、彼處に陣取つた先生達を圍繞して彼女等のお饒舌りは續く

―ねえ先生、水泳大會は何時？

―最後の廿五日サ

―わたし、今年は三哩大丈夫よ

―嘘！Yさんは昨日もウンと鹽水を飲んでベソを掻いたぢやないの？

―アラ〱Kさんの意地惡、あんたこそお魚を釣るのだつてゴカイを釣り上げたぢやないの

―要達インドアー・ベースボールとても上手になつたのよ、先生今日のお晝休みに先生チームと試合しませうか

―駄目、Aさんはバツトの振り方が速いんだもの、此間も御不淨の屋根へ叩き付けたぢやないの

―でもいゝわねえ、先生、ホラMさんてばD先生のお尻へヒツトして可笑しかつたわよ

等、等、々々……窮屈な學課から解放され

▽▽**喧擾**△△ と焦躁の俗屬を後に。七月の太陽が燃えるレールを車輪が流れ、彼女等の饒舌が其の軌條に沿ふ樣に凡そ淀みなく滑る。

▽……△

で――此の臨時列車は彼女等を滿載した時丈は東海道超特急列車の向ふを張つて、將にチヤタリング・エキスプレス（お喋り列車）と命名されねばならない。だが張り切つた四肢と淡紅扇色に陽燒けした體軀の一九三〇年型女學生の饒舌は邪氣が無く、齒切れ良く、聽く耳に爽かな快調を齎す

―一年生はひよツ子、二年生は一寸上級生になつたと謂ふおすましが手傳つて、一等良く饒舌るのが三年生です

▽▽**卒業**△△ 間際の四、五年生は流石にほのかな母性への自覺からかつゝましやかにおとなしい

▽……△

N先生は女學生の饒舌に就いてコンなアフオリズム的觀方を持つて居る、海濱聚落が始まつて以來約一週間其の間雨天に禍されて海水浴行事はタツタ三日間に過ぎなかつたと云ふけれども彼女等の腕の、頸の、背の何んと素晴らしく健康さうな事よ、

▽▽**輕裝**△△ のショート・カツトされた肩からニヨツキリ突ン出た腕はグラウンドの砂にまみれた殊勳のバツトの擦だ。鈍々しいお河童頭の後から覗く頸の皮膚は良く練り上げたチヨコレート、だが流石に延び切つた脚はロング・ストツキングに包まれて、素敵狂なメリケン娘の露骨さはない

▽……△

海が彼女等に齎した素晴らしい贈り物は自然美だ、朗かなお饒舌りは現在の羈絆と拘束をかなぐり捨てて奔放と自由に惠まれた内在性の愛くるしい發露なんだ。

▽……△

―先生暑いでせう、わたしあふいで上げるわ

おしやべりに聽き飽きて新聞紙を擴げたN先生の

▽▽**顚頂**△△ は熟れ切つたメロンの樣に薄つすらと汗て居る、彼女は小型扇子で綺麗に分けられた頭髮に七月の微風を送つた。

▽……△

先生とお友達附合ひをする勇敢で無邪氣で、健康な彼女達を滿載した列車は高粱の若苗やそよぐ畑を截斷してアカシヤの茂りに圍まれた小驛に着いた、夏家河子驛である【寫眞は女學生達が入水前に於けるウオーミングアツプ】

田中市長處女球を投じ 滿洲豫選の火蓋を切る

全滿ファンの人氣を集めて 實業球場の大盛觀

待ちに待たれた全國中等學校優勝大會本社主催全滿豫選會は廿三日中央公園實業球場で擧行された、此の日夜來の雨は霽れたりと雖も兎角曇り勝ちの空は容易に陽光を見せず、試合の決行を氣遣はれたが、本社にては正午係員を督勵して內野一面にガソリンを燃燒してグラウンドの乾燥に努めた結果試合擧行の準備は全く整ひ開始豫定より三時間遲れたが午後三時三十分より入場式に移つた、當日の決戰を鶴首して待つてゐた熱心なファンは朝來の曇天をも物ともせず早くも正午すぎより續々と球場に詰めかけ試合開始前既にスタンドを埋めつくすの盛觀である、しかも三時をすぎる頃より曇り空は次第に晴れあたかも今日の日を祝福するが如く絕好の野球日和となつた。定刻三時三十分スタンドからの萬雷の如き拍手に迎へられて參加五チームは榮ある優勝旗を手にした昨年の優勝校青島中學軍を先頭に大連商、安東中學、撫順中學、奉天中學の順序にて一壘側より入場本社の努力で完全に準備のなつた白線も鮮かな球場のダイヤモンドを一周して一同ホーム前に整列練習で眞黑になつた顏を一層に緊張させた、青中主將平野選手より優勝旗は本社佐藤編輯局長に返還され佐藤局長は熱のこもつた口調で選手の健鬪を祈つて開會の挨拶を述べてこゝに莊重なる入場式返還式を終了した、撫中、奉中、青中の三校は退場し第一戰を承る大連商業は一壘側、安東中學は三壘側ベンチに陣取り直ちに輕いウオーミングアップに移つた、先づ大連商業からシートノックを開始、兩軍の續出する美技に觀衆は戰前から悟氣もなく盛に拍手を送る兩軍の守備練習も終り兩軍ホーム前に挨拶を交し午後四時十分安藤球審の先導にて田中大連市長はプレートに進みプレーボールの聲と共に眞白の處女球は見事に田中市長の手より大商捕手の手に收められた、かくて緊張した始球式も終り愈々同十五分安藤兄（球）岩瀬（壘）兩氏の審判安中の先攻にて異常の緊張裡に戰ひの火蓋を切つた

6A―2

安中軍の善戰及ばず 大連商業軍勝つ

第一日の豫備戰成績

安東中學の健鬪と云ふよりも寧ろ大商の正投手工藤の不振に依つて一時は安中に凱歌上るのではなからうかと思はれた、この日の工藤は餘りに外角をねらひ過ぎた結果か全く亂れ四球五、死球一、暴投一の惡評録を殘した、これに代つた因藤も餘り好調とは云ひ得ず安中の打擊の不振に援けられて危ふく逃れたゝに過ぎない、これにひきかへ安中の齋藤投手はカーブ及ドロップも好く時々交へるスローボールに大商の各打者を些か飜弄したる感があつた、併しながら安中の不運とも云ふべきか、第三回工藤の打つた低直球が藤枝投手の右腕に猛烈にあたり遂に交代の止むなきに至つた、彼が若しこの災厄に會はなかつたならとつくづく考へさせらる、案外優勝候補の大商軍をほうむることは不可能であつてもよそつと大商を苦めて居たであらう、たゞおしむらくは安中の各ナインは未だ試合度胸、試合慣れがしてゐない卽ち第七回に於ける大商軍に與へし二點などは試合慣れぬ結果より生んだ凡失に依つてである、又安中の各走者は全くベースランニング拙く、生くべきところもこれにわざはひされて死すの結果を生んだ、同チームの現在の選手は三、四年生を以て堅めて居る、來るべき年の大會には必ず何事かをなすであらうことは想像するだに難くない

	回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
（安）	得點	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2
（大）	得點	0	0	2	0	0	1	2	1	A	6A

試合經過

△第一回 安中 桑門死球を與へし、松井の一壘バントと、中原の二飛に三進し齋藤も死球で二盜したが藤枝三振▲大商 德永右翼線に二壘打し因藤三振の時に三盜、堀部左飛、梅本兄四球で出たが工藤二飛

△第二回 安中 半田、巻淵三振後高橋四球に出たが上野捕邪▲大商 原田三振、白石四球、梅本弟の遊飛野手二壘に惡投し白石一擧三進、梅本弟二盜、谷口死球で一死滿壘となつたが德永投飛して白石本壘に封殺され因藤遊飛で空し

△第三回 安中 桑門死球に出で松井の捕前バント桑門を封殺したが中原一―〇後右中間三壘打して松井生還、齋藤三振、藤枝投飛安中一點を先取▲大商堀部四球、梅本兄の遊飛野手二壘に投げたが二壘手落して兩者セーフ工藤、投手强襲直球單打し堀部生還、梅本兄二進（安中齋藤投手工藤の安打を足部に當て傷いて退き藤枝投手となり山中一壘に入る）原田の遊飛野手落したがインフイールドフライを宣せられてアウト此の間梅本兄工藤二三進、白石の投飛に梅本兄生還、工藤三進、梅本弟三邪飛に止んだが大商一點をリード

△第四回 安中 半田三飛、巻淵一越テキサス、高橋四球で巻淵二進したが投手牽制球で巻淵二壘に憤死投手暴投して高橋二進上野四球、桑門中前單打して二死滿壘（大商工藤左翼因藤投手に交代）松井四球で高橋押出の一點、中原投飛で止んだが同點となり滿場熱狂す▲大商 白石左前テキサスして二盜德永四球因藤の遊飛、德永を封殺したが白石三進す因藤二盜で一死走者二、三壘に據つたが白石は本三間に挾まれ堀部三振

△第五回 安中（大商工藤投手因藤左翼に交代）山中三振、藤枝二飛、半田四球、巻淵一飛▲大商 梅本兄四球、工藤遊飛で梅本兄二進し投手暴投に更に三進原田は四球で二盜したが白石三直して梅本兄と併殺

△第六回 安中 高橋四球、上野遊前內野バント單打し高橋二進桑門三度目のバントを失して三振松井の投飛高橋を封殺中原死球で二死滿壘となつたが山中投飛で機を逸す▲大商 梅本弟四球（安中半田投手藤枝一壘山中三壘となる）で二盜（代走梅本弟）谷口の三飛で三進德永とのスクイズ成つて白石生還、因藤投飛

△第七回 安中（大商再び因藤投手工藤左翼に更代）藏枝投飛半田四球、巻淵三飛して半田二進したが高橋三振▲大商 堀部遊飛失に出で二、三盜梅本兄四球工藤のバント投手一壘に投げたが一壘手落して堀部生還し梅本兄一擧三進、原田遊飛で死ぬ間に工藤二進、梅本兄サインの間違か三壘を出すぎて三本間に挾殺され二死となつたが此の間工藤三進し白石の中飛を野手一度手にし乍ら落したため工藤生還原田は一擧三進、梅本弟遊飛で漸く止む

△第八回 安中 上野投飛、桑門三振、松井四球、中原一邪飛▲大商谷口三越單打して二盜德永三遊間單打して谷口三進、德永二盜、因藤の右犧飛に谷口生還し德永三進尚ほ有望だつたが堀部遊飛、梅本兄中飛

△第九回 安中山中四球、藤枝三振半田一邪飛、巻淵四球で山中二進し最後の攻擊を思はせたが高橋三振

（大商）

		打數	得點	安打	犠打	盜壘	三振	四球	刺殺	補殺	過失
8	德永	3	0	2	1	2	0	1	0	0	0
7171	因藤	4	0	0	1	1	1	0	0	3	0
2	堀部	4	2	0	0	2	1	1	10	2	0
6	梅本兄	1	1	0	0	0	0	3	2	0	0
1717	工藤	4	1	1	0	0	0	0	1	4	0
9	原田	3	0	0	0	1	1	1	0	0	0
5	白石	3	0	0	0	1	0	1	1	2	0
4	梅本弟	3	1	0	0	2	0	1	1	2	0
3	谷口	3	1	2	0	2	0	0	12	1	0
	計	28	6	5	2	11	3	8	27	14	0

（安中）

		打數	得點	安打	犠打	盜壘	三振	四球	刺殺	補殺	過失
S	桑門	3	0	1	0	0	2	0	1	0	1
4	松井	2	1	0	1	0	0	2	1	1	1
6	中原	4	0	1	0	0	0	0	2	5	2
1	齋藤	1	0	0	0	1	1	0	0	1	0
35	山中	2	0	0	0	0	1	1	2	1	0
313	藤枝	5	0	0	0	0	2	0	8	1	0
51	半田	3	0	0	0	0	1	2	2	4	0
2	巻淵	4	0	1	0	0	1	1	6	1	0
9	高橋	2	1	0	0	0	2	3	1	0	0
7	上野	3	0	1	0	0	0	1	1	0	0
	計	29	2	4	1	1	10	10	24	14	4

三壘打―中原、二壘打―德永 併殺―安1（半田）與へし安打工藤（六回）3、因藤（四回）1、齋藤（三回）2、藤枝（四回）1、半田（三回）2、暴投―藤枝1、工藤1、死球齋藤1（谷口）、工藤4（桑門2、中原、齋藤）殘壘―安十五、大十、試合時間二時間卅分

寫眞說明 上圖はスタンドを埋めた大觀衆、中圖は青島中學軍主將より優勝旗返還式、下圖は參加五チームの入場式

閑院宮殿下御奮戰の 宮ノ原に記念碑

殿下より御言葉を賜り拜讀 きのふ除幕式擧行

【本溪湖二十三日發】閑院宮載仁親王殿下が二十五年前親しく敵彈を浴びさせられ御奮戰遊ばされた尊き記念の地宮ノ原高地に新らしく記念碑が建られ、今日その除幕式が擧行された、奉天午前九時發の列車には之に參列する戰跡保存會長太田長官代理三浦內務局長軍司令官代理三宅參謀長、滿鐵總裁代理山西地方部次長等名士多數同乘し十一時本溪湖着、太子河鐵橋南畔でモーターカーを捨てダラくの山道を登ること約卅分で記念碑に達する途中殿下の騎兵第二旅團の救援を受けた島村旅團の戰蹟が夏草に埋れて居る、碑が建られた高地から太子河の淸流と本溪湖の街が一望の下に見下され景勝絕佳である、午後零時五十分開式神事型の如くあつて諸員敬禮の裡に三宅參謀長の手に依つて幕が切つて落されると故畑軍司令官の絕筆と爲つた「騎兵第二旅團長閑院宮載仁親王殿下御奮戰の地」の黑字鮮かなる地上二十五尺の方錐形の花崗石兀として、眼前に聳え立ち拍手が湧き上る、三浦內務局長太田會長の式辭を、山西地方部次長山石總裁の祝辭を代讀し、關東廳水谷地方課長は閑院宮御附武官發電の殿下の御言葉を拜讀し約一時間にして式を終り續いて葉山大尉の當時の戰況講話が指呼の間に在る一山一水ことごく當時の殿下の御奮戰の跡を物語り感慨まことに深いものがあつた、それより饗宴に移つたが其の時御許に見える塹壕に據つて奮戰したと云ふ老軍曹の實戰談などあつて、そゞろに當時を偲ばせるものがあつた、尙式後直ちに太田會長の名を以て宮殿下に御言葉に對する御禮と除幕式の次第を電報を以て申上げたといふ

大蓮寺修法 七月廿六日八月七日の兩日市內春日町大蓮寺で頭痛平癒諸病平癒の加持修法を行ふと

電燈料金引下げから 公營化運動に移る

全國の各府縣町村に波及し 爭議は愈よ深刻化

【東京特電二十三日發】電燈料金引下げ運動に伴ふ爭議は全國的に擴がりつゝあるが、殊に爭議の甚だしいのは財界の不況を最も深刻に蒙つて居る地方農村に多く其現狀も料金不納同盟、廢燈、消燈、減燈同盟など團體的運動に移り會社側も之に對抗して斷線、消燈などを以て酬いて居る等却々輕視出來ぬ狀態になつて居る、殊に注目すべきは料金の値下げ要求の肯かれぬところから之に對抗する爲めに市町村自ら電氣事業を營まんとする所謂電氣事業公營化運動が盛になつて來たことである、例へば最近最も猛烈な爭議を開始して居る別府、大分、宮崎の三市、川口町などが孰れも値下運動から一轉して公營問題に移り、青森縣の縣營を始め、和歌山市、岐阜市、長野縣飯田町、其他愛知縣でも公營を目論で居るが昭和三年末の公營電氣事業は一〇五（縣營四、市營一四、町村組合營九、町營二〇、村營六二）で投下資本額六億一千四百七十二萬三千圓に達し相當な勢力と爲つて居ることは注目されて居る

ペストを媒介する タルバカン來る

電氣遊園で見せる

每年冬から春にかけて蒙古の部落民の間にはペストが流行し二、三の部落が全滅した例もあるがこれが一度鐵道沿線近くに來れば日支防疫當局は全力を注いで火事場のやうな大騷ぎを演じそれでもいけなければ鐵道の運轉を中止してまで防止に腐心すると云ふ恐るべきペストを保菌して人間に媒介する蒙古產のタルバカンが大連に來た奉天醫大の鄭生が蒙古で捕へて持ち歸つたものであるが、滿鐵地方課では珍しいと云ふので電氣遊園事務所近くの小屋に入れて一般に觀覽させることゝした、黑死病の媒介者だが見かけは至つて可愛らしいリスのやうな小動物で坊ちやんや孃ちやんに大いに歡迎されるだらうとのこと、因に電氣遊園のタルバカンはペストの保菌期間二週間を隔離した上滿鐵衞生課の檢查濟みだから近寄つても心配はない

撫中對奉中准決戰

午後一時 於實業球場

慶應對滿俱二回戰

午後四時 於滿俱球場

伊太利機 飛行繼續

立川へ到着

【東京廿三日發電通】追濱に不時着陸したイタリー機に對しては今後飛行を繼續せしむるか否かにつき海軍省及び要塞主務省たる陸軍省に於て協議中であつたが國際親善の立場より飛行を繼續せしむる事となりイタリー機は午後二時五十七分追濱發三時二十分無事立川飛行場に到着した

輕爆擊機墜落

【岐阜二十三日發電通】二十三日午前九時五十分頃濱松飛行隊所屬輕爆擊機十七號は岐阜縣不破郡關ケ原上空を飛行中突然機體に故障を生じ關ケ原町東町の水田に墜落し機體の兩翼を大破したが搭乘者は無事である

母校一中に 優勝盃寄贈

早大白楊會が

大連第一中學校卒業生にして目下早稻田大學に在學する人々に依つて組織された早大白楊會では母校たる一中に對しスポーツ優勝盃を寄贈したので廿三日午後二時同校講堂に於て同校職員生徒列席の上盛大な贈呈式が擧行された

阿片癮者が 殺人未遂

夜半の埠頭で

廿三日午前三時頃第四埠頭のはづれにおいて「助けくれ」の悲鳴が聞こえるので滿鐵監視人が馳せつけると大兵の男が十五六歲の少年の咽喉を扼し少年は死物狂ひになつてゐるのを發見双方を取鎭めの上水上署に引致したが右は山東生れ市內山縣通大倉洋行支那人宿舍崔金方無職鞠永壽（三〇）が、阿片代に窮して吳町の阿片屋ボーイ徐胎文（一七）を詐言巧に前記個所に連れ出し所持金小洋二圓を强奪せんとしたもので水上署では强盜殺人未遂として取敢ず取調中である

ナポリ地方强震

【ナポリ二十三日發電通】今曉一時六分性質急なる激震突如當地を襲ひ一分以上搖れ續いた平素地震に馴れてゐるナポリ市民も全部屋外に避難し夜明けを待つてゐる震源地と推測されるイタリー半島南部には殊に眞夜中の事とて被害甚大の見込み、死傷者も相當ある見込みで軍隊出動し秩序維持の任に當つてゐる、尙ローマ及びシシリー島でも同時刻に稍緩やかなる震動を感じた

地藏祭 市內天神町常安寺では廿四日午後七時半から地藏尊安置一周年記念法要を營むと

海の唄

仲木貞一 作
一木淳 畫

伯爵邸(一)

牛込砂土原町の寂しい坂の上を二人の男が歩いてゆく。

一人は、でつぷりと肥つた五十絡りの男で、一人はまだ二十前後かと想はれる纖弱な綺麗な青年である。

「一旦怒らして厄介に、なりに出かけるからには、どうか、辛抱して出來る丈長く居るやうにして下さいよ」

「えゝ、それはもう……」

でつぷりとした男が、いくらか云ひきかすといふやうな口調でから云ふと、綺麗な青年は、たゞ慎ましやかに返辭をした。

冷たい風が、坂の下から吹き上げてきて、獸しがちに歩いてゆく二人の頰には、をりをり濡らしいものも降りかゝつた。

「……雨かな……」

と、男は重たく被ひかぶさつたやうな灰黑色の空を眺めやつて

「どうも、秋の空つて、全くアテにならないからね……女の心みたやうで……」

「……」

青年は默つて、チラと左樣云つた男の方を觀たが、何故か其の面は、一瞬蒼白く、暗く翳つたやうにさへ見られた。

やがて、二人は大きな邸宅の前に出た。

「此邸ですよ……さあ……」

男は恁う云つて、ちよつと襟元を直すやうな恰好をすると、靜かに、高い鐵の門を這入つた。

青年も思はず、威儀を正すといつたやうな氣持のうちに、その門柱の標札を眺めてから男の背後に蹤つた。

門の柱には、伯爵、由井好治といふ標札が嚴めしく掲げられてゐた。

門から玄關までは數町あつた。たゞ高い木立が兩側につゞいて鬱として限りなく廣さうな邸内をいかにも幽深しく偲ばせてゐた。

木の葉が、カサリコソリと、青い芝生や白い玉川砂利の上に、舞ひ落ちて來た。

青年は何となく凄ぐましいやうな氣持がして、大きな玄關の扉の前に男と立つてゐた。

「どうぞ、此方へ……」

……た端麗な洋服を着た十六七の上品な女中が、いかにも馴れた調子に恁う云ひながら大きな扉を左右に開いた。

さうして、新らしい立派な上草履を二つ揃へて出した。

青年は、男のする通りに、それを履いて内に這入つた。

廣いやゝ薄暗い長廊下を通つて、すぐから、大きな階段を上つて、取次ぎの應接間に二人は通された。

「いゝお邸でせう。恁う、寢床しい趣がありますよねえ。今の成金なんぞと違つて、流石に昔から由緒ある御家といふ感じが有りますね」

男は毎々來てゐるらしいので馴れきつた調子に、こんな事を云つて、其處に出されてあつた莨をさへ燻らしてゐた。

が、青年は、まだ是迄にこんな大きな邸宅に這入つてみたことはなかつたので……それに着て來たその粢絣に小倉の袴と、ふたりも今更みすぼらしいやうに思はれて些しの身動きも小さな返辭も出來ないほど戰かに椅子の中に、ぢつと堅く化つてゐた。

高い大きな玻璃窓の外には、太い幹や枝が何處まで高く、何處まで廣く蔓延してゐるかと思はれるやうな老杉の一部が、長方形に區切られて見えてゐた。

「……是から此の邸宅の中に暮すのか……」

青年は、是から展らかれやうとする自分の身の上を、靜かに考へてゐた時、カチリ、と扉の開く音がした。

「どうもお待たせ致しました……此方へ……」

此度は十七八可愛らしい女中が現はれたさうして、また廣い廊下を通つて、二人は美しい客間の中に案内された。

眞ん中のテーブルの向ふには、鼻眼鏡をかけた由井伯爵が、安樂椅子にゆつたりと坐してゐた。

滿日文藝

滿日柳壇

『夏瘠』

大連 子禾

夏やせは湯町に馴れて雁を聞き

夏やせのコスモスの唄嬉しがり

奉天 友月

子澤山舌勞も手傳つて夏瘠し

夏やせも立秋に入つて好い女

大連 はじめ

瘦ツぽち夏まけらしく腕をなで

撫順 喜良久

夏やせはホートワインで元氣つけ

大連 棚太

鏡臺へ愚痴が出る夏やせし

新妻は夏やせですとほゝを染め

旅順 酢味坊

夏やせのやうに消え芝細うよれ

乳呑子へ夏やせらしい胸をあけ

夏やせの女事務員からかはれ

大連 青蛙

夏やせを氣にしてらしい海水着

夏やせがして見たいわとウエトレス

夏やせの妻をいたはる温泉場

柳河 金線魚

結婚のリングがさせぬ細りやう

夏瘠の骨格ほめて寸をとり

大連 樂園

夏やせの袖抱き合せ言譯し

夏やせを細々書いて母へやり

大連 きく子

夏やせる心もほそる年となり

旅順 南紀

夏やせへ又かと言はれる子澤山

夏やせへ腕時計ちと緩くなり

滿洲俳壇募集規定

次回課題「旱」「籐椅子」「蟻」▲句數無制限▲用紙半紙▲各題別紙▲各紙に雅號姓名記載のこと▲締切七月末日▲封筒に「滿日俳句」と明記▲投句先、東京市牛込區若松町八二島田青峰宛

新刊紹介

▲世界美術全集(十五卷) 本集にはゴシツク(下)元朝(下)鎌倉時代(下)の他に西藏の美術を收め、時代の說明はシオツト紙の繪畫(大隈)ゴシツク彫刻(森口)同建築(田邊)十五世紀の工藝(大隈)元朝の繪畫(川見)高麗時代の藝術(飯島)鎌倉時代は繪畫(田中)彫刻(田邊)建築(黑田)工藝(田邊)西藏建築總說(伊東忠太)にて圖版は原色版に受胎告知(十四世紀伊太利マルチニ作)九月(十三世紀英國)ファヘド死す(十五世紀波斯チムウル朝)楓間瓦(波斯十四世紀)及び石寺緣起(傳高階隆兼筆石山寺藏)御物春日權現驗記(高階隆兼筆)一遍上人繪傳(法眼圓伊筆歡喜光寺藏)駒競行幸繪卷(三條公家藏)松ケ崎天神緣起(山口縣松崎神社藏)長谷雄繪草紙(細川護立侯藏)等の繪卷六圖又單色版にも一遍上人繪傳、法然上人繪傳、拾遺古德傳、伊勢新名所繪合繪卷、物語繪卷、なよ竹物語繪卷、枕草紙、男衾三郎繪詞、法相宗秘事繪詞、地獄緣起繪卷、親鸞上人繪傳等鎌倉時繪卷を集めてある(東京麴町區下六番町一〇平凡社)

夕刊 滿洲日報 七月廿三日

正式會議で奉答文可決 海軍側の手續一切終る

あす臨時閣議を開き 樞府御諮詢奏請を決定する

【東京二十三日發電通】ロンドン條約の兵力量に關する御諮詢に奉答すべき正式軍事參議官會議は二十三日午前十時より宮中東二ノ間において開會、伏見大將宮殿下、東郷元帥、財部海相、谷口軍令部長、岡田、加藤兩參議官並びに委員として及川軍令部第一班長、堀軍務局長參列、天皇陛下は葉山御用邸御駐蹕中につき御親臨あらせられず東郷元帥議長席につき谷口軍令部長より非公式參議官會議の決議に基づき御諮詢案につき說明した後審議に入り結局非公式會議の決定通り奉答文を可決し右終つて長き邊よりの午餐を拜受し散會した、尚東郷元帥は右奉答文を攜へ午後二時二十二分東京驛發葉山御用邸に伺候、天皇陛下に伏奏の手續を執る筈で斯くて海軍側の手續は一切終了する事となつたので政府は二十四日臨時閣議を開き愈々樞府御諮詢奏請の件を決定する事となつた

參議會の奉答文は條約否認にあらず

樞府若し政府を糾彈せば越權 與黨、濱口首相に進言

【東京二十三日發電通】民政黨ではロンドン條約兵力量に關する非公式軍事參議官會議も愈々纏まりたるを以つてこの上は正式の軍事參議官會議の結果を待つて速かに條約案の樞府御諮詢を奏請すべきであるとなし二十二日幹部會合の際も盛談的に意見を交換し更に原總務は同日午後五時官邸に濱口首相を訪問して與黨側の意嚮を補々演習する處あつたが、幹部の意嚮は要するに軍事參議官會議の奉答文が如何に落ちついてもそれは軍事專門家の立場よりなせる奉答であつてこれが爲め國際平和並びに國民負擔の輕減の大精神に則り政治上の全責任を以つて條約案を締結せる政府を拘束するものではない、從つて海軍側の態度が延いて樞密院の空氣を惡化せしめる事はあつても軍部が條約案を否認するものにあらざる以上樞密院も亦附帶決議や或は警告を附する位で條約案を通過せしむべき事は當然である、然るに此の豫期に反し殊更條約案の批准を遲延せしめこれを以つて政府の責任を糾彈するが如き越權行爲に出ずるにおいては與黨として多數國民を背景として猛然起つて政府を鞭撻督勵し樞密院と一戰を交ゆる事も辭する處にあらずとの强硬な決意を以つてこれに臨んでゐる、然し多數の觀測は斯かる事態を惹起する事なくして結局條約案は無事通過成立し又その後に殘されたる國防補充計畫についても政府の政治的綱領に依つて解決さるべきものとなしこの間如何に反政府方面の宣傳や策動が行はれても濱口首相の信念には何等變りなく又條約成立に對する決心は强硬なるものがあるから斯かる事の爲め內閣の進退を決するが如き事は絕對に有り得ない處であるとの確信を懷いてゐる

東郷元帥も會議結果奉答

【東京二十三日發電通】東郷元帥及び谷口軍令部長は二十三日の正式軍事參議官會議の後これが結果を奉答の爲め同日午後二時二十二分東京發葉山に向ふ筈

奉答文內容

政治的意味を加へず

【東京廿三日發電通】奉答文案の內容は絕對秘密に附されて居り且つ傳へらるゝ處區々としてその正文は不明であるがその案文は
一、ロンドン條約兵力量は作戰用兵上缺陷あり
二、右缺陷の補充は完全を期し難し
との二點を明かに高調し更に第三點として帝國々防の最小限兵力量はこれが貫徹を期すといふ意味の一項が加はつてゐるもの〻如くである、而して右の奉答案文の作成に當りては軍部は何等の政治的意味を加へず只所信その儘表現したものでありこれに對する解釋は政府なり樞府なりにおいて勝手たるべしとの見解に立つてゐる

(上)徐州の中央軍總司令部(中)前線へ送られる新募兵(下)前線から送還された傷病兵

樞府精査の論點

國際信義上結局は通過

【東京特電二十三日發】政府は廿四日の臨時閣議において樞府御諮詢奏請をなすこと〻なつたので樞府では直ちに精査委員を倉富議長より指名し審議に入る筈であるが樞府において專ら問題となるべきは
一、濱口海相事務管理が軍令部の意嚮を無視して條約を締結すべきことを全權に回訓せる所謂統帥權問題に兵力量
二、缺陷あるが如き條約を締結せる責任問題
と觀られてゐるが、第一點に對しては首相に對し質問攻擊が集中すべく第二點に對しては首相、海相が矢面に立つものと見られてゐる而して政府において軍事參議會の奉答文は樞府と沒交涉のものにして樞府はたゞ條約そのものにつき審議をなせば足るとしてをり樞府が奉答文を拉し來つて云々する如きありとせばそは越權行爲である、と强硬な意見を吐露してゐる、更にアメリカも批准せる本條約を樞府が拒否するが如きことあらんか樞府は國際信義破壞の重大責任を負はざるべからず、結局樞府も本條約を通過する外無かるべしとなしてゐる

走馬燈

荻川

滿鐵(其十四)

世界の不景氣、とりわけ支那の銀價暴落で、滿鐵に收入減が襲ふは不可思議でない、併し景氣不景氣は循環する、今日迄滿鐵は餘り景氣に乘り過ぎた、それで不景氣に落込むと、滿鐵よりは在滿邦人などが、滿鐵の爲に心配するやうな始末で、これだけでも滿鐵には依然として日が照つて居る、滿鐵の不景氣に會ふは試鍊でこそあれ、それを恐るゝ材料とするに及ぶまい、斯うしたときには他一倍に働くこと他一倍に締まること。

◇

それが來る巳の光となる譯で、萬一それでも收入減が酷しけりや減配である、儲かつたときに增配なら、儲からぬときの減配に異存のあらう筈はなし、勿論此場合は給與に手を附けんまでも、滿鐵從業員とて減賞じや、寧ろ減賞が減配に先たねばならぬ、滿鐵はまだ〳〵こゝに伸縮の自在を有す、此自在を有して事業に精進するのである、そうして僅々七百哩足らずの鐵道、亦其鐵道沿線の事業にのみ躍起するな、現在に問題となつてゐる鑛鐵、これも大切でないとは云はぬが。

◇

滿鐵の活動舞臺たる滿蒙は廣い、幾者滿洲在留邦人の一部は、鑛鐵につき餘り騷ぎ過ぐ、而も其理由とするところは、國家的よりも地方的に傾く、地方的利害とて無視する譯じやない、併し餘り騷ぐと、滿鐵幹部をこれに眩惑せしめて、まさかと思へど國家的に萎縮せしめまいかを恐れる、國家的なるかな、滿鐵の使命は國家的である、そうして其使命の向ふところは支那、武裝せざる文化で、武裝せざる經濟で之に臨み、以て相互の提携を圖るのである、共榮共存の實を擧ぐるのである。

◇

斯くするとき、若し或る武裝したる文化、經濟に遭遇せんか、そこに相互の文化なり經濟の同盟を圖るのであるが、之を爲すには、滿鐵の有する支那での特權を之に提供し、それを楔子として、滿洲で其試作に入るが最も便宜能いと考へるが、當今の支那に此頭腦なし、否、頭腦はあるが、四圍の情勢に壓せられて、之を敢行すべき勇氣ある人に乏し、そこで其勢も控えねばならぬ、其人をも求めねばならぬ、滿鐵の支那に於ける接觸範圍を擴げよと謂ふは是なり。

英も近く條約審議

マック首相下院で聲明

【ロンドン二十二日發電通】本日のイギリス下院にて保守黨のボールドウイン氏の質問に對しマクドナルド首相はロンドン條約の審議はアメリカが既に批准せるに鑑み予は夏期休暇前に審議すべきと考へる、而して予は條約案が大部分は既に下院の同意を得てゐる政策として取扱はれんことを切望すると述べた

民政黨遊說陣容

全國七區に分れて

【東京二十二日發電通】民政黨は政友會の遊說作戰に對抗する爲全國を七區に分つてそれ〴〵各省政務官を左の如く派遣遊說を行ふ事となつた
一、關東、江木、小泉兩相、小川、横山兩次官
二、東北及び北海道、安達、松田兩相
三、東海、小泉、田中兩相、川崎武富、山田各政務官
四、近畿、江木、松田兩相
五、北陸、井上藏相、永井、野村兩次官
六、中國四國、安達、俵兩相
七、九州、町田、俵兩相、中野、勝兩次官
なほ濱口首相はロンドン條約樞府御諮詢一段落を待つて東京、大阪等の演說會に臨む筈

滿鐵新理事

村上、大森兩氏辭令發表

滿鐵新理事に內定してゐた村上、大森兩氏に對する正式辭令は廿三日發表された

村上義一氏

大森吉五郎氏

記者團を案內し馮玉祥氏柳河へ

きのふ鄭州に到着

【北平特電二十二日發】曩に柳河で蔣介石氏が外人記者と會見して閻錫山氏が濟南に來た時こそ彼が命の終りと豪語したのも的外れで閻氏の濟南入となるも中央軍は振はず、なほ皮肉にも柳河は北軍の占領となり馮玉祥氏は本日鄭州に着ける北平の日支記者を案內して明日柳河に赴くと

民意を尊重せば北方政府も可い

余は入閣する考へはない 顧維鈞氏哈市で語る

【ハルビン特電二十三日發】歐洲より歸國の夫人出迎へのため來哈した顧維鈞氏はモデル・ホテルにて語る
六月廿八日奉天に來たので政治方面のことは一切解らない、北平では近く政府を組織するといふことは新新聞で知つてゐる範囲だ、余が重要な位置につくかつて？今のところさうした考へはない(否認も肯定もせず色氣はある)北方政府組織の可否だつて？さあそれが民意なら嚴くはない、露支正式會議は豫備交涉を終り正式會議の開幕も近いと聞いてゐる、露支兩國は隣接國家であり國交の恢復は一日も早く解決すべきだ、余は東北政權の重要位置には就かぬが東北電氣事業には力を入れ開墾のため公司を組織し、奉天商埠地三經路に家を買つた

汪精衛氏入平

二十六、七日中

【北平廿三日發電通】汪精衛氏の來平を迎へ愈々北方政府の樹立を見るといふので北平市內は汪精衛氏の宿舍中山館を中心に活氣を呈してゐる各擴大會議委員及び各代表は廿六、七日頃來平する汪氏を出迎へのため一昨日來續々天津に向つてゐる

東北電政統一準備

【奉天特電二十三日發】東北交通委員會は四省の有線無線電信電話及び哈爾賓の自働電話、東鐵沿線の電報、電話を悉く東北電政管理局の管轄に置いて統一することに決定し電政管理局長蔣宗林氏の手で目下準備を進めてゐるが八月一日から實行する筈

奉派抱込み絕望

何健氏夫人湖南へ

湖南省主席何健氏秘書章李立氏は夫人同伴廿三日出帆の榊丸で上海經由湖南へ向つたが同氏の洩らすところによると廿日前より何健氏の密命を帶び張學良氏抱込運動に來たものであるが、張學良氏は全く中立態度を持し他の方面に連絡なきを見極めたのでその旨報告の爲急ぎ歸任するものであると

全滿大會出席者

(製鋼所設置要望の)

昭和製鋼所滿洲設置問題に關し全滿同胞は擧げて輿論を喚起し政府要路に對して滿洲設置を要望すべく廿四日午前十時から大連市會議場で協議會を開き更に同夜七時から大連劇場にて昭和製鋼所滿洲設置全滿大會を開催引續き演說會を催すべく沿線各都市に出席の勸誘狀を出した事は既報の通りであるが、各方面より双手を擧げて贊成し來り二十三日朝まで左の通り出席申込みがあつた
▲瓦房店 地方委員會副議長松尾新藏、同委員大塚貫之、同渡邊同永島賴
▲大石橋 地方委員會議長伊藤謙次郎
▲鞍山 實業會加藤政人、同神田藤兵衛、同山崎英武、同阪元藤三郎、同石川義助
▲遼陽 公正會生田友次郎、同荻岡彌二郎、同猿渡源三、同安藤吉三郎、同梶原岩吉
▲奉天 地方委員會副議長荻原昌三、同委員大西某、商工會議所藤田九一郎、同吉川某、同書記長野孫孝生
▲熊岳城 地方委員會議長岡島貞同副議長小原敬介
▲吉林 出席するも氏名不詳
▲長春 地方委員長神崎仙英
尚營口、四平街、双廟子は贊成なるも都合により不參の由

てこゝに本據を構へる有樣で、愈々建物の狹隘を感じたので今度大連圖書館裏に平坪二千坪五階建の高層建築をすること〻なり目下基礎工事に着手してゐる、右建築場は長谷川組が請負十一月までに略完成の見込みである、同所は調査課及び工事部が移轉する筈で十一月中には同所で事務をとること〻ならう

林總領事歸朝

【奉天特電二十三日發】林總領事は廿二日十五時半發安奉線列車にて歸朝の途に就いた

香港丸船客

【門司特電二十三日發】廿四日大連入港豫定香港丸の主なる船客次の如し
岩波藏三郎、小川逸郎、金田宗次、久布白落實

香港丸 廿四日午前八時半大連港外着豫定

人事

▲津村雅量氏(本派本願寺支那開教總長)哈爾賓に開催の布教使大會へ出席の爲め廿三日朝急行にて出發
▲岩本海量氏(同支那開教本部贊事)同上
▲內田五郎氏(芝罘領事) 廿三日入港永利號にて來連
▲吉富英助氏(藥學博士) 廿三日出帆うらる丸にて內地へ
▲李之撲氏(元吳佩孚參議) 廿三日出帆榊丸にて上海へ
▲章李立氏(湖南省政府主席何健氏秘書)同上

大觀小觀

ロンドン條約の兵力量では作戰用兵上、缺陷あり、右の缺陷補充は完全を期し難し、とあつても、それはイザ鎌倉といふ場合のことらしい。

◇

フーバー大統領ではないが、太平洋は依然として太平洋であるらしい。

◇

平和を要求するの希望は世界に澎湃としてゐる。すくなくとも一九三五年までは太平洋上の、否、世界の平和は確保されたものと信じて然るべきであらう。

◇

それにしても隣邦支那の和平、黃河の清澄を待つと一般、混沌また混沌、曙光だに發見し得ぬのは四億民衆のために同情の限りである。

農村救濟策

大衆黨の要求

【東京二十二日發電通】全國大衆黨農村窮乏打破委員は二十二日午後一時町田農相を訪ひ農村窮乏打破の爲め緊急手段として
一、養蠶家の損失補償
二、農民の納稅一年猶豫
三、小作料金を下げ又は支拂猶豫
四、借金の支拂猶豫無產資金融通
五、國營に依る肥料の無料配給
の要求書を提出した

滿鐵交渉部事務分掌

滿鐵の新設交涉部は左の通り事務分掌內規を定めた
▲涉外課 第一係、在支關係鐵道及び附帶事業の事務に關する事項第二係、同右技術に關する事項第三係、他係の管掌に屬せざる涉外事項
▲資料課 第一係、涉外資料蒐集の指導、涉外資料に關聯する人物、思想及び諸機關の組織制度の調査に關する事項第二係、涉外資料の蒐集、新聞雜誌の報道論調の査閱、社外機關との連絡に關する事項第三係涉外資料の整理、保管領布に關する事項、電報の飜譯
尚その外に交涉部に庶務係を置く

滿鐵新築廳舍

今秋十一月竣工

滿鐵本社はその創業當時には現在の本社建物の一部分のみであつたが、業務膨脹に伴ひ增築したるも及ばず、今回の職制改正で新設された工事部は元の食堂を修繕し

天氣豫報

廿四日(南西の風) 曇後晴

各地濕度

	十一時	昨日最高
大連	二五・五	二八・二
旅順	二四・七	二八・八
營口	二八・一	二六・六
奉天	二八・三	十六・二
長春	二八・六	二七・三

	午前	午後
滿潮	九時	九時五分
干潮	一時五十分	三時二十五分

コレラ類似患者が
淩水屯邦人農園に發生
二十日に發病して嘔吐下痢 家族を隔離し消毒

過般青島に疑似コレラ發生以來當地でもいよ〳〵これが豫防警戒に努めつゝある折から廿三日沙河口管内に滿洲最初のコレラ類似患者が發生し當局では異常な緊張を示して來た、右患者は沙河口署管内淩水屯會淩水屯農園經營者生居澤いち(四七)にて廿日發生以來嘔吐下痢激しく廿三日朝沙河口の竹澤醫師が診斷の結果病狀はコレラの症狀を呈して居るところより同醫師よりこの旨沙河口署に屆出でたので同署衞生係では直ちに採便を大連療病院に送附すると共に衞生係りでは小野衞生主任監督のもとに家族の隔離及び大消毒を行つたが午前十一時療病院にて檢便の結果コンマ菌は發見されなかつたが、目下培養中で今明中には決定する筈である、因に患者生居澤いちは目下生命危篤で傳染系統については沙河口署にて取調中なるも同人は永年同地に居住せるもので系統方面については全然不明である

訪日伊太利機
不時着陸す
密雲で追濱航空隊に

【東京廿三日發電通】本月十四日ローマセントチエリー飛行場を出發したロンバルヂー、チヤブニン兩氏の訪日機は歐亞一萬三千キロの空を翔破し廿二日午後七時十五分東都の空に一步を印し蒲田の上空にその勇姿を現はし目的地たる立川方面へ向つたが同地方の天候險惡と密雲の爲め遂に七時二十五分横須賀航空隊飛行場に不時着陸したが兩氏とも元氣で同航空隊に機體を收容して宿泊した

三日午前八時十分イタリー横濱領事は追濱に原航空隊司令を訪問厚意を謝した

要塞地帶が問題となる
處置を協議

【横須賀二十三日發電通】要塞地帶に不時着陸したイタリー機に就て横須賀鎭守府は東京灣要塞司令部と協議の上氣流關係と夜間なりし爲め已むなく追濱に不時着陸したものと認めてゐるが、何分の處置は陸軍海軍遞信三省協議の上決するので目下機體を解體するか立川まで飛ぶか決してゐないなほ廿

久布白女史 講演會
あす來連して

廢娼、禁酒運動の先驅者基督教婦人矯風會會務理事久布白落實女史は和田滿子女史を同伴在滿矯風會員の啓發と婦人の精神修養のため矯風會大連支部から招かれていよ〳〵二十四日入港の香港丸で來連することゝなつたが、女史は大連では八月一日頃まで星ケ浦千葉ヒロ子夫人方に滯留し其の後沿線各地をハルビンまで講演行脚し朝鮮經由歸國する豫定である、女史大連での講演豫定左の如し

二十五日午後三時半から社員俱樂部大食堂で一般講演「民族と純潔」滿鐵地方課主催▲二十六日午後一時半から敷島町基督教青年會講堂で婦人講演「公民としての婦人」主催聯合婦人會及地方課▲廿八日午後一時半から沙河口家庭研究所で婦人講演「民族の發展と婦人」主催地方課▲廿九日午前十時からは少年禁酒軍主催▲卅日午後一時半からは矯風會、聖公婦人會主催の講演會

その他星ケ浦大藏理事邸をはじめ各夫人の集會にも出席の筈であるが、矯風會大連支部では廿四日午後六時から敷島町キリスト教青年會で女史を主賓に懇談會を開くと

ハルビンに於ける訪日伊機
寫眞右はロンバルヂー氏左はカツパーニン氏

全遞信庭球大會
遞信協會主催で計畫

遞信局では體育奬勵の意味に於て遞信協會主催の許に來る八月三十日、九月一日の兩日に亘り大連大和町遞信俱樂部コートに於てオール遞信庭球大會を開催すべく目下出場人員等の選定中である

帝都の街頭に求人ポスト

春の緊張と共に往々不景氣の度を高めつゝある矢先何とか失業問題を解決したいと心を惱ましてゐる東京市の職業紹介所では、紹介事業の利用される範圍が比較的少い事にも起因して居るのではないかと一案をあみ出し今度生れたのがこの求人ポスト、求める者が態々紹介所迄足を運ばずとも新聞の如く街頭の要所々々に据え付けて希望者に投函させることゝなつた

南京米國間 無電寫眞
近く試驗する

【上海二十二日發電通】交通部は過般南京、ベルリン間の無線電送に成功したるに鑑み今回アメリカのラヂオコーポレーションと交渉し、南京アメリカ(土地未定)間に無電寫眞の試驗を行ふことになり目下交渉中である

京大硬球部 あす來征
試合日割變更

滿鐵運動會硬球部の招聘に應じて來連する京都帝國大學硬球部長谷川主將以下八名は二十四日入港の香港丸で藤井厚二教授に引率され着連することになつたが同庭球部スケヂユール左の如く變更されることになつた

▲廿六日午後三時(中央公園コート)對滿鐵硬球部ダブルス(四組)▲二十七日午後二時(同上)對滿鐵硬球部シングルス(七組)▲二十八日午後二時對滿鐵クラブ(ダブルス三組シングルス四組)

清涼飲料水 密造發見
氷店に賣る

市內惠比須町一六三于良慶(三〇)は六月末よりバナナ、苺、レモンの清涼飲料水を密造し市內各氷店に一升七十錢にて販賣して居るのを小崗子署員が探知し廿三日于良慶を引致すると共に現品を多數押收したが右は一時に大阪方面より仕入れた香料及着色原料を水の中に混合したもので市中邦人氷店にも多數販賣して居り取調べの結果科料十九圓に處した

河部五郎觀劇大會
今晩からお名殘狂言上演
=地雷火組十三場と國定忠次=
主催 滿洲日報社

抽籤なしで 寄附電話を受理
申込み三百四十八個

大連における本年度の寄附電話は既報の通りこの十一日から十六日まで申込みを受けたが、その結果による不況ドン底と云はれてゐる折柄にも拘らず三百四十八個の應募者あつたが遞信局では交換機の收容力等に照し今回申込みの分は無抽籤を以て全部受理する事になり申込者にそれ〴〵通知を發した由である。なほ現在由價等に支配されず三百個以上の申込者があつた事は市內に今なほ實際に電話を必要とする者が相當數ある事を立證する譯であらうと云はれてゐる

甘井子通ひの 渡船が悲鳴
競爭が激しくて引合ぬのに 水上署で新許可方針

大連甘井子間就航の渡船業者は、「甘井子が開港したら又何とかなるであらう」と開港の日を期待してゐたがさて蓋が開いて見ると相變らずの不景氣、競爭船の客の奪ひ合ひ、殊に支那人客の減少、何れの同業者も四苦八苦の有樣である、現在就航中の渡船は佐々木三隻、元昌號一隻、佐藤一隻、草分會一隻、宇田商會二隻、早川二隻、計十隻が平均十八回往復してゐる始末でガソリンとモビル油等の經費に元も子も無しになつて漸く繫を繫いでゐるが、最近にいたり滿鐵埠頭から二隻二十分毎に發着すると云ふ始末に更に强敵現はるゝこれが對策に腐心してゐる一方滿電においても定期バスを出す事となり、こゝもと渡船業者は青息吐息だが、聞くところによると水上署においては右現狀を無視して渡船業出願者が數件あるのを機會に今後十日に亘り乘客數その他を調査し結果により更に同業者を増加する意向を有してゐるがこれ等新出願者中には既に船を建造して許可されるのを待つてゐるものもある程で前中尾署長當時一蹴されたものが飯島署長の就任と共に再出願したものである、尙同業者中では同署の出樣によつては結束して反對運動を起すやもはかり難いと

場合により 許可する
飯島署長談

右に關し飯島署長は語る許可するしないは別として乘客人員を調査してゐる事は事實である、一度各渡船業者に就き營業、態その他を調べたのだがどうも事實と申告とは相違があるので直接署員を派して調べる事にした、船を建造しておいて願出た者があるかどうかと云ふ事は知らないが、許可してもよいものであつたら許可するつもりである

フオード翁の體驗談

自動車王フオード翁がその隱退に際して發表し、世界に大衝動を捲起した成功致富の體驗談、キング八月號に掲載され大評判!

暴徒益々狂ふ

【ポートサイド二十二日發電通】當地の暴徒は益々猛威を逞しふし二十二日は市役所の廐に放火せんとするに至り警官は發砲してこれを防ぎ死者一名負傷者二名を出し尙カイロより來援したエジプト軍隊は本日ポートサイドに到着した

ナショナル鐵道の爭議解決

【ダブリン廿二日發電通】ナショナル鐵道從業員の爭議は急に解決を見二十二日より開始さるべき總罷業は中止する事となつた

實業球場のガソリン乾燥

金福線復舊

金福鐵道では二十二日の降雨で午後五時頃杏樹屯附近が線路上に出水し一時不通となつたが……

安奉線複線 事實無根
排日利用計畫 畫餅に歸す

【奉天特電二十三日發】最近支那側は遼寧外交協會が中心となつて滿鐵が安奉線を複線とする計畫ありとして重大なる國權侵害問題の如く騷ぎ立てゝゐるが同協會より公安局に眞相調査を依賴したところ今回公安局は安奉線草河口、通遠堡間二ケ所長山嶺子、摩天嶺子各一ケ所のガードの修理中であり、又蛤蟆塘及び二臺子附近の山脚防護工事を修理したが何れも鐵道用地內のことであつて用地外を侵越せる事實はない且つ右の施工が複線の準備であるか否かは想像出來ない、今後も臨時調査を怠らず國權を保持するといふ旨回答し、所謂複線計畫の事實無根を裏書された譯で外交協會が折角排日宣傳に利用せんとした企圖も畫餅に歸した形である

水し城子驛行五百三列車は同驛で立往生したが、二十三日金州南門發の五百一列車から開通した

ロシア人が 氣を失ふ
電車事故で 飛び降りて

二十二日午後九時四十八分、七號系統三二號電車(運轉手足立七子(三七)車掌李設ゲ)が平和臺停留所を發して老虎灘に向つて進行中運轉臺にてスパークし運轉手は電流を遮斷せんとしたが利かぬので飛び降りたのを見て乘客の三名も驚いて飛び下り、內露人男一名は顚倒して腦震盪を起し一時人事不省に陷つたが直ちに恢復した全治五日の見込み、なほ電車の損害二十圓であると

海底線の復舊

暴風雨の爲め不通だつた佐世保青島間電信線は廿三日午前十時卅分に至り漸く復舊したが大連佐世保線は明廿四日頃には回復の見込

共産事件公判

過日判決があつた滿洲共產黨事件被告の內秀島嘉能は病氣のため分離され二十四日午後一時より地方法院に於いて森本裁判長係で開廷される

ボーイの惡事

山東省生れ市內岩代町一七張永高(二一)は去る十八日まで浪速食堂にボーイとして働いてゐたが二十一日午後五時二十分同食堂の受領證を一枚竊取し滿電に金四圓五十錢の受領證を書入れ滿電から金を詐取せんとして發見され果さず逃亡したが、二十二日午後十時五十分市內千代田町五番地先方に潛伏中を大連署員に捕はれた

逃亡酌婦發見

去る十七日三人共謀の上逃亡した逢坂町第二豐榮樓酌婦の內最年少の奴事右村オノリは二十一日市內若狹町を通行中を發見連れ戾された

台所メモ

えび	百匁	四〇〇	二五〇
ひらめ	同	一五〇	〇八〇
すゞき	同	四〇〇	二五〇
さはら	同	二五〇	一〇〇
めばる	同	二〇〇	一〇〇
あぶらめ	同	二五〇	一五〇
ぼら	同	二〇〇	一五〇
うなぎ	同	二〇〇	八〇〇
あなご	同	三〇〇	二〇〇
どぢやう	同	二〇〇	一五〇

いやな南京虫は
イマヅ芳香油でトレ

衞生試驗所の試驗結果によるとイマヅ芳香油をヒーロー噴霧器(五十錢)でかけると南京虫は、一たまりもなく即死し衣類、疊、什器などを汚す事は少しもありません。だからこれに限ります。尙そのあとに南京虫用イマヅ蠅取粉を疊の合せ目其他虫の居た個所へ、まいて置くと退治後、外から移植して來るのと、發生するのを防止しますから、退治の効果が永續します。それ故イマヅ芳香油で退治したあとに、必ず南京虫用イマヅ蠅取粉をまく事を忘れぬやう。又廣間、工場、大食堂、ゴミ溜等にはポンプ式撒粉器(六十五錢)でまくのが最も便利です。

右藥品は到る處の商品で販賣してゐるが、品切れの節、其他南京虫退治に就ては御相談は、害蟲研究の大家、今津佛國理學博士の今津化學研究所(大阪京町堀二、電話土佐堀八一番)へ御申込になれば、懇切に御相談に應じます。

英語出張教授

時間場所を不問懇切叮嚀に教授す當方東京に永く滯在日本語を解する英語大學出身外國人希望者は書面又は直接常盤町六九鹿兒島館內デー・ワン迄

圍碁

會費月二圓初心者歡迎淸水二段指導の圍碁俱樂部 三河町 大連俱樂部 電八六七五

俠艶一代男（3）

米田華紅作　伊藤幾久造畫

神田祭の夜（三）

か組の清吉は、全身に紅を染めたかと疑ふ、血潮を湧き立たせて諸手で丸太棒を振りあげると、加州侯の行列の先供の間へ、ぐるぐると颶車のやうに打ち振り〳〵割つて入つた。

「それッ！狼藉者ぢや！供先を亂す憎い奴ッ！斬つて捨ろッ！」

目附と見える麻上下をつけてゐる老武士が、

頻りと下知を傳へた。

これを見て、吃驚仰天したのはか組の頭取を始め町内の世話役、八番組下の連中である。誰も彼もヘッとして、度膽を拔かれた形で死人のやうに顏色を變へた。

バラ〳〵と三四人の組頭と見える男が、暴れ廻つてゐる清吉の側へ走り寄り

び入つた。

「本日は殿、寛永寺御社參の砌ぢや、汚れを見るは恐れ多いに據り直に斬り捨つ可きを容赦致した。しかし亂心とあれ、お供先を亂した罪は輕からぬ。八番組世話役一同へ本人を預け取らする。後日追て沙汰致すであらうが、亂心者とあらば、その方たちに罪はあるまい。とりわけ逃さぬやう注意致せッ！」

侍は云ふだけのことを云ひ、側に控えてゐる仲間へ、何事をか命ずると、その儘、踵を廻し、行列の跡を追つた。

一同は、押し潰された蜘蛛のやうに平伏をしてゐた。

「もういいよ！相手は夙に行つてしまつてるぢやねえか？」

ヒロイと一同が頭をあげると、

してゐる若者が、ニヤ〳〵と薄笑ひ。

「へえ、お前さんは加州さまの御部屋の……？」

「さうさ。八丁火消の仲間でございますよ」

「左様で！唯今はまたとんだ奴が飛び出しまして、お行列をお騷がせ申し、何ともお申し譯がございません」と、か組の頭取仁兵衛が白髮頭を再び大地へつけた。

「まア！お手をおあげ下せえ！清吉の野郎ならあの位の騷ぎはしでかすでござんしやうよ」

「えッ！」と、仁兵衛は怪訝な顏付で、相手の面を見据えた。

「と云ふわけで、私は彼奴と滿更知らねえ仲ではねえんで、御心配には及びませんや」

「お前さんは一體、誰方でございますかえ」

「さア、何の某と名乘る程な御身分でもねえ、見た通り、加州部屋にごろついてゐる詰らねえ仲間ですよ。それよりは清吉はどこに居ますかい！一寸逢はして貰ひてえ

もんです」

「へえ、向ふへ、皆してでございますが、何してもあの通り氣狂い沙汰、またお前さんにどんな間違ひでも仕掛けては相濟みません」

「何の！構ふもんですか。是非清吉に逢はして貰ひたうございますよ」

「やいッ！手前は亂心したな。氣が狂つたと見えるな。恐れ多くも加州さまのお供先を亂すとは何て云ふ野郎だッ！」

聲と髮高に、亂心、氣狂ひと喚鳴りつけ、清吉の頭髮を掴むと、一人が引き倒した。そして手取り、足取り、山車の後へと引摺り込んだ。

供先はすぐと列を立て直し、そのまゝ靜々と通り過ぎて行つた。

跡に一人。加州の侍と仲間風なゐる小粹な若者とが、梅鉢を染め拔いた單衣法被を着てゐる

八番組の頭取の額を集めてゐる所へと遣つてきた。

「唯今お供先を亂した狼藉者は町火消と見ゆるが、何れの組に屬するか？」

「へえ、誠に恐れ入りましてござります。本人を取鎭て居りますが、先刻御覽の通り、素裸體で御行列先へ飛び出す位で、逆上亂心氣味で、何が何やらさつぱりと相判りませぬ。どうか御寛大な御處置を願はしう存じ上げます」

頭取たちが大地へ額をつけて詫

そこに蹤つてゐるのは、加州の仲間と見える、きりッとした男前の法被の袖口から朱彫の文身を覗か

お名殘り狂言に地雷火組を上演

今明晩限の河部五郎

河部五郎の桂小五郎　けふから上演

湧くが如き好評裡に開演中の歌舞伎座の河部五郎一座はいよ〳〵今廿三日明廿四日の兩日限りお名殘千秋樂で本日より三の替り狂言として幕末巷談「地雷火組」全十三場を上場するが維新の風雲急をつぐる京洛の地に取材したもので長州の志士桂小五郎の奮闘を描いたもので是れ又昨夏日活の超特作品として凡くファンの好評を博したもので主なる場割は左の通り

第一場　三條料亭池洲の大廣間
第二場　同家表口
第三場　今出川御門前附近
第四場　眞如堂附近黑谷墓地
第五場　河原町小西家雛座敷
第六場　女賊大人お吉の隱れ家
第七場　白河街道仙太の家
第八場　洛外花園村
第九場　祇園社内二軒茶屋附近
第十場　壬生新撰組屯所
第十一場　若狹街道の夜嵐
第十二場　百姓仁兵衛の住居
第十三場　栗田口庚申堂前

主なる配役は佐幕の與西郎（山本禮三郎）藝妓幾松（西野龍子）新撰組隊長土方歳三（河合英二）……城士重藏（中里一）白……太（石原龍之介）地雷火組首領森ト大造（西岡弘）女賊天人のお吉（宇治龍子）長州藩士辻玄蕃（川原信）同藩士山崎進（村上英二）百姓仁兵衛（香山柳蛙）薩摩藩士寺西銅齋（吉川一郎）同藩士顯達行（秋山三郎）桂小五郎（河部五郎）其他捕手新撰組隊士藩士浪人劍客等大勢、尚二番目狂言はお好みにより前替り中より續き國定忠次四場を上演することになつた

◇山本禮三郎◇◇　映畫俳優として活躍してゐたのでスクリーンを通じてのファンが多く舞臺に姿が現はれると必ず聲がかゝり小氣味のいゝ演技が好評を博してゐる

大連棋院臨時稽古碁戰

三段　伊藤甲子女史　六子　大淵貞吉氏

〇八一への十六　〇八五ホの十二　〇八九ホの十　〇九三トの十一　〇九七リの十
●八二ハの十五　●八六への十　●九〇チの十　●九四ヌの十一　●九八リの九
●八四ホの十三　●八八への十　●九二チの九　●九六リの十一　●一〇〇ヌの九

—【5】—

今晩の放送番組中、清元の「かさね」は家元延壽太夫の十八番にして、清元中の大ものである▲演者は斯界二十年の古い經歷を有する東京の鬼笑氏で昨夏、ヤマトホテルで壽滿太夫と該淨瑠璃を共演、大喝采を博したこと未だ大連粹人の記憶に新たなる處だ▲鬼笑氏は來る廿六日のウラル丸にて歸京することとなつたので御名殘りの意味で、多波羅氏と共演する譯であるが、清元としてこの種大ものゝ放送は初めての事故、各方面から多大の期待をかけられてゐる▲演藝館が夏場の興行に今までの松竹映畫を揃へて大衆週間をつゞける▲先づ「陸の王者」と一新人斬馬劍」を組んで火蓋を切り▲その次が「不壞の白珠」それから「狂へる名君」と「三善人」を組み「母」の再上映も計畫されてる

大連 JQAK

七月廿四日午後七時卅分
▲ラヂオ體操
▲趣味講座「夏の化粧法と齒付」太道凡平
▲ハーモニカ　イ、スパニシュヨーク（フエヤー・バッチ作）ロ、デヤフライレユーツ（ウエーバー作）ハ、ジヤンチナーワルツ（ウエルドチフル作）永田時雄
▲落語「牡丹燈籠」櫻川歌助
▲筑前琵琶「石田三成」青島法勉山、峰晴旭妙

東京 JOAK

廿四日午後六時廿五分
▲講演「山の傳記」青木欣二
▲吹奏樂　一、歌劇、詩人と農夫二、小川のほとり三、交響曲第五番の終曲（陸軍山戸學校軍樂隊）
▲常磐津（小曲）一、渡守（唄、常磐津小若太夫、三味線、岸澤小吉）二、五大刀（唄、常磐津相生太夫、同勘喜太夫、同小若太夫）三、酒の中の花（唄、三味線、善藏）
▲放送舞臺劇、お俊傳兵衛近頃河原達引「堀川與次郎猿廻しの場」（猿廻し、片岡我童、傳兵衛、嵐徳三郎、お俊、片岡 ）

滿洲日報

婦女界 八月号

我が故郷物語号

愛讀者の夏の旅行座談會

愛讀者が打明けた夏の避暑旅行の經驗と思ひ出！家庭にゐる方は一讀涼味を覺え旅行する方には、この上なき遊覽案內書となります！

▼たのしい旅行の思ひ出 ▼避暑旅行と場所の選び方 ▼間借や家を借りる方へ ▼子供連れで旅をする注意 ▼その他旅行一般の注意 ▼旅先で愉快だつたこと ▼旅先で恐ろしかつたこと（面白いエピソード漫畫入紹介）

涼味溢るゝ納涼記事!!

戲曲 **曲馬團の娘** 竹田敏彦作

名古屋で上演し大好評の新國劇の當り狂言！先頃大阪の新聞で問題になつた裁判事件を脚色したもので、最後まで息もつかせぬ面白さです。曲馬團の花形娘を見て、昔さらわれた我が娘だと主張する寡婦の出現から、意外な運命悲劇が生れます！

芝居見たまゝ **坊ちやん** …… 宮尾しげを

綠陰の好讀物！ 猿之助所演漱石の名作を誌上に演出

我が故郷を語る……

目下人氣ある作家畫家政治家のしみじみとした望鄉談です。この六人の方々は何處に生れ、どんな環境に、どんな少年時代を過したでせうか？ 輕い讀物の中に一脈の情味を含むお國自慢話です。

東京と廣島の二つの故郷 …… 細田民樹
殘して置きたい盆踊 …… 南薰造
菊池寬氏の故郷は讃岐の高松
阿蘇の噴煙を恐がつた安達內相
餓鬼大將であつたその頃 …… 細田源吉
水郷松江市とジユネーブ …… 若槻有格

本誌寄稿家の故郷調べ

（毎号顏馴染の二十七名家夫妻の故郷は何處？ 日本全國に跨がるお國自慢）

編輯同人の故郷調べ

（久し振での同人寄せ書！ お里を洗へばなる程ねとうなづける興味ある讀物）

若槻首席全權との軍縮問答

英米佛伊の雄辯家揃の各國全權を向うに廻して堂々君國の爲に活躍した若槻氏が特に本誌の爲に語つた、とつておきの打明話 …… 太田菊子

戀愛中心の岩田專太郎畫伯の半生

初戀に破れ奮然畫家を志ざし貧困と失意と戰ひながら今日を築いた岩田氏の灼熱の戀物語！本誌によりて初めて世に公開さる …… 京極務修

別居して居る夫婦の手記

（當選四篇の外危機を救ふ別居生活） …… 古川實

どうして別居したか、別居がどんな結果を生んだか？ 痛切な體驗！ 別居は變則の夫婦生活ですが、善用すれば夫婦愛を甦生する效果があります

1 不便な山間の產婆となりて別居
2 一年五十日より逢へぬ船員の妻
3 新婚早々家の普請や夫の病氣
4 夫を車輛主にするために別居

小說 子守唄 …… 川口松太郞

日本一のソプラノ歌手關屋敏子嬢のために書き卸したトーキー映畫のストーリーです。封切に先だち特に公開した悲痛な母性愛小說！

典型的な日本婦人 棚橋絢子刀自 …… 中村武羅夫

現代女性がぜひ一讀すべき、興味ある日本女性史です

呼物の連載小說

壞けゆく珠 …… 菊池寬
生活線ABC …… 細田民樹
淀君 …… 三上於菟吉
光の序曲 …… 畑耕一
世に出る迄 …… 太田菊子

夏の子供の病氣看護の經驗

お子様に一番恐しい夏特に起り易い病氣の看護常識を實例と批評で（批評）井出病院長 竹內茂代

1 三兒の疫痢を輸血療法で
2 はしかの療法を誤りて
3 頑固な消化不良を全治させ
4 百日余の熱病が全快する迄
5 身一つで大腸カタルを看護

誌上大學診斷 齒の常識 醫學博士 遠藤至六郞

（齒の病氣、敗血症、八重齒、味噌齒、齒列の矯正、妊娠時の注意、齒の衞生等に就て）

簡單に出來る夏の健康增進法

夏まけを治す祕法 酒井博士
健康は野外生活から 氏原博士
冷水摩擦の效果 中島技師
家庭的なラヂオ体操 江木理一

ぜひご實行下さい 費用も手數も不要

鄕土情調を加味した夏の野菜料理卅種

（思はず夏の暑さを忘れ食慾の進む料理ばかり 殊に各地の地方色横溢）

夏の美容法十題

どうして夏の美を引立てるか…大家の祕法公開

▽見違へる程美しくなる美顏法（どうしたら美しい滑らかな皮膚になれるか？ 洗顏後の手當、脂性と荒性の療法）…… 北原十三男
▽薄物を上手に着る祕訣 …… 千葉益子
▽汗かきの化粧と着附（マリー・ルキズ メイ・ウシヤマ）
▽眞夏の洋髮三題（サンフラワー卷、麗人卷、靜夜曲卷の三種を口繪と記事で詳細に）…… 大場靜子
▽夏の帶の結方 …… 遠藤波津子
▽避暑地向き化粧法 …… 早見君子
▽美爪術の仕方
▽流行型の斷髮と鬘の掛方 …… 守屋稻子

マリールキズ結上げの「麗人卷」

遠藤波津子さんの恰好のよい夏の帶の結び方

本号定價五十錢 送料三錢

半年分三円廿錢 一年分六円廿錢 稅共

東京丸ビル三五五 振替東京二九三七 婦女界社

滿日地方版

奉天

うどん、そば代 平均一割強値下 飲食店組合で決定

附屬地飲食店組合では廿一日午後三時から浪速通天安において組合の臨時總會を開催、出席者組合員五十五名で飲み物の値段につき警察と協定した報告後その値段を具體的に打合せた結果ビールは一本滿洲産は四十五錢、內地産は五十錢乃至五十五錢とし日本酒は滿洲産廿五錢、內地産卅錢、サイダー及びシトロンは滿洲産廿五錢內地産卅五錢と決定した尚これを機會にウドン、ソバ等の麵類の値段を自發的に値下げし警察の認可を得ることゝなつてゐるがその値下率は平均一割強で廿六日から實施することになつて八時頃散會したと

我子が可愛さに 夫婦喧嘩納まる 警察官に說諭され

女給奉公中カフエーの鮮人主人と甘い戀を語る仲となり遂に夫婦の緣まで結び男の子までなしたが夫の不身持から將來を案じたその女は子供を抱いて內地に歸る途中奉天で押へられ子供を中心に子供をつれて行くいや渡さぬの爭ひが奉天署で始まり涙ある係官の裁きで遂に子供の愛にひかされ再び兩人相携へて歸り圓滿な家庭を作ることゝなつたといふ人情話がある

鞍山北二條通飲食店女將吉本千代子(三一)が二歲の男兒をつれ廿一日無斷家出し下り十五列車で奉天經由安東に向つたその取押へ方の手配により奉天署では同列車が奉天驛に到着するや同人を取押へ保護を加へ本署に連行取調べた處千代子は數年前朝鮮の寧邊で鮮人具大書の經營するカフエーに女給奉公中具と切つても切られぬ仲となり遂に夫婦の緣を結び鞍山に來り飲食店を開業してゐたしかし夫の不身持のため將來を案じ夫と別れて內地へ歸る決心をなし子供をつれ無斷家出したもので係官の懇ろな說諭に對しても二度と鞍山へは歸らぬとの決心に始末がつかず夫具を呼び寄せ解決することゝなつた廿二日朝來奉した具は奉天署においてそれほどまでなら內地へ歸つてもよからうしかしこの子供は自分の子供だから渡されぬと云ひ出し又千代子はそれでは子供が乳ばなれするまでは自分が引取つて養育[illegible]と云つたが具はきかず遂にその子供を中心に爭ひ合ひの爭ひが始まり、今一度兩人共考へ直してはどうかとの係官の涙ある言葉に兩人とも引下り話し合つた結果兩人ともそのいとし子をつれて鞍山に歸り圓滿な家庭を作ることゝなり親子三人は二十二日歸鞍した

大連到着の拓大滿鮮見學團（同窓會大連支部員との記念撮影）（前列向つて右より二人目教授四人目石井教授）

支人とは知らず 六年も連れ添ふ 捜査願でやつと判る

天津日本租界曙町一六小島方佐藤そめ子より奉天領事館警察署宛長野縣生れ佐藤周一(三二)と云ふ自分の夫が就職口を探しに奉天に行つたが自動車の運轉手を勤めてゐるといふ手紙を受取つて以後何等の便りないのみか自分から再三出した手紙が皆返つて來るので心配でならぬからその事情を調査し通知して貰ひたいとの捜査願ひにより所轄署の奉天署から手配し調査の結果佐藤周一なるものは大正十三年―內地において現在の佐藤そめ子と內緣關係を結び昨年九月共に天津に渡り前記小島方に同居し就職口を探してゐたが適當な處がないため妻を天津に殘し去月十六日來奉藤浪町三番地永瑞祥事王連瑞方に食客となつてゐたもので同人は長野縣生れ佐藤周一と自稱するが日本人名を語らず王連瑞方に支那人名で泊り込んでゐたゝめ天津の妻女より出した佐藤周一宛手紙は全部返されてゐたものである彼は河北省生れ周朝鳳(三一)と稱し妻にも自分が支人であることをかくして六年間も同棲し今回の調査で端なくも戀焦れる夫は思ひもよらぬ支人であることが判明したが周朝鳳は五浦瑞から百圓借り受け妻を迎へに行くため本月廿五日奉天を出發し天津へ向ふ筈であつたと

人事

▲安保海軍大將　二十八日過奉の豫定
▲高橋貴族院議員　二十一日安奉線にて內地へ
▲佐藤代議士　同上
▲奥田奉天保線事務所長　二十二日歸奉
▲櫻內代議士夫妻　廿二日安東より過奉赴連
▲宇佐美哈爾賓事務所長　廿一日過奉赴任
▲陶尙銘氏　廿一日歸奉
▲カーレル、ハム氏（駐日チエツコ、スロバキヤ公使）夫人令孃同伴廿二日安奉線急行にて北行西伯利亞線經由歸國
▲小樽高商生十六名　廿二日朝安奉線にて內地より來奉同日撫順往復

町の便り

市內浪速通十八番地吳春田前で住吉町一〇大山某の乘れる自轉車と北市場秋利水(二五)の洋車とが衝突し洋車の挽手を破壞した損害一圓

◇

山西滿鐵地方部次長は廿二日正午ヤマトホテルに於て地方委員及び區長主催の歡迎會を開いた

◇

板橋子管內は連日の降雨で水田の浸水甚しく三尺以上の浸水個所さへあり被害程度は不明であるが浸水水田は勸業公司所有のもの三十天地個人耕作水田廿天地に達してゐると

貔子窩

夏季講習會

當地民政支署學務課では來る七月二十七日より四日間公學堂に於て夏季講習會を開催する由、講習人員は四學級以上の學堂は二名宛三學級の學堂及島嶼は一名宛とし科目講師は

算術教授法　當地小學校長　坂東久松氏
體操指導の理論及實際　當地民政支署視學　中山右三郎氏

營口

一萬四千圓のプール竣工 廿三日盛大な開場式

本春三月十五日から大連今井組請負の下に起工した當地プールは工費其の他一萬四千二百圓餘を費して竣工し、愈々廿三日午前十時から稻葉常任幹事の開會の辭の下に開場式を擧行した、修祓、工事報告、來賓祝詞等あり、三段[illegible]の下に行はれ、一般會員には午後一時式後公開され二十四日以後は午前七時より午後七時まで開放される由、因に營口水泳倶樂部は瀧波氏を牧師とし助教師鶴田義雄及び目下當地東亞煙草會社勤務の初段高崎昌彥氏が更に助教師として依囑さるゝはずである

國際運輸が多數苦力を解雇 不景氣風に餘儀なく

支那側鐵道の活躍に依て滿鐵線の輸送貨物に甚だしき影響を來たしこれが荷役作業に從事中の國際運輸會社並に其他に於ては悲慘な窮地に陷り、爲に當地の同支店では二十一日遂に苦力頭七名常用苦力五百名を解雇したが、從來は一千三百餘名を使役して來たのを現時の不況狀態は三百名を以て尙餘りあるので相當の犧牲を拂つて解雇したが、彼等もその實情を熟知して居るので別に不穩の行動もない

不景氣退治 商議で研究

不景氣風は何處も同樣に吹き荒んで氣息奄々の狀態にあるは事實であるが、當地も漸次深刻の度を加へ來り邦人の消費力は減退し支那側の購買力は涸渇し當驛發着貨物減少のため船舶貨物の減退海陸運送業の不況、北票炭の進出に依て撫順炭地賣炭の賣行減少等その原因を數へ來れば種々あらうが、何とか此窮狀を打開する方策を講ぜねばならぬとの聲漸く勃興しつゝあるので、商業會議所では寄り〱研究を進めて居る

兩氏の送迎會盛況

本社榮轉の蒲生前地方係長と新任の山ノ河係長の送迎會は二十二日夜清林館に於て行はれたるが、來會者四十餘名盛會であつた、尙蒲生氏は在任四年餘の長きに亘りその間當地の諸施設其他に貢獻せしこと少からず市民は少からず氏の離任を惜みつゝあり

三浦內務局長

沿線各地巡視中の三浦內務局長は二十八日午前十時半着午後三時二十五分離營の豫定

開原

吾等の町を語る

情操教育には苦心 土地其物が殺風景なため

永野善三郎氏談

大豆の都として好況時代に最も活躍した町であるだけ、一層激烈に不景氣の影響を受けてゐるのではないかと思はれる、とりわけ瀋海線の開通と銀暴落の惡影響とは特産市場を益々不振に陷らしめ、實業に縁遠い教育者さへも無關心であり得ないのを遺憾とする。

◇

或人は滿蒙五鐵道に關する利權に抵觸してゐる瀋海線の布設を默過した當局者の不都合を擧げて、邦人の利害休戚に關する事件に對しては今少し熱心を煩はし度いと言つてゐるが、事すでに過去に屬しどうすることも出來ないし、又銀の相場も勝手に上下することも出來ないから、所詮は各地同樣「其のうちに何とかなるだらう、行ける所まで行くより外はない」といつた樣子である。

◇

かうした市中の不景氣が、兒童の生活にどんな影響をもたらすであらうかと考へる時、細心なる注意を要するものがある。表面には何事も無いやうに見えても相當の一部に缺陷があると大地震の原因となることがある。

◇

頭腦が緻密で明敏で抱負の大きな人々や聰明で老練な實業家達が少くないから、他日風雲に乘じて雄飛する人もあらうが、徒らに物質的對象にのみ沒頭してゐる人も無いとは言へぬ。併し乍ら大體に於て皆物分りが早く、資本も相當にかけて大學などを卒業させても就職率三十八パーセントといつたやうな今日の教育がつまらぬことをよく理解し、徒らに上級學校へ子弟を送らうとする傾向が段々と減却しつゝあることは先づ結構であらう。

◇

けれども澤山の人の中には、學校は知識の切賣をする所の如く考へ、兒童本來の生活を進展せしめて獨自の世界を開拓せしめやうとする企圖に對して危惧の念を抱く人が無いではない。從つて誤謬心といふのも有るが、概して教育にはよく注意するやうで、此の點は識者先輩に負ふ所大である。

◇

學校では吾等の町に即した教育を行ふ爲めに十分保護者と協調することを期してゐるが、何分にも土地そのものが殺風景な所であるために、落ちついた、うるほひのある教育をすることは容易でない。假りに圖畫教育を盛んにして美的陶冶をしやうとしても、郊外は立樹と家屋と野原ばかりで、山も水も無い。即ち出來上つた畫は中景も遠景も無いものになつてしまふ。せめて音樂兒童劇などによつて快活潤達な性情を養ひ、協同調和の訓練をすることが極めて意義の多いことになつて來る。

◇

併し乍ら此の種の陶冶は人をして優柔にならせ文弱に導き易いといふ通弊がある。すなはち勤勞作業を課し、體育運動等を獎勵して質實剛健の氣風を養ひ十萬の職骨に酬ゆるところあらしむべきである。かくして教育せられたる兒童が、他日開原を經營するであらう時、美しくも床しい理想の花が開くであらう

遼陽

極力鞍山案支持 更生會役員會の協議

遼陽市民更生會では廿二日午後一時から公會堂に於て役員會を開き先づ昭和製鋼所滿洲設置問題に付大連が主催して全滿大會開催の件を協議したが、遼陽としては飽迄鞍山設置の意圖ある仙石總裁案を鞍山側と協力支持すると共に廿四日の大會には代表委員として地方委員側から生田友次郎、安藤吉三郎、猿渡源藏市民更生會から荻岡彌次郎、梶原岩吉の五名が廿三日夜行で赴連することになつた

地委茶話會

遼陽地方委員會では廿二日午前十時から地方事務所會議室に於て臨時茶話會を開き、昭和製鋼所滿洲設置全滿大會に代表委員派遣其の他の件に付協議したと

管外匪賊狀勢

遼陽城西常家窩棚附近には頭目黨双陽、陳中甲の率ゆる廿餘名の一黨が橫行しつゝあり、村民も頗る脅威を感じて居ると、頭目黨双陽は十數年前同地方を中心に掠奪暴行の限りを盡し其の後北滿方面に逃走官憲の目を晦ましたる者、また副頭目陳中甲は昨年城內四大廟李商務會長方を襲ふた疑ひあるものだと

移駐隊歡迎會

柳樹屯から移駐した旅團司令部及び步兵大隊將卒歡迎會開催の件に關し地方事務所の三澤庶務係長が數日前同地に出張在住民の誠意を披瀝諒解を求めたるに、酷暑の折柄でもあり多數將卒を招待さるゝ事は軍隊衞生上其の厚意を受けて難し見合せられたしとの事で、兵士諸君には他日歡迎の意を表することに決し、准士官以上は廿七日午後七時から公會堂に招待する事に決定した、參會希望者は廿五日迄地方事務所又は町內各區長まで申込まれたく會費は金二圓、當日持參のこと

旅團長の招宴

遼陽に移駐した步兵第十九旅團長中村少將は廿五日午後六時半から偕行社に官民の主なる者を招き披露旁々懇親の宴を催すと

撫順

赤痢猖獗を極め 罹病百名を超ゆ 經口豫防藥無料配布

赤痢猖獗を極め罹病者今や百名を超へんとし撫順は正に赤痢恐怖時代を現出せんとしてゐる、右の內滿鐵醫院に收容したる者は五十名であるが華工などは赤痢にかゝつてもこれを隱蔽入院する事を極度にきらひ、華工宿舍一戶で三四人とかたまつた赤痢患者が最近續々と發見された、炭礦では右徹底的防止策として近く「經口豫防藥」を無料配布する故自分のみの健康ばかりでなく公衆衞生の爲にも服用すべきで副作用としては一寸下痢するやうな事があるかも知れないが、同藥を呑みさへすれば赤痢に犯される心配は全くないと

重油と粗蠟輸送 廿二日大連から德山へ

撫順製油工場は全操業開始日以來極めて順調に進みつゝあるが、主産物たる重油二千噸、粗蠟六百噸は大連寺兒溝のタンクより運送船鳳城丸に積込まれ昨二十二日拔錨德山さして處女航海に上つた、撫順同工場に於ては原油生産高既に二萬噸をオーバーし重油三千八百噸を産し內二千六百噸は既に大連に送られ、內二千噸は前記の如く海軍に向つて輸送されたのである粗蠟も既に一千二百噸、一番金目になる硫安亦四千噸を産し噸當り百二十圓で飛ぶやうに賣れると云ふのだから景氣がいい。前記以外目下連日粗油二百噸、粗蠟六十噸その他硫安、コークス等が生産されつゝある

撫順劍士の陣容成る 早大軍を迎ふ

本紙の逸早く報じたる如く帝都武道界の雄早大劍道部一行は高野範士に引率され八月三十日來撫、永安臺道場に於て撫順と一大決戰が演ぜられるが、當日撫軍の陣容は五段阿部文雄氏を大將に亦その日の形勢に依つては佐藤重藏五段自ら出場する準備を整へ、警察の橫山四段副將として控へその他根北四段、坪田、金澤、愛甲、高山、飯塚、海老名等一騎當千の豪の者出場することとなつてゐるが、當日撫軍の陣容は次の如く內定した

五段阿部文雄、三段根北常彥、三段坪田祐一郎、四段橫山信太郎、澤俱太郎、愛甲爲志、海老名五郎、飯塚時次郎、高山富士雄、二段木村鐵男、神保兵之助、佐々木淸吉、德森基雄、高宗量、溝口健三、佐藤松、初段松田衛、水上留夫、高田勝三、森義彥、松田忠、是村輝彥、一級中島長三郎

新給水タンク

經費十萬圓で新發電所橫に一千二百噸の給水タンクが新設される、給水塔の高さ百二十尺右竣工の曉は一壯觀を呈するであらう

鮮婦人夜學會

在撫鮮人キリスト教牧師金昌德は知識程度低き在撫鮮人女子の爲先般來女子青年學院開校運動中であつたが、差當り東二條の同人宅に於て鮮人婦女の爲夜學を開始する事とし、正規の教育を受け難き者に對し一般普通學を教授すると

四平街

小學卒業生同窓會 來月三日に

常尋常高等小學校の卒業生は例年の通り來る八月三日滿鐵倶樂部に於て同窓會を開くことゝなつたがあたかも本年は母校が創立二十周年に相當するので母校祝福のために個人團體の種々の餘興をも演ずる筈であると

鐵嶺

土用稽古 空前の盛會

二十一日から開始した武道土用稽古は青木武德會支部長から各方面に應援の依賴もあり、各鬪士にも極力出場の勸誘があつたので空前の盛會で六十餘名の柔劍道部員は流汗を物ともせず雄々しい叫びに三伏の暑さを征服してゐる、尙武道場の裏には大弓部員の土用稽古ありこれ又柔道部に劣らぬ盛況で兩々相俟ち鐵嶺の武道熱は熾烈を極めてゐる、每日午後四時より五時までの一時間なるにつき各方面有志多數の參加を望むと

線路上に小石

去る二十日午後一時半當驛着下り第二十一列車が鐵嶺驛構內に入らんとする際南踏切上り線西側軌條に數個の小石が併列されてあるを乘務員が發見し、驛到着と同時に報告保線區員が現場に急行し除去したので幸ひ事なきを得たが石は線路にあるバラスで四五尺置きに五個あり附近部落子供の惡戲と見られてゐる

小學校同窓會

鐵嶺小學校同窓會では本校出身學生[illegible]歸省を機とし例年の如く同窓會懇親會を開催、期日は來月十日と定めた、當日母校の先生は勿論先輩等も招待し會員の餘興などを催すと

三業組合總會

鐵嶺三業組合は今廿四日午後一時より金波樓において家族慰安を兼ね役員の改選規約の變更等協議の後六時から組合員懇親の宴を催すと

夏期講習會

鐵嶺縣教育局主催の縣下小學教員夏期講習會は去る十六日より開催の筈であつたが、連日降雨のため參加者少なく期日を延期し二十一日から開催したが會場は南門外縣立第一高級小學校であると

兩氏明日出發

營口及安東にそれ〲榮轉の山內敬二氏及鈴木善作氏は明二十五日午後零時半の特急で家族同伴任地に赴くと

吉林

弓道大會盛況

吉林の弓道熱は近頃になつて益々盛んになつて來たが二十日の日曜も月例弓道大會を午後一時より總領事館構の弓道場で開催した、出場者二十七名に達し二十射の競射では島谷氏十四中の成績で一等となる、金的では石橋氏大高氏見事に中り扇落しの餘興があり賞品の授與等あつて午後五時三十分終つたが近來にない盛會であつた

一等島谷、二等遠藤、三等細井、四等堀、五等石橋、六等幸尾、七等大高、八等林、九等花田、十等米田
金的　石橋、大高

吉林銀行總會

吉林銀行にては來る二十六日午後一時より同行內にて定時株主總會を開き左記各件を附議する筈である

一、昭和五年上半期營業報告書、貸借對照表財產目錄、損益計算書の承認を求むるの件
二、利益金處分案の件
三、役員報酬に關する件
四、退職役員に對し慰勞金支出の件
五、取締役、監査役全部滿期に付改選の件

尙同行上半季營業は順調に進展し其利益金約五千圓に達して居る由である

公所長夫人淸宴

濱田滿鐵公所長夫人は十八日正午より城內醉鮮飯店に當地主なる夫人連を招待した

安東

大和小學生徒の販賣實習始まる 二十二日から驛前にて

既報の通り大和小學校高等科生の夏中休暇中の實習生男兒五名、女兒二十二名は愈々二十二日より來月十六日迄驛前共販所に於て商品販賣實習を開始する事となり、二十一日は開店準備の爲め宣傳ポスターを樹てるやら商品整理陳列に忙殺されて居た、共販所內は小規模のデパート式にて十部に之れを分ち每日午前六時より夜十時迄各生徒が擔任個所を定めて販賣實習する、商品も市內一流商店より原價を以て託され全然生徒の責任にて利益を無視して土產物其他一般家庭用品を販賣する筈と

學童庭球大會

平北體育協會主催の學童庭球大會は二十日午前十時より營林署コートに於て開催された、試合は緊張裡に終始し選手は沿線各校より十七組出場したが枇峴普通學校組優勢にして決勝戰には同校のみ二組殘り、同志打の結果遂に白、金組が優勝した、因に準決勝以後の成績次の通り

◇準決勝
枇峴（梁基澤）（韓亭祥）四―[illegible]（張圭梓）（李熙臨）
枇峴（白得賢）（金京錄）四―三[illegible]（趙東勛）
◇決勝戰
枇峴（白得賢）（金東錄）四―〇枇峴（梁基澤）（韓亭祥）

土用稽古納會

日本領事館警察署では十七日午後二時から演武場で土用稽古武道納會を催し、柔道のみの紅白試合五人拔等あり、近來にない熱心な試合を行つたが、其の成績は紅軍の大將岡島君力鬪したるも白軍の副將宮尾君のため倒れ白軍は大將丸君を殘して凱歌をあげた、五人拔では篠原三段に門田、宮尾、菊地、丸、岡島の勇士が一氣呵成に斃れたがいづれも四、五分間で篠原三段のためになぎ倒されたが、各試合とも非常に緊張し好成績であつた

緊縮映畫大會

滿洲公私經濟緊縮委員會主催の緊縮映畫會は來る二十七日午後七時から大和小學校に於て開催されるが、映畫種目は左の通りで何れも高級品揃である

一、聖上御巡幸復興の帝都二卷
二、聖上御臨幸帝都復興式典一卷
三、秩父宮殿下御渡滿記念寫眞（關東廳作）數卷
四、日出る國　文部省作三卷
五、覺めよ國民（同上）二卷
六、二つの世界（同上）三卷

伊藤巡査部長歸國

安東署に永年勤務して居た巡査部長伊藤勘之助氏は今回家事の都合で勇退し郷里仙臺に歸る事となつた、氏は日露戰役直後渡滿し關東都督府の創設せらるゝや同府附巡査を拜命、大連より安東に轉じ沙河鎭をはじめ各派出所を廻り一時は高等視察係となり、敏腕を揮ひ幾多の難事件を解決し關東廳より表彰される事度々あり、同廳始政二十周年記念祝賀會の際は大銀盃を贈られた、氏の退職歸郷は家事の都合上とは言へ一般から非常に惜まれてゐる

新義州

二人殺し 懲役十二年

本月四日未明新義州府內麻田洞王子製紙會社々宅において內妻及びその養女を絞殺した靜岡縣生れ神戶金作(四九)に對する判決は二十一日新義州地方法院において言渡しがあり、懲役十二年に處せられた

長春

プール開き 廿八九日ごろ

西公園プールも昨今の降雨に幾分惠まれどうにか二十八九日頃から開設出來るやうになるだらうと地方事務所社會係では語つてゐた

大石橋

高粱畑內に匪賊の死體 仲間の喧嘩か

二十日午後四時頃大石橋驛道西附屬地に接せる高粱畑內に三十五六歲位の一名の支那人死體が發見され林警務主任、橋本司法主任、岡部刑事等臨檢の結果、被害者同業者共に匪賊にして掠奪した金錢の分配より喧嘩を始め射殺したるものなるべしとの推定を爲せるが、支那官憲も同樣の判斷を下した、附近は相當激しく爭鬪した痕跡があり現大洋五十元包みの包裝紙が五枚も散亂してゐた、今や馬賊の活動季に入つたので阿部刑事以下變裝姿で汗だくの活動を續けてゐる

鞍山から檄電

二十二日午前十一時鞍山實業會の名を以て大石橋地方委員會宛檄電が來た、曰く

昨夜市民大會を開き滿蒙開發に對する滿鐵の使命に基き昭和製鋼所の建設地を鞍山とする仙石總裁の意見は正當なり、速にその實現を要望すと決議す、貴地に於ても朝鮮の運動に鑑み奮起されん事を望む

とあり、伊藤議長は委員と商議の結果大連に於ける全滿大會に出席の上鞍山設置に向つて善處する事になつた

緊縮映畫大會

滿洲公私經濟緊縮委員會大石橋支部主催にて緊縮宣傳並に國民精神作興に資するため左の通り活動寫眞を映寫する事になつた

一、開催日七月二十六日午後七時半
一、場所公會堂
一、入場無料

▲映畫內容
（イ）聖上御巡幸復興の帝都二卷
（ロ）聖上御臨幸復興式典一卷
（ハ）秩父宮殿下御渡滿記念寫眞數卷
（ニ）日出づる國三卷
（ホ）覺めた國民三卷
（ヘ）二つの世界一卷

哈爾賓

刀劍同好會

哈爾賓刀劍同好會では十七日午後八時から公會堂談話室で小畑氏の靜御前と後白河法皇の御衣と題する談話あり、靜が所持してゐた懷劍に關する小矢部博士著靜御前の光了寺保存（現在は實物はない）の小刀に就き說明あり、夜の更けるも知らず十二時散會したが、細木少佐、杉、青木、片岡の各氏列席し布袋主人は貞次ものを其他各氏の名刀出品あり盛會であつた、今後は各月一回こうした會合を催し刀劍の趣味と研究を申合せ、九月の沖、橫川志士の祭典當日には秋期刀劍大會を開催する由で、併せて刀劍招魂祭をも行ひたいと

學生實地練習嘆願

鐵道に關する一切の學術的研究を教育してゐる扶輪育才學習所の學生八十餘名は東鐵に實地練習のため六ケ月間の採用方を申込んだがはねられ郭局長と代表が會見しこれが解決方を嘆願した

濱江雜俎

東鐵中央圖書館の本年度豫算は八九〇五三金留を計上した、昨年は一〇三九二七金留であつたが一四八六四金留の減少である

◇

上半期中の札來諾爾炭鑛の收支計算によると一一八〇〇七金留であつた

東鐵運轉會議

十八日電報課で午前十時からルドウイ局長の列席で汽車、運轉、車務、工務の各課長、技師及び各沿線の區長等出席し運轉會議を開催したが、開會劈頭に局長は東鐵列車の運行に關し現在より以上に商業用鐵道としての機能を發揮するため運轉時間を短縮すること、各課及各區長は區間の運行に對して注意を拂はねばならぬと警告し一場の挨拶あり、午後一時散會したが、會議は引續き十九日午前十時から電報局內にて開催することになつた

アルプス南縱走記（三）

東京　大野恭平

◇野營地の月◇

「東、仙丈、西、駒ヶ嶽、間を流るゝ天龍川」と伊那節に歌はれる仙丈岳はその南に伸した尾根の如きは三峰川の谷に落込むまで地圖の上の直徑ですら四里もあつて、曲線美ゆるやかな、山肌の美しいみやびやかな山だが、さてそれを越へるとなると「仙丈の馬鹿尾根三十八ピーク」と罵倒されるに値する澤山の瘤はしい上り下りを持つて居る。

私達は十一日、仙丈の嶺を越えその馬鹿尾根のピークの一つ荒倉嶽の南二、四〇〇米の邊に野營した。弘法池と呼ぶ水溜のある所だが、弘法大師の威力も昭和の御代までは續かないのか池の水は涸て居た。

人夫と協力してさつかけ小舍を急造し、附近の栂や樅の巨木を伐り卜の山を積んだ。裏から人夫は徹夜してそれを燃やすと言つて居る明日は入梅だ夕方の空には灘鼠色の雲が一杯にはりつめて、やがてポツリ／＼と雨が落ちて來た。雨となれば「もう今夜はヅブ濡れだ」と覺悟したが、幸ひに雨はパラついた丈でやみ、さうしたドンヨリしたお天氣のおかげで風も吹かず、從つて寒い思ひもせずにグッスリ寢込んだ。

それでも夜中には大地から背中に滲み透す冷に眼がさめて見ると人夫はよく寢込んで、焚火は消へかゝつてゐる。見上ると雲は切れて十六夜の月が栂の密林の梢の上を靜かに動いて居る。時計を見ると午前二時だ。（寫眞は仙丈の馬鹿尾根）

貞操價値の崩壞

在東京　山田生

◇男尊女卑の時代は去つた。家長專制を骨子とする家族制度の美點と缺點とは、なほ農村に保たれ居るも、都會の家庭生活は益々個人主義的色彩を濃厚にし、男女平等の思想と共に、男尊女卑の封建的習慣性は稀薄になつた。女子の職業的進出は一層強くこの勢ひを推進し、女に媚て女を增長させる一部上流階級の不仕舖は別問題とし、自己の妻を生活戰線に送り出さねばならぬプロ仲間の中流階級間においても、女の鼻息が荒くなり、それ丈け夫たる男の權威は甚だ乏しくなつて來た。

◇斯くして男尊女卑の封建的習慣性が稀薄になつて來るのは、勿論惡い事ではないが、その反面において、女の貞操觀念が怪しくなつて來たのは、寧ろ驚くべき現象である。東京方面のモダンガールはその標本とも云ふべきもの乎。その結果、裁判所に持ち出させる離婚訴訟の中、女の姦通による男からの離婚訴訟が七八割を占めるといふ有樣で、女から男を相手取つた訴訟が九割程度であつた既往と比較して、これは當にその正反對の現象と言ふべきである。

◇貞操蹂躙による損害賠償や慰藉料請求の訴訟も近來滅切り多くなつた。これも東京方面を中心としての話だが、從來は月に五六件か七八件に過ぎなかつた此の種の訴訟が急に激增して、近來は月平均十五六件、多い時には三十餘件にも及ぶといふ有樣だ。尤もこの種の訴訟も不況の影響を受けて請求額がグン／＼低落する。萬圓程度のものは殆ど無く、千圓から二三千圓が普通の程度であつて、しかも裁判の結果は五六百圓から二三百圓といふところに落付く、貞操價値も物價下落と共に下落したわけだ。女の貞操蹂躙を物質の金錢に交換して貞操々交換價値に變更させたのは、物質文明が精神的文化を克服した一例で、人間の墮落、殊に都人士の倫理觀念が零になつた一の證據である。

◇女子の職業的進出は、生活戰の一般化した時節柄、それがプロ階級である限り、已むを得ざる當然の歸結だが、之がために賣春婦以外にまでも貞操賣買の取引線が擴大したのは、嘆かはしい社會相だ。プロ階級に屬する有夫の婦人がブル階級の鼻下長的男子に操を賣つてその富を搾取する、それも一種變法的な階級鬪爭上の戰術かも知れないが、要するに貞操觀念の破滅を意味する以外の何物でもあり得ない。夫婦談合の上、相手の男の鼻下を測量して、妻の肉體の一部をその男に捧げしめ、然る後、夫が出て來て、種々に恐喝して金を取る、といふ彼の美人局なるものが今なほ有るかどうかは知らないが、兎に角、貞操の價値は物價以上の大下落だ。

◇女子にのみ貞操を强るのは惡い。それは男尊女卑の封建的習慣性から生れた惡思想で、大審院の判例を待つ迄もなく、男女平等の近代的進步思想から云つて、女子に貞操の必要があれば、男子もまた貞操を守る必要がある。女からの離婚訴訟の內には、妻に貞操を守らせて、夫は仇し女に狂ひ廻る即ち妻にのみ貞操を强て夫は不貞操の限りを盡すからといふ種類のものもあるが、前記の如く近來滅切り殖えた男からの離婚訴訟の多くは、女の姦通、即ち妻たる女子の不貞腐れが重なる原因となつて居るから、女子の貞操觀念がいかに潮れ行くか、以てその一斑を知るべきであらう。

◇守るべきものを守らず、守るべからざるものを覆り、無形的に尊き價値を有する貞操を有形的の金錢に代へて取引する、貞操價値の崩壞でなくて何であらう。いかに生活難のためとは云へ、この貞操價値の崩壞は、人間の墮落を意味し、物質文明に克服された都人士の無氣力を示したもので、トップを切り尖端を行くに纖敏な都人士も、その無氣力さは全くお話にならない。貞操價値の崩壞は實に都人士の無氣力より生じた倫理的破滅の一端に外ならぬ。

五湖嘴行

瓦房店支局　板橋生

（一）

七月十二日新任瓦房店地方事務所長小野寺清雄氏、警察署長佐藤雅助氏の兩氏復縣五湖嘴方面視察の途に就く事となり、之に參加せる者營口より領事館警察署長林源之助、下田警部補の兩氏、普蘭店より民政支署長池出公幹、警務課長牧田太猪藏の兩氏、之に田村通譯生、蓑沼大連新聞支局長、瓦房店驛長石井忠一氏、公司側より社長臨井寬一氏、之に

◇…筆者を加へて一行十一名、自動車一臺を買切りて出發する事となつた。梅雨の天候は晴雲極まりなく幾度か一行をして上空を眺めさした、併し天氣の神樣と稱する小野寺所長、晴雨計の持主たる佐藤署長降つて居ても降らぬと頑張る林警口や降つたら徒步すると云ふ池田、牧田の普蘭店組ありて與端丈はなか／＼强いのでそれに釣込まれ雨模樣を氣遣ひながらも車上の人となつた、午前十時車輪一轉瓦房店を後にして出發した、自動車は早くも復州街道に出て轉じて五湖嘴街道に入る。雨降れば河流となり降らねば道路と云ふ樣な所を

◇…一直線に走つた、白楊やポプラー樹が兩側に生ひ茂つて恰度「トンネル」の中を走るやうな氣がする、間もなく廣濶なる場面が展開する高粱の波が打つて居る、瓜や茄子や西瓜の花も咲いて居る、貴公子然たる小野寺所長左右を顧みて「瓜や茄子びの花盛り」とやる、句になつて居ないと抗議が出る、十七文字に足らない「見渡せば」の五字を上句に追加すればよいと云ふ向もある「見渡せば瓜や茄子の花盛り」？豪放磊落氣は一世を蓋ふの概ある林營口署長何思ひけん「梅雨晴れや高粱畑に笠光る」とやつた、一行は驚いた、ビールの栓を拔く外にこんな句もやるのかしらと一同首を傾ける

◇…何時も批評の側に立つて居る佐藤署長も之は名句だと折紙を付ける、林君の鼻息に高き事瓦房富士の如し、林君の名句に次で我も／＼と頭をひねるか一向に出ない、自動車は谷に下り丘に上り動搖甚だしい今三分の一の道程にあるらしい、筆者は朝食を濟まして居たが早空腹を覺へた爲めに元氣を喪失し兎もすると睡眠を誘へる「トロリ」とする內に騷々しい音がする、自動車が水中に飛込んだのだ、梅雨の天候で場所に依りては可なり增水して居る、其處を無雜作に走る、二三回は成功したが遂に車輪を泥中に沒した

◇…十一人の運命は正に風前の燈火だ、危急を見越した林營口署長代りの資格で「一同下車」の命を下したので全員悉く下車したが、獨り筆者は空腹の爲め如何ともする事が出來ない、命令に背き車と運命を共にするより外なかつた「空腹も今となつては堪へられず」全員の後押で車體は漸く浮き上つた、暫くは徒步であつた（寫眞は林家屯の晝食）

探偵小説　女妖（149）

江戸川亂步作　横溝正史　伊藤幾久造畫

疑問の家（三）

千家鷹鷲と乾分の大場がひそひそと密談を交はしてゐる時、その邸の表の方を、うろ／＼と步き廻つてゐる男があつた、なるべく人眼につかぬ樣に用心し乍ら、物陰に身を偲ばせては凝つと邸の方を眺めてゐる。汚れた縞いボロ／＼の洋服に同じ油じみた帽子を目深に被り、上眼使ひに物を見る樣子はあまり感じのいいものとはいはれない。通りがゝりの男の一人は、その姿を見ると、氣味惡げにぺつと唾を吐いて、急ぎ足に行き過ぎた。その後姿を見送り乍ら、男はつと物陰を離れると、何氣なく步き出した。そしてぐるりと邸の外を一周するとブラ／＼と賑やかな方へ步いて行く。然し、ものの十分もすると再びのろ／＼と歸つて來て、ポケットから煙草を取出すとマッチを探り出した。そして風をよけるやうな風をし乍ら、つと邸の塀にピッタリと身をよせた。パリーでもこの邊は一番閑靜な場所で時刻によると、犬の子一匹通らない事さへある。男はきよろ／＼と素早く邊りを見廻したが、あつと思ふ間に早塀を乘り越えて、邸の中に忍びこんでゐた。牛松である。この男こそ餘人ならぬお粂の情夫牛松だつた——彼がどうしてこの鷹鷲の隱れ家を知つたのか、又何んのために忍び込まうとするのか——それは他でもない。

春日花子だの成瀨子爵と一緒に家を持つてゐた彼は、或日歸つてみると、花子とお粂の姿が見へなくなつてゐる。折から歸つた子爵も何も知らぬといふ。お粂の父庄司三平も、生憎その日はお晝から留守にしてゐたので彼等が何處へ出かけたのか少しも知らなかつた。待つて見たが二人は到頭歸へらなかつた。その翌る日も、そしてその次の日も——。故意に出て行く譯はない。誘拐されたのだらうか——誘拐といふ事を思ひつくと二人は直ちに千家鷹鷲の事を思ひ出した。又もや彼の毒牙が伸びて來たのではなからうか。そして又深くも二人の女を奪ひ去つたのではなからうか。そこで子爵と牛松は手別けして二人の行方を搜索しなければならなくなつた。

「十中の八九迄はあの男だ。あの男の他に花子をつれ出す人間はないぢやないか」

子爵は蒼白い頰に絶望の色を浮べ乍ら呻つた。

「然しお粂は——？お粂は何も關係はないぢやありませんか」

「いや多分道づれに連て行かれてしまつたに違ひない。あゝ今度あの男の手に連れ去られたとしたら、花子は一體どうなるのだらう」

牛松と子爵は深い吐息をつき乍ら顏を見合した。二人は一番惡い場合を思ひ浮べて各々ぞつとした

「探しませう——こんな事を言つても始まりません。二人、手分して探し出さうではありませんか」

「探すと言つて、鷹鷲の奴の居所がわからないのに、どうして探し出す事が出來るのだ」

「今はそんな事を言つてゐる場合ではありません。だからその千家鷹鷲を探し出すのです」

かうして二人は常もなく、毎日毎日パリーの市中を步き廻つてみた。それは可成り危險な事に違ひなかつた。彼自身が警察から搜索されてゐる人間である。それが反對に人を探さうと言ふのだから、甚だ危險な仕事だつた。

然し、牛松は、今日到頭その手がかりを摑む事が出來たのだ。ある一軒の煙草屋の店先を通りかゝつた時、中から出て來た男を見て、彼はハッとした。かねて見知り越しの大場だつた。牛松がどうして大場を知つてゐたか、それはわけがあるのだ。

家庭欄

キヤンプの仕方（6）
キヤンプと天幕

大連少年團主事　阿左見福馬

テントの選定

キ　ヤムプを大別すれば固定キヤムプと、移動キヤムプの二種になる、固定キヤムプは知つての通り一定の場所に數日乃至數週間天幕生活を營むものであつて、移動キヤムプは一日一日と移り歩いて野營するもので一名ハイキングと云はれてゐる。そこで天幕であるが、之はキヤムプする目的によつて即ち、行先が山岳であるか原野か、海濱か森林かによつて種々の天幕（我が陸軍式の綴合天幕や、米國陸軍式圓錐形天幕や、屋根形天幕等）が用ひられるが

滿　洲では海濱などでバラックの延長として屋形式天幕の大きなものが多く使はれてゐるやうに思ふ。之は固定キヤムプ用であつて、運搬、構築に非常に手數がかゝるので、最近キヤムパーの間では屋根形天幕の輕便なものが流行してゐる。之も壁布のあるなしにより勿論價格も異るが、十人用（間口十尺五寸、奧行十尺高さ六尺五寸、重量二貫二百匁）四十六圓位の東京丸ビル東京シートの四二型や、少年團日本聯盟用品部の加型などは今の處比較的よいものとされてゐる

至　極簡易のハイク用（一人寢）として私が英國のスカウト本部から貰つて來たものは十五圓位の品であるが評判がよくて、之を見本として大連工業會社などで作つた者もある。尙天幕の地質も帆木綿（普通十オンスの帆布）が固定キヤムプには使はれてゐるが我々キヤムパー間にはエメラルドグリーンの化學防水布が賞用されてゐる

―少年詩―　機關士のうた

五十嵐稔

火燄り迸らせ
躍り立ちながら
大地蹴つて
我車よ、
はしれ！
火照る半身を
乘り出せば
唯見る――
限りない鐵路と
白い月の光りと。
あと――哩！
口笛高く鳴らせば
勇み立つ我が車は
まつしぐらに
闇を衝いて……。

趣味漫談　植物の分泌物と水揚

大連華道學院　三好洞石

◇…挿花　材料を永く保たしめる爲めに之が水揚法には總て細心の注意を拂はなければ折角の努力も水泡に歸する場合が多い、今此處に述べんとする事柄も其の最も重要な點であるから能く心得て置かねばならぬ、總て挿花材料としたものは、植物の生存上唯一の機關であるところの根を切り離して置いて、それに變態的生活を營ましめて、保たしめようとするのであるから最も無理な注文で如何に

◇…植物　には部分的の生育力を有して居るとは言へ決して完全に働きの出來ないのは言を俟たない、僅かな事にも種々な妨害が相伴ふて些細な事柄からでも直ちに故障を起すことは明白である。で是を妨げる最も主な原因は何であるかと言ふに植物自體からの分泌物から起るいろ〳〵の作用であることを知らねばならぬ。植物はその種類によつて色々の有機質を含んで居る、例へば松、檜、桃等は樹脂を、蓮、桔梗、猩々木等は

◇…乳汁　を有し、燕子花、菖蒲、水仙、玉簪等は粘液を含んで居る如きは周知のことであるが其の他の植物でも殆ど是を有して居る、そして植物の自生して居るものが傷いた場合是等の乳汁、粘液、樹脂等の有機物を分泌してその傷口に凝固して黴菌其他の害物の浸入を防ぎ、恰も人體の傷いた場合、血液が切口に凝固して血盞となるやうな働きをもなすのであるか、挿花材料として切り取つた時にも其の切り口から是等の物を分泌し夫が空氣に觸れると凝固するのである。

◇…故に　是が全く導管を塞ぎ吸水は阻止されて水揚には甚だしい妨害となりそれのみでなく水中では幾分是が溶解して變天狀を呈して來るが、是等のものは最も腐敗し易いのである、殊に此頃の樣な夏季に在りては花瓶の水が最も早く腐敗し翌日臭氣を放つやうになるのは全く此の爲めであつて其の結果は微細なる無數の下等藻を生じ、且つ無數の草履虫やコルチッピのやうな毛を有した虫や其の他有害黴菌が發生し遂には植物の切口及び皮部等を

◇…腐敗　枯死せしめてしまふ。殊に斯く切り取られた枝は其の切つた瞬間に於て既に細胞の幾分は死んで居るのであるから至つて是等に侵され易く、而して此の水中に入つて居る部分が腐敗したならば最早少しも吸水力は無いのである、こゝに於て此の切り口を燒き若しくは煮るなど色々な手段を施して斯樣な害を防ぐやうに心掛けねばならぬのである。

YMCAのキヤンプ　同會少年部主催で

敷島町基督教青年會少年部では毎年夏季に石槽屯の海岸に於てキヤンプ生活を行つて居るが本年も來る八月六日より二週間の豫定で例年の如く少年キヤンプ生活を營むさうである、同會のキヤンプは普通のキヤンプとは異り半永久的なサンマーハウスを使用するバンガローキヤンプに屬するもので便所、浴場は共に獨立した建物を用ひ如何なる風雨に襲はれるも些かも不安を感ずることのない理想的なキヤンプである、殊に石槽屯の海水は肌寒いまでに滑く澄み海岸は白砂美しく自然の惠み豐なキヤンプ地である、會費は食料費として二週間十二圓、一週間六圓、三日間二圓七十錢、希望者は七月三十一までに青年會事務所（電五〇六〇）まで申込まれたいと、尙募集人員は三十名限りで指導者には同會の教育部及體育部の主事並びに經驗ある大學生三名が之に當ると

ライオンも恐れる　獰猛な水牛

▼▼…印度支那方面へ猛獸狩の遠征に出かけたヘルマンクローン氏等の一行は珍しい水牛を見事に射止めた、水牛はヨーロッパにも居るが北アメリカ、アフリカ、印度に比較的多く住んで居る、しかし年々其の數が少くなつて現今ではよほど珍しいものとされてゐる、

▼▼…この動物は高さが六尺長さが八尺體量は平均百五六十貫もあらうといふ素晴らしく圖體の大きな猛獸で見事な二本の角は此の動物の唯一の武器である、敵が近づくとこの大きな角で横つ腹をグサリと突きさし、空にほり上げて角とヒヅメで八裂きにしやうといふ猛烈な奴だから、これにはライオンや虎など辟易して容易に寄つかない

▼▼…こんな恐ろしい猛獸でも食ふものは牛や馬などと同じやうな草で肉食はしない水陸兩棲の動物だから此の頃のやうに暑いと河馬のやうに水の中にもぐり鼻の先だけ出して蠅のむらかるのを避ける【寫眞はヘルマンクローン氏と射たふした水牛】

新刊教育兒童書紹介

▲新童話（八月號）海と太陽（濱野二郎）三日月（丘光）足を痛めた子供（政本勇）育つてゆくもの（西口夏樹）國王と少女（百森延男）（十五錢大連市聖德街新童話社）

▲教育時論（七月十五日號）價値の創造、現代獨乙哲學と新教育學校騷動と思想問題、國際聯盟教育とエス語、學校給食物語、全の欲しい校長其の他（十八錢東京麴町區三番町開發社）

聚落場めぐり

健康な女性の　朗らかな饒舌を　滿載して
チヤターリングエキスプレスは　走る、走る……

▽……△ 海濱聚落を尋ねて、夏家河子の神明、彌生部落を訪れるべく大連驛午前九時四十五分の臨時列車に乘込む、乘客は神明高女生とその列車に便乘させて貰つたらしい小學生徒の一團丈けだ。

▽夏の△△ 鋭い陽差しが射るやうに流れ込む、三等車は元氣に溢れした女學生で一ぱいである。ワンピース、セーラーの夏の輕やかな裝ひに身も心も朗かになつたうら若い彼女等のさても好く喋る事よ！

▽……△ 狹い座席の此處、彼處に陣取つた先生達を圍繞して彼女等のお饒舌りは續く

―ねえ先生、水泳大會は何時？

―最後の廿五日サ

―わたし、今年は三哩大丈夫よ

―嘘！Yさんは昨日もウンと鹽水を飲んでベソを掻いたぢやないの？

―アラ〳〵Kさんの意地悪、あんたこそお魚を釣るのだつてゴカイを釣り上げたぢやないの

―菱谷インドアー・ベースボールとても上手になつたのよ、先生今日のお晝休みに先生チームと試合しませうか

―駄目、Aさんはバットの振り方が遲いんだもの、此間も御不淨の屋根へ叩き付けたぢやないの

―でもいゝわねえ、先生、ホラMさんてばD先生のお尻へヒットして可笑しかつたわよ

等、等、々々……窮屈な學課から解放され

▽喧擾△△ と焦躁の俗塵を後に。七月の太陽が燃えるレールを車輪が流れ、彼女等の饒舌が其の軌條に沿ふ樣に凡そ淀みなく滑る。

▽……△ ―此の臨時列車は彼女等を滿載した時丈は東海道特急列車の向ふを張つて、特にチヤタリング・エキスプレス（お喋り列車）と命名されねばならない。だが張り切つた四肢と濃褐色に陽燒けした體軀の一九三〇年型女學生の饒舌は邪氣が無く、齒切れ良く、聽く耳に爽かな快調を齎す

―一年生はひよッ子、二年生は一寸上級生になつた氣で謂ふおすましが手傳つて、一等良く饒舌るのが三年生です

▽卒業△△ 間際の四、五年生は流石にほのかな母性への自覺からかつゝましやかにおとなしい

▽……△ N先生は女學生の饒舌に就いてコンなアフオリズム的觀方を持つて居る、海濱聚落が始まつて以來約一週間其の間雨天に禍されて海水浴行事はタッタ三日間に過ぎなかつたと云ふけれども彼女等の腕の、顏の、背の何んと素晴らしく健康さうな事よ、ショート・カットされた

▽輕裝△△ の肩からニヨッキリ突ン出た腕はグラウンドの砂にまみれた殊勳のバットの蹤だ艶々しいお河童頭の後から覗く頸の皮膚は良く練り上げたチヨコレート、だが流石に延び切つた脚はロング・ストッキングに包まれて、素敵狂なメリケン娘の露骨さはない

▽……△ 海が彼女等に齎した素晴らしい贈り物は自然だ、朗かなお饒舌りは現在の羈絆と拘束をかなぐり捨て、奔放と自由に憑まれた内在性の愛くるしい發露なんだ

▽……△ ―先生暑いでせう、わたしあふいで上げるわ

おしやべりに聽き飽きて新聞紙を擴げたN先生の

▽頭頂△△ は熟れ切つたメロンの樣に潤つすらと禿て居る、彼女は小型扇子で綺麗に分けられた頭髮に七月の微風を送つた。

▽……△ 先生とお友達附合ひをする勇敢で無邪氣で、健康な彼女達を滿載した列車は高粱の若苗やそよぐ畑を截斷し アカシヤの茂みに圍まれた小驛に着いた、夏家河子驛である【寫眞は女學生達が入水前に於けるウオーミングアップ】

田中市長處女球を投じ 滿洲豫選の火蓋を切る
全滿ファンの人氣を集めて 實業球場の大盛觀

待ちに待たれた全國中等學校優勝大會本社主催全滿豫選會は廿三日中央公園實業球場で擧行された、此の日夜來の雨は霽れたりと雖も兎角曇り勝ちの空は容易に陽光を見せず、試合の決行を氣遣はれたが、本社にては正午係員を督勵して内野一面にガソリンを燃燒してグラウンドの乾燥に努めた結果試合擧行の準備は全く整ひ開始豫定より三時間遲れたが午後三時三十分より入場式に移つた、今日の決戰を鶴首して待つてゐた熱心なファンは朝來の曇天をも物ともせず早くも正午すぎより續々と球場に詰めかけ試合開始前既にスタンドを埋めつくすの盛觀である、しかも三時をすぎる頃より曇り空は次第に晴れあたかも今日の日を祝福するが如く絶好の野球日和となつた。定刻三時三十分スタンドからの萬雷の如き拍手に迎へられて參加五チームは榮ある優勝旗を手にした昨年の優勝校青島中學軍を先頭に大連商、安東中學、撫順中學、奉天中學の順序にて一壘側より入場本社の努力で完全に準備のなつた白線も鮮かな球場のダイヤモンドを一周して一同ホーム前に整列練習で眞黒になつた顏を一層に緊張させた、青中主將平野選手より優勝旗は本社佐藤編輯局長に返還され佐藤局長は熱のこもつた口調で選手の健鬪を祈つて開會の挨拶を述べてこゝに莊重なる入場式返還式を終了した、撫中、奉中、青中の三校は退場し第一試合を承る大連商業は一壘側、安東中學は三壘側ベンチに陣取り直ちに輕いウオーミングアップに移つた、先づ大連商業からシートノックを開始、兩軍の繰出す美技に觀衆は戰前から惜氣もなく盛に拍手を送る兩軍の守備練習も終り兩軍ホーム前に挨拶を交し午後四時十分安藤球審の先導にて田中大連市長はプレートに進みプレーボールの聲と共に眞白の處女球は見事に田中市長の手より大商捕手の手に收められた、かくて緊張した始球式も終り愈々同十五分安藤兒(球)岩瀨(壘)兩氏の審判安中の先攻にて異常の緊張裡に戰ひの火蓋を切つた

兩軍メンバー

安中
門原藤枝田淵橋野
桑松中齋藤牛谷高上
846135297

大商
永藤部兒藤田石本口
德因堀梅工原白梅谷
872619543

11―1
慶應の堅陣に 滿倶、齒立たず
降雨の爲コールドゲーム 廿二日の第一回戰

慶應大學對滿倶第一回戰は二十二日午後四時十分より滿倶球場にて上原(球)藤木下(壘)三氏審判の下に滿倶先攻で開始したが八回裏慶應攻擊を開始した頃より降雨あり遂に十一對一で滿倶慘敗す(時は六時)

滿倶の投手受難

滿倶主戰投手山口は對法政戰直後病を得て滿鐵醫院に入院した、同投手たき滿倶は今日の試合において投手難なることを完全に暴露して居ない兒玉投手の奮鬪を遂に促さなければならない悲慘な結果になつた同投手の勤務先なる大汽は業務の關係上同選手の試合出場を禁止し居るといふことを聞く、山口病を得、投手難の危機に際し、萬難を排して立つた兒玉投手の心情及びこれを起用した中澤監督の心情を考へる時例へ同投手の起用が不結果に了らうとも滿腔の感謝と同情を拂ふことを惜まない

堂々たる慶應

慶軍この日のメンバーは實に堂々たるものである、勝敗の數は戰前すでに決定的のものであつてたゞ都市對抗出場前の滿倶が奈邊までにこの強チーム慶應を追ひ詰めるかが僅に殘された興味の中心であつた。全回數を通じて僅に五回敵失に依つて出でたる疋田選手が上條選手の犧バントに送られ捕逸に還り全回上條高須兩選手の二安打を得たるのみで宮武投手の大職なる投球振りに全く手も足も出でずその上慶軍五七回無得を除く外毎回得點して前述の興味の中心も四回を終るときすでに斷念しなければならなかつた

滿倶の内野不振

大體打擊力なく救援投手の戸倉は全く制球力なく兒玉にプレートを讓るまでの總投球四十三球中僅にストライク五球といふ不成績である斯の如き投手不振に内野の不振が附加して大敗を招いた上條遊擊の失二吉野三壘の三は全部得點に關係して居る、芥田高須綠川の外野手の好守に對し鈴田時任上條吉野の内野手の奮起を願ふや切なりである

滿倶萎縮氣味

第一回堀の二盜は鈴田二壘のスタート遲きに寄るものでその後の各走者に二盜が許せるものはこゝに起因をおくものである、第二回山下の一壘ゴロ寄り内野單打を疋田一壘横走よくとめたが大橋投手一壘に入ることを忘れて生かし又第六回川瀨三壘寄、村尾二壘寄の時吉野三壘に居らざるに戸倉牽制球を送る而も高投して二走者を還らすなどその他等々滿倶の各ナインが不振は山口投手不出場の精神的打擊も存するが「強敵慶應」なる先入觀念に全くプレーが萎縮せるの感があつた

慶應の眞劍ぶり

井川、山下、宮武各選手の打法、川瀨、楠見選手等のベース、ランニング各ナインが試合に對する眞劍さ及び緊張さは見逃し能はざる點ではなからうか

	一	二	三	四	五	六	七	計
滿倶得點	0	0	0	0	1	0	0	1
慶應得點	1	5	2	0	1	2	0	11

試合經過

▲第一回　滿倶吉野三振綠川の投ゴロ野手一度彈いて更に一壘に暴投し綠川二進したが芥田の二直で併殺へ慶應楠見左飛堀四球に出で二盜し捕手の惡送に一擧三進井川の遊ゴロ野手三壘に投げたがセーフ井川二盜山下四球で一死滿壘宮武中堅深く大犧飛して堀生還井川山下二三進水原二振滿倶一點で喰止む

▲第二回　滿倶片岡右飛疋田上條共に遊飛へ慶應川瀨投手足下を拔く單打岡田右飛村尾の三ゴロ野手ファンブルし更に二壘に暴投したゝめ川瀨三進楠見一二間をゴロで拔き川瀨生還村尾一擧三進楠見二盜の時村尾本盜を企て上條高投して村尾樂に生還楠見三進堀中犧飛して楠見生還井川投手足下を拔き捕手逸球に一擧三進山下の一觸内野單打となり井川も生還宮武四球で山下二進水原三遊間單打して山下生還宮武二進川瀨中飛で漸く止み慶應先づ五點

▲第三回　滿倶高須三振鈴田遊觸後大橋三觸トンネルに出たが吉野遊觸へ慶應岡田投觸村尾の三觸野手高投して村尾一擧二進楠見中前單打し村尾三進村尾楠見の重盜成り村尾生還楠見二進其の時捕手のファンブルに楠見素早く三盜し堀の遊觸に生還井川左越三壘打したが山下一觸

▲第四回　滿倶綠川右飛芥田片岡共に投觸へ慶應(滿倶大橋退き戸倉投手となる)宮武遊觸失水原一飛川瀨四球で宮武二進岡田二觸の球に川瀨觸れて二死となり村尾の中飛野手前走好捕

▲第五回　滿倶疋田左飛失で二進し上條の二觸に三進投手暴投して疋田生還高須遊擊右に單打したが鈴田三振戸倉右飛へ慶應楠見四球堀の中飛野手好捕井川投觸で楠見二進山下四球宮武右中間單打し楠見生還山下三進水原一直

▲第六回　滿倶(慶應宮武投手宮武一壘山下右翼となり堀退く)吉野一觸綠川死球芥田右飛片岡中飛へ慶應川瀨四球岡田中飛村尾三遊間單打して川瀨二進し三壘の留守に乘じて川瀨素早く三盜村尾もその間に二盜投手三壘に牽制高投して川瀨村尾生還楠見遊觸堀二飛

▲第七回　滿倶疋田中飛後上條右前テキサス單打したが高須右飛PH井上(鈴田に代る)立つた時上條二盜に死ぬへ慶應(戸倉鈴田吉野退き兒玉投手時任二壘古味三壘となる)井川山下共に三振後宮武右中間直球二壘打し投手暴投に三進したが水原右飛古味二觸へ慶應(降雨漸く激しくなる)川瀨遊擊右單打し岡田立つたが降雨愈々強く遂に七回にてドロンゲームを宣せらる

全滿中等學校豫選大會

回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
安中	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2
大商	0	0	2	0	0	1	2	1	A	6A

(滿倶)

	打數	得點	安打	犧打	盜壘	三振	四球	刺殺	補殺	過失
5 吉野	3	0	0	0	0	1	0	0	0	3
5 古味	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9 綠川	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0
8 芥田	3	0	0	0	0	0	0	6	0	0
2 片岡	3	0	0	0	0	0	0	3	0	1
3 疋田	3	1	0	0	0	0	0	7	0	0
6 上條	2	0	1	1	0	0	0	0	2	2
7 高須	3	0	1	0	0	1	0	1	0	0
4 鈴田	2	0	0	0	0	1	0	2	0	0
4 時任	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1 大橋	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1
1 戸倉	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1 兒玉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	23	1	2	1	0	3	0	21	3	7

(慶應)

	打數	得點	安打	犧打	盜壘	三振	四球	刺殺	補殺	過失
8 楠見	4	3	2	0	3	0	1	2	0	0
9 堀越	3	1	0	1	0	0	1	3	0	0
1 塚越	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7 井川	5	1	2	0	2	1	0	0	0	1
39 山下	3	1	1	0	0	1	2	6	0	0
13 宮武	3	0	2	1	0	0	1	2	2	1
5 水原	5	0	1	0	0	1	0	0	0	1
4 川瀨	2	2	1	0	1	0	2	2	1	1
2 岡田	4	0	0	0	0	0	0	2	1	1
6 村尾	4	3	1	0	1	0	0	4	2	0
計	33	11	10	2	7	3	7	21	6	5

三壘打―井川　二壘打―宮武　併殺―堀1(川瀨村尾)暴投―兒玉1　死球―塚越1(綠川)與へし安打―宮武(五回)1塚越(二回)1大橋(三回)7戸倉(三回)2兒玉(一回)1逸球―岡田1片岡1　時間―一時五十分

電燈料金引下げから 公營化運動に移る
全國の各府縣町村に波及し 爭議は愈よ深刻化

【東京特電二十三日發】電燈料金値下げ運動に伴ふ爭議は全國的に擴がりつゝあるが、殊に爭議の甚だしいのは財界の不況を最も深刻に蒙つて居る地方農村に多く其現狀も料金不納同盟、廢燈、消燈、減燈同盟など團體的運動に移り會社側も之に對抗して斷線、消燈など以て爭ひて居る所々紛々觀るべき狀態になつて居る、殊に注目すべきは料金の値下げ要求の聽かれぬところから之に對抗する爲めに市町村自ら電氣事業を營まんとする所謂電氣事業公營化運動が盛になつて來たことである、例へば最近最も猛烈な爭議を開始して居る別府、大分、宮崎の三市、川口町などが孰れも値下げ運動から一轉して公營問題に移り、青森縣の縣營を始め、和歌山市、岐阜市、長野縣飯田町、其他愛知縣でも公營を目論で居るが昭和三年末の公營電氣事業は一〇五(縣營四、市營一四、町村組合營九、町營一〇、村營六二)で投下資本額六億一千四百七十二萬三千圓に達し相當な勢力と爲つて居ることは注目されて居る

訪日イタリー機 要塞地帶を翔ぶ
釜山上空通過の際

【京城廿二日發電通】今朝六時京城を出發した訪日イタリー機フラシシス・ロンバルジーは九時半頃釜山上空通過の際天候の加減か故意か指定コースを犯して要塞地帶を飛行した事判明、朝鮮憲兵隊及び遞信局はこれを重大視し直ちに東京憲兵隊に宛て實情調査方を移牒した

九州地方を荒した 暴風雨被害しらべ

死者　八二名　行方不明　七五名
負傷　四二五名　住家全潰　七二〇〇戸

【東京二十二日發電通】九州地方暴風雨被害につき内務省警保局の調査せる處に依れば死者八十二名負傷者四百二十五名、行方不明七十五名、住家全潰七千二百九十二棟、非住家全潰九千六百十八棟、非住家半潰、千九百四十二棟、船舶沈沒流失破損一千八百三隻、その他家屋燒失十五である、右は今朝十時迄の報告を基礎とするもので調査不明の個所あり相當被害は大きい見込

煤鐵公司の熔鑛爐 一基遂に火を落す
日支從業員の淘汰は免かれず ここにも不景氣の嵐

【本溪湖特電二十二日發】不景氣のため煤鐵公司における銑鐵のストックは現在約二萬一千噸にして今後も銑鐵需要は免れざるを見越し遂に廿二日午前二時を期し熔鑛爐一基の火を落し、今後當分一基だけの作業を行ふ事となつた、從つて南坎鐵山の採鑛作業も縮小しこれに伴ふ直接日支從業員の剩員整理淘汰を免れざるべきも、目下の處は平靜である

夏の草花―ベゴニア咲く―

御内帑金 御下賜

【東京廿二日發電通】天皇、皇后兩陛下は九州地方暴風雨の慘狀を聞し召され十八日附を以て左の如く御救恤金御下賜あらせられた

福岡縣一萬三千圓、長崎縣五千圓、鹿兒島縣七千圓、佐賀縣二千五百圓、熊本縣二千圓

秩父宮殿下 御西下

【東京二十二日發電通】秩父宮殿下には陸軍大學生として太刀洗飛行第四聯隊に三週間御入隊特別御勤務遊されるため二十二日午後九時四十五分東京驛發列車で妃殿下御同伴御西下あらせられた

訪日伊國機 廣島て燃料補給

【廣島二十二日發電通】今朝京城を發したイタリー訪日機は午後零時半廣島東練兵場に燃料補給の上所澤に向ふが大阪に一應着陸するやも知れぬと

横須賀に到着

【横須賀廿二日發電通】訪日イタリー機は午後七時廿五分横須賀航空隊飛行場に到着した

英佛連絡機墜落 乘客四名慘死す

【チヤタム(英國ケント州)二十一日發】クロイドン、ルトゥケ間の英佛連絡旅客飛行機はチヤタム附近に墜落し乘組員二名、乘客四名即死した、慘死者中に英國皇太子殿下の親友エドナム子爵夫人、前北部アイルランド上院議員デュファリン、アンド、アヴァ公、前陸軍次官の息サー・エドワード・ウォード氏等有名な貴族がゐる

全鮮水害
死者四百七十二名に上る

【京城二十三日發電通】二十三日午前十時迄に判明せる全鮮の暴風水害概況左の如し(警務局調査)死者四百七十二名、行方不明一千六百十一名、負傷者六百二十一名、家屋流失二千四百六十五戸、家屋倒潰七千七百六戸、同浸水四萬五百八十一戸、畑流失四千七百七十一町歩、同埋沒七千八百六十八町歩

カイロに暴動

【カイロ二十一日發電通】今朝當地に暴徒蜂起し商店の硝子戸、電車等を破壞し警官隊は發砲して對抗し死者數名を出した、軍隊は直ちに瓦斯、水道、停車等主要個所警備の配置に就いた

スエズにも暴動

【カイロ二十二日發電通】スエズにもエジプト獨立運動の暴動起りカイロにある軍隊は警官援助のため急行した

農家各位に急告

千葉縣で評判の吾妻村が副業で年收百萬圓の繁昌村になる迄の物語キング八月號にあり、キット成功する農業繁栄の秘訣ですゼヒ御覽

埠頭ビルの 危い天井
頻々として落る

昨年の出火以來修繕を加へた埠頭ビルの廊下の天井がボロボロ崩れ落ち甚だ危險視されその都度當局者の注意を促したところであるが廿二日午前十時頃また三階廊下の約一坪程落下し通行中の從業員が危ふくその下敷にならんとしたが、最近の降雨により濕氣を帶びて來たためであると

母校一中に 優勝盃寄贈
早大白楊會が

大連第一中學校卒業生にして目下早稻田大學に在學する人々に依つて組織された早大白楊會では母校たる一中に對しスポーツ優勝盃を寄贈したので廿三日午後二時同校講堂に於て同校職員生徒列席の上盛大な贈呈式が擧行された

汎太平洋佛教 青年大會

【ホノルル二十一日發電通】第一回汎太平洋佛教青年大會は三十一日午前開會、開會式にはハワイ總督ジュット氏も參列した

内地夏季講習 出席者

本夏東京、奈良、廣島各高師その他にて開設の初中等學校夏季講習會に出席する、州内及び滿鐵沿線各學校幼稚園職員は左記二十四氏で何れも八月上旬赴任の豫定

旅順一中生田教諭(東京高師修身公民科)奉天中學阿南講師(同實業及作業)大連一中菅川教諭(同物理、化學)旅順二中翁里教諭(廣島高師教育哲學)奉天中學高橋教諭(同上)教專附屬久原訓導(同修身)鞍山小學木村訓導(同上)撫順高女河越教諭(東京女高師裁縫)大連南山麓峯、同沙河口小山、奉天、戰鳥居中、大連永安臺百地、新旅順乾、大石橋屋喜、鐵嶺曾田、公主嶺峰の各幼稚園保姆(同幼稚園科)長春高女小原教諭(奈良女高師家事)公主嶺大谷訓導(同教育、國語)大連彌生高女今西教諭(同家事)大連商工尾越教諭、東京外語英語)大連商業堀教諭、同商工田中教諭(彦根高商)奉天高女平田教諭(佐賀高、歷史)奉天中學上野教諭(第八高、數學)

大蓮寺修法

七月廿六日八月十日の兩日市内春日町大蓮寺で頭痛平癒諸病平癒の加持修法を行ふと

海の唄（二）

仲木貞一作　一木辞画

佰爵邸（一）

牛込砂土原町の寂しい坂の上を二人の男が歩いてゆく。

一人は、でつぷりと肥つた五十許りの男で、一人はまだ二十前後かと想はれる繊弱な綺麗な青年である。

「一旦恁うして厄介に、なりに出かけるからには、どうか、辛抱して出來る丈長く居るやうにして下さいよ」

「えゝ、それはもう……」

でつぷりとした男が、いくらか云ひきかすといふやうな口調でかう云ふと、綺麗な青年は、たゞ慎ましやかに返辞をした。

冷たい風が、坂の下から吹き上げてきて、默しがちに歩いてゆく二人の頰には、をりをり霧らしいものも降りかゝつた。

「……雨かな……」

と、男は重たく被ひかぶさつたやうな薄黒色の空を眺めやつて

「どうも、秋の空つて、全くアテにならないからね……女の心みたやうで……」

「………」

青年は默つて、チラと左樣云つた男の方を視たが、何故か其の面は、一層蒼白く、暗く翳つたやうにさへ見られた。

やがて、二人は大きな邸宅の前に出た。

「此邸ですよ……さあ……」

男は恁う云つて、ちよつと襟元を直すやうな恰好をすると、靜かに、高い鐵の門を這入つた。

・青年も思はず、威儀を正すといつたやうな氣持のうちに、その門柱の標札を眺めてから男の背後に蹤つた。

門の柱には、伯爵、由井好治といふ標札が嚴めしく掲げられてゐた。

門から玄關までは數町あつた。たゞ高い木立が兩側につゞいて鬱蒼として限りなく廣さうな邸内をいかにも奧深しく偲ばせてゐた。

木の葉が、カサリコソリと、青い芝生や白い玉川砂利の上に、舞ひ落ちて來た。

青年は何となく涙ぐましいやうな氣持がして、大きな玄關の扉の前に男と立つてゐた。

「どうぞ、此方へ……」

金釦の附いた[illegible]を着た十六七の上品な玄關番が、いかにも馴れた調子に恁う云ひながら大きな扉を左右に開いた。

さうして、新らしい立派な上草履を二つ揃へて出した。

青年は、男のする通りに、それを履いて内に這入つた。

廣い、やゝ薄暗い長廊下を通つてから、大きな階段を上つて、すぐ取次ぎの應接間に二人は通された。

「いゝお邸でせう。恁う、奧床しい趣がありますよねえ。今の成金なんぞと違つて、流石に昔から由緒ある御家といふ感じが有りますね」

男は毎々來てゐるらしいので馴れきつた調子に、こんな事を云つて、其處に出されてあつた莨をさへ燻らしてゐた。

が、青年は、まだ是迄にこんな大きな邸宅に這入つてみたことはなかつたので……それに着て來たその染絣に小倉の袴と、ふたりも今更みすぼらしいやうに思はれて些しの身動きも小さな返辞も出來ないほど軟かに椅子の中に、ぢつと堅く化つてゐた。

高い大きな玻璃窓の外には、太い幹や枝が何處まで高く、何處まで廣く蔓延してゐるかと思はれるやうな老杉の一部が、長方形に區切られて見えてゐた。

「……是から此の邸宅の中に暮すのか……」

青年は、是から展らかれやうとする自分の身の上を、靜かに考へてゐた時、カチリ、と扉の開く音がした。

「どうもお待たせ致しました……此方へ……」

此度は十七八可愛らしい女中が現はれたさうして、また廣い廊下を通つて、二人は美しい客室の中に案内された。

眞ん中のテーブルの向ふには、鼻眼鏡をかけた由井伯爵が、安樂椅子にゆつたりと坐してゐた。

滿日文藝　滿日柳壇

『夏痩』　撫順　南紀選

夏やせへ又かと言はれる子澤山

夏やせへ（撫順[illegible]）ちつと涼しくなり

夏やせる心もほそる年となり

夏やせは湯町に馴れて雁を聞き　大連　子禾

夏やせのコスモスの唄嬉しがり

千澤山苦勞も手傳つて夏痩し　奉天　友月

夏やせも立秋に入つて好い女

痩ッぽし夏まけらしく腕をなで　大連　はじめ

夏やせはポートワインで元氣つけ　撫順　喜良久

鏡臺へ愚痴が出る夏やせし

新妻は夏やせですとほゝを染め　大連　耀太

夏やせのやうに道芝細うよれ　旅順　酢味坊

乳呑子へ夏やせらしい胸をあけ

夏やせの女事務員からかはれ

夏やせを氣にしてらしい海水着　大連　青蛙

夏やせがして見たいわとウエトレス

夏やせの妻をいたはる温泉場

結婚のリングがさせぬ細りやう　柳河　金線魚

夏痩の骨格ほめて寸をとり

夏やせの袖抱き合せ言譯し　大連　樂園

夏やせを細々書いて母へやり　大連　きく子

滿洲俳壇 募集規定

次回課題「早」「藤椅子」▲用紙半紙「罫」▲句數無制限▲各題別紙▲各紙に雅號姓名記載のこと▲締切七月末日▲封筒に「滿日俳句」と明記▲投句先、東京市牛込區若松町八二島田青峰宛

新刊紹介

▲世界美術全集（十五巻）本集にはゴシック（下）元朝（下）鎌倉時代（下）の他に西藏の美術を収め、時代の説明はシオット派の繪畫（大隅）ゴシック彫刻（森口）同建築（田邊）十五世紀の工藝（大隅）元朝の繪畫（相見）高麗時代の藝術（關島）鎌倉時代は繪畫（田中）彫刻（田邊）建築（黒田）工藝（田邊）西藏建築總説（伊東忠太）にて圖版は原色版に受胎告知（十四世紀伊太利マルチニ作）九月（十三世紀英國）ファンドド死す（十五世紀波斯チムウル朝）瞬間瓦（波斯十四世紀）及び石寺縁起（傳高階隆兼筆石山寺藏）御物春日權現驗記（高階隆兼筆）一遍上人繪傳（法眼圓伊筆、京都歡喜光寺藏）駒競行幸繪卷（[illegible]）松ケ崎天神縁起（山口縣松崎神社藏）長谷雄卿草紙（細川護立侯藏）等の繪卷圖の色版にも一遍上人繪傳、伊勢新名所繪合繪卷、物語繪卷、[illegible]法然上人繪傳、拾遺古德傳、[illegible]三郎[illegible]、法印[illegible]繪詞、[illegible]繪卷、親鸞上人繪傳[illegible]鎌倉時代の繪卷を集めてある（東京神田區[illegible]町一〇平凡社）